

2025 年定時社員総会（第 40 回）

- 第 1 号議案 2024 度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 個人会員の除名処分承認の件
- 第 3 号議案 2024 年度決算書・監査報告書承認の件
- 第 4 号議案 2025 年度事業計画書承認の件
- 第 5 号議案 2025 年度特別予算に基づく事業計画承認の件
- 第 6 号議案 2025 年度収支予算書承認の件
- 第 7 号議案 2025 年度理事，監事選任の件

2025 年 6 月 24 日（火）

一般社団法人 人 工 知 能 学 会

The Japanese Society for Artificial Intelligence



〒 162-0821 東京都新宿区津久戸町 4-7
OS ビル 402 号室
URL: <https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/>

目 次

1	2024 年度事業報告書	1
2	処務の概要	24
3	個人会員の除名処分について	37
4	2024 年度決算報告書	38
5	監査報告書	52
6	2025 年度事業計画書	53
7	2025 年度特別予算に基づく事業計画	66
8	2025 年度収支予算書	68
9	2025 年度理事，監事の選任について	71
10	2025－2026 年度人工知能学会代議員	73

2024 年度事業報告書

I 事業の概況

一般社団法人人工知能学会は新定款第2章に定められた目的及び事業に従い、以下の事業を実施した。

1. 学術集会、学術講演会、講習会等の開催（定款4条1号）

第38回全国大会 JSAI2024 については、2024年5月28日(火)～31日(金)にアクトシティ浜松を現地会場としてオンライン参加可能なハイブリッド形式にて開催した。一般発表の他に基調講演1件、招待講演2件、チュートリアル講演4件、公募企画セッション20件、学生企画セッション1件、市民公開セッション6件、等を実施した。発表件数は946件（前年度は948件）、参加者数は3,803名（前年度は3,567名）であった。

第16回国際シンポジウム JSAI-isAI2023 を4ワークショップ構成により第38回全国大会 JSAI2024 と併催する形で5月28日(火)～29日(水)に開催した。一般発表39件、招待講演6件、参加者96名で、うち海外からの参加登録者は17カ国54名であった（JSAI-isAI2023 は、4ワークショップ、一般発表46件、招待講演6件、参加登録者数94名、海外の参加登録者は21カ国40名）。

第6回産学クロススクエア「ミライをつくるAI人材」@Tokyo を2024年9月6日(金)～7日(土)、産業技術総合研究所臨海副都心センター別館で開催、129名が参加された（前回の参加数は117名）。

AIセミナーは計5回開催した。また、中高生向けのAIセミナーを7月～8月にかけて各地で計8回開催した。

2. 学会誌、論文誌その他の刊行物の発行（定款4条2号）

学会誌「人工知能」を隔月に発行した。「人工知能」は長期的な企画と周到的な準備のもとにホットなテーマの特集、解説、連載記事や新たな企画で内容の充実を図った。一方、人工知能学会論文誌は、(独)科学技術振興機構のJ-Stage を利用したオンラインジャーナルで随時発行した。

英文論文誌 New Generation Computing では、特集論文を企画、掲載すると共に、全国大会論文、国際ワークショップ論文、および世界中からの投稿論文から厳選して、論文を採録した。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款4条3号）

人工知能分野の研究活性化を目的として、優秀な論文や研究会・全国大会における発表を選定するとともに、会誌やホームページを通じて情報発信を行った。また、功績賞1名、功労賞2名、現場イノベーション賞金賞・銀賞各1件、研究会優秀賞20件、大会優秀賞31件、大会学生奨励賞8件を選定した。

4. 研究及び調査（定款4条4号）

27研究会の各々が単独、他学会との連携、あるいは合同研究会で年間2～4回の研究会を開催した。研究会開催総数は53回（昨年度49回）、一般発表の論文数は602件（同518件）であった。また、合同研究会2024 を2024年12月20日(金)～21日(土)、慶應義塾大学 日吉キャンパスならびにオンラインのハイブリッド形式にて開催した。プレナリーとして招待講演2件とインダストリアルセッションを実施した。参加14研究会(昨年は14研究会)、研究会発表116件（一般発表）、15件（研究会招待講演等）、参加登録者数は948名（昨年757名）、企業スポンサー10社であった。

5. 国内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款4条5号）

国内外の人工知能関連団体のイベントに対して、共催2件、協賛54件、後援30件を行い、人工知能分野の研究の活性化に努めた。

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款4条6号）

2件のコンペティションに対して助成を行うこととした。

7. 年度末の会員数は、正会員4,779名（前年度185名増）、学生会員823名（同101名増）、賛助会員292社（同2社減）、特殊購読会員63社（同2社増）となった。また、長年本会活動に貢献されてきた会員への感謝と、学会活動への参加継続のために新設した永年会員制度に基づき、8名の会員を永年会員として認定した。

処務の概要は24ページ以降に、役員などに関する事項、職員に関する事項、会議などに関する事項、許可・認可などに関する事項、契約に関する事項、寄付金に関する事項、主務官庁からの連絡事項の順にまとめた。

(1) 学術集会, 学術講演会, 講習会等の開催 (定款 4 条 1 号)

① 第 38 回全国大会 JSAI2024 : 全国大会担当

以下の通り現地参加とオンライン参加が可能なハイブリッド形式で開催した。

・ 日 時 : 2024 年 5 月 28 日(火)~31 日(金)

・ 場 所 : アクトシティ浜松+オンラインのハイブリッド形式

・ 組 織 : 大会委員長

小野 智弘 (KDDI 総合研究所)

大会副委員長 (実行委員長)

岩田 具治 (NTT)

大会副委員長 (プログラム委員長)

和泉 潔 (東京大学)

実行副委員長

清田 陽司 (LIFULL)

プログラム副委員長

大西 正輝 (産業技術総合研究所)

実行委員長補佐

田中 佑典 (NTT)

プログラム委員長補佐

山田 広明 (富士通)

委員 : 竹内 勇剛, 福田 直樹, 山岸 祐己, 岩本 武範, 伊集院 幸輝, 川崎 敦史, 土屋 祐太, 田島 友祐, 西田 光甫, 本浦 庄太, 坂井 智哉, 宮澤 和貴, 櫻 惇志, 谷本 啓, 井田 安俊, 西垣 貴央, 楊 鯤昊, 伊東 邦大, 小暮 悟, 布施 陽太郎, 福地 庸介, 吉田 彩乃, 黒田 敏数, 森岡 博史, 末廣 大貴, 赤木 康紀, 比嘉 恭太, 高山 隼矢, 谷 文, 石垣 達也, 南雲 亮佑, 角 薫, 東本 崇仁, 大本 義正, 森 友亮, 波多野 大督, 高田 亮介, 神原 元就, 坊農 真弓, 鈴木 豊太郎, 服部 俊一, Nihan Karatas, 打矢 隆弘, 矢田 勝俊, Rafal Rzepka, Jiyi Li, 何 宜欣, 陳 履恒

・ 基調講演 : 「現場の問題から始める AI システム」

山口 高平 (神奈川大学/本会フェロー)

・ 招待講演 : 「進化する大規模言語モデル」

相澤 彰子 (国立情報学研究所)

・ 招待講演 : 「AI は『鉄腕アトム』の夢をみるか?

~生成 AI によるコンテンツ制作の可能性と問題」

手塚 眞 (ネオンテトラ)

・ 特別講演 : 「AI と XR を活用した少子高齢社会の学びとケアのイノベーション」

竹林 洋一 (みんなのケア情報学会/創造する心)

・ チュートリアル (4 件)

「大規模言語モデルの開発」

岡崎 直観 (東京工業大学)

「機械学習と科学モデル」

武石 直也 (東京大学)

「スポーツデータと AI : スポーツをシステムとして捉えて楽しむ」

神武 直彦 (慶應義塾大学)

「医療情報と人工知能」

香川 璃奈 (筑波大学), 小林 和馬 (国立がんセンター研究所), 鈴木 晋 (CureApp)

・ 企画セッション (20 件)

「機械学習が紡ぐゲーム理論のフロンティア」

阿部 拳之 (サイバーエージェント), 岩崎 敦 (電気通信大学)

「人と AI の共創社会を実現するための文理融合」

栗原 聡 (慶應義塾大学), 間瀬 健二 (名古屋大学), 葛岡 英明 (東京大学)

「ソーシャルメディアにおける情報流通の信頼回復に向けた人工知能研究」

高口 鉄平 (静岡大学), 森田 純哉 (静岡大学), 鳥海 不二夫 (東京大学)

「人工知能学会の多様性と包摂の推進の取り組みと展開」

高野 雅典 (サイバーエージェント), 荒井 ひろみ (理化学研究所)

清田 陽司 (LIFULL), 斎藤 明日美 (コピー), 長倉 克枝 (中央大学)

「生成 AI 時代のナレッジグラフ」

黒川 茂莉 (KDDI 総合研究所), 古崎 晃司 (大阪電気通信大学)

「2025 年大阪・関西万博が描く未来社会と人工知能#2」

佐久間 洋司 (大阪大学) , 本村 陽一 (産業技術総合研究所)

「AI マップβ 3.0 -デジタルデータ化が開く可能性-」

砂川 英一 (東芝) , 本村 陽一 (産業技術総合研究所)

「人狼知能コンテスト 2024 国内大会自然言語部門」

狩野 芳伸 (静岡大学) , 鳥海 不二夫 (東京大学) , 稲葉 通将 (電気通信大学)

大澤 博隆 (慶應義塾大学) , 片上 大輔 (東京工芸大学) , 大槻 恭士 (山形大学)

アランニャ クラウス (筑波大学) , 原田 慧 (電気通信大学)

「AI 標準化の現状」

杉村 領一 (産業技術総合研究所) , 津本 周作 (島根大学) , 井崎 武志 (NVIDIA)

清田 陽司 (LITTEL) , 牧田 光晴 (LINE) , 佐久間 洋司 (東京大学)

「人工知能学会公式コンペティション」

是枝 祐太 (日立製作所) , 東中 竜一郎 (名古屋大学) , 原田 慧 (電気通信大学)

「人間と AI が協調して学習するデジタル空間を活用した社会構築にむけて」

西田 遼 (産業技術総合研究所) , 大滝 啓介 (豊田中央研究所) , 竹内 孝 (京都大学)

「信頼されない? AI #1 ~社会と AI の新しいつながりを考える~」

竹内 孝 (京都大学) , 谷中 瞳 (東京大学) , 松原 崇 (大阪大学)

「AI と安全保障」

中川 裕志 (理化学研究所) , 武田 英明 (国立情報学研究所)

大屋 雄裕 (慶應義塾大学) , 神崎 宣次 (南山大学)

「AI の研究開発・社会実装・普及からみるイノベーション・メカニズムの分析」

津本 周作 (島根大学) , 清田 陽司 (LITTEL)

藤田 和子 (正林国際特許商標事務所) , 仲上 祐斗 (日本知財標準事務所 (JIPS))

「医療 AI における薬事と倫理」

藤原 幸一 (名古屋大学) , 久保 孝富 (奈良先端科学技術大学院大学)

「空間情報システムから空間知能システムへ/GIS・AI のコンバージェンス ワークショップ (人流データ編)」

福井 エドワード (SinglaChain) , 巖 網林 (慶応大学)

片山 耕治 (政策研究大学院大学) , 大場 章弘 (中央大学)

「次世代 AI モデルの研究開発へ」

福島 俊一 (科学技術振興機構) , 尾形 哲也 (早稲田大学)

谷口 忠大 (京都大学、立命館大学) , 牛久 祥孝 (オムロンサイニックス)

「楽器の街・浜松で考える《Music×AI》の未来」

北原 鉄朗 (日本大学) , 中村 栄太 (京都大学) , 浜中 雅俊 (理化学研究所)

「金融分野における大規模言語モデルの活用」

和泉 潔 (東京大学) , 村山 友理 (東京大学)

鈴木 雅弘 (日興アセットマネジメント/東京大学) , 高柳 剛弘 (東京大学)

中筋 渉太 (東京大学) , 小林 涼太郎 (東京大学) , 山本 蒔志 (東京大学)

「データエンジニアリングで育むデータの価値~データサイエンスを加速させる産学それぞれの視点~」

齋藤 祐希 (NTT データ) , 福永 真一 (塩野義製薬) , 小林 雅行 (塩野義製薬)

・学生企画「マルチモダリティ革命~大規模事前学習済みモデルの新たな視点を探る~」

品川 政太朗 (奈良先端科学技術大学院大学) , 増村 亮 (NTT) , 松嶋 達也 (東京大学)

・市民公開企画セッション (6 件)

「地元と一緒に考える, 「おいでけぼりにしない AI」とその未来」

福田 直樹 (静岡大学)

「社会課題を「人工知能」で解く~スポーツ, ビジネス, データの視点から~」

岩本 武範 (静岡産業大学)

「人, モノ, 情報の流れ」

山岸 祐己 (静岡理工科大学)

「産業界と AI 人材のマッチング」

山田 健太郎 (本田技術研究所) , 本村 陽一 (産業技術総合研究所) , 矢田 勝俊 (関西大学)

「AI は地域雇用の敵か味方か」

山岸 祐己 (静岡理工科大学)

「中高等学校における AI 教育・DS 教育の現状と今後の展開」

林 宏樹 (兵庫県立大学/雲雀丘学園中学校・高等学校) , 笹嶋 宗彦 (兵庫県立大学)

- ・インダストリアルセッション 5セッション（ロング19社、ショート11社）
- ・ランチョンセミナー 12社
- ・企業展示 97社（100ブース）
- ・スポンサー プラチナ50社、ゴールド46社、シルバー13社
- ・メディア協賛 4社
- ・発表件数合計 946件
 - 国際セッション 35件（7セッション）
 - 一般セッション 388件（79セッション）
 - オーガナイズドセッション 293件（71セッション）
 - ポスターセッション 230件（2セッション）

- ・参加者（本人不参加による代理発表等のため、発表参加者の数と発表の件数とは一致しない）

参加者	会員（1,626名）			非会員（1,887名）		合計
	一般	学生	賛助会員	一般	学生	
発表参加者	269	203	0	216	290	978名
聴講参加者	733	89	332	1,187	194	2,535名
招待者（基調講演・招待講演・チュートリアル・企画セッション等）						16名
スポンサー聴講招待者						265名
取材						9名
合計						3,803名

- ② 第16回国際シンポジウム（JSAI International Symposia on AI, JSAI-isAI 2024）：企画（国際化）担当
以下の通り現地参加とオンライン参加が可能なハイブリッド形式で全国大会と併催した。

- ・日 時：2024年5月28日(火)～29日(水)
- ・場 所：アクティシティ浜松＋オンラインのハイブリッド形式
- ・組 織：企画（国際化）委員会：鈴木 豊太郎 委員長（東京大学）、坊農 真弓 副委員長（国立情報学研究所）
- ・構 成：4ワークショップ構成
 - WS1: Eighteenth International Workshop on Juris-informatics (JURISIN2024)
 - WS2: Eighth International Workshop on Scientific Document Analysis (SCIDOCA2024)
 - WS3: International Workshop on Artificial Intelligence of and for Business 2024 (AI-Biz 2024)
 - WS4: The ambitions and limitations of AI-driven recruitment and selection: Unfolding fairness and diversity bias (BIAS2024)

- ・参加者概要

	WS1	WS2	WS3	WS4
発表数 39+7 件	24+2	10+2	5+2	0+1
参加者数 96 名	70	33	28	26

発表者：一般発表数＋招待講演数、各 WS 参加者数は参加登録時の情報

国名	参加者数
日本	42
オーストラリア	2
オーストリア	2
カナダ	3
中国	2
ドイツ	8

インドネシア	5
イタリア	3
ルクセンブルク	2
オランダ	3
ノルウェー	1
ポーランド	1
スペイン	1
台湾	6
英国	3
米国	4
ベネズエラ	1
ベトナム	7
総計	96

③ SIAI 産学クロススクエア「ミライをつくる AI 人材」の開催：産業界連携委員会担当

第6回 SIAI 産学クロススクエア「ミライをつくる AI 人材」@Tokyo

- ・日 時：2024 年 9 月 6 日(金)～7 日(土)
- ・場 所：産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館
- ・組 織
 矢田 勝俊 委員長（関西大学），山田 健太郎 副委員長（本田技術研究所）
 委員：板井 光輝（日立システムズ），岩井 千妃呂（博報堂テクノロジーズ），大西 一貫（博報堂テクノロジーズ），数見 拓朗（サイバーエージェント），片上 大輔（東京工芸大学），谷口 晋平（博報堂），由井 成和（日本総合研究所）
- ・学生招待講演「JSAI@浜松より産業応用可能性」「小説家不要の SF プロトタイピングワークショップ手法の提案」
 楊 欽（東京大学）
- ・企業 Intro ブース訪問（インターンシップ体験，企業紹介）
- ・参加者数 129 名
 学生 79 名，一般（スポンサー・実行委員を含む）50 名
- ・スポンサー10 社（1～2hour インターン 7 社／企業展示 3 社）

④ セミナーなどの開催：企画（セミナー）担当

企画（セミナー）委員会：櫻井 祐子 委員長（名古屋工業大学），谷口晋平（博報堂／博報堂 DY メディアパートナーズ）

委員：山岸 駿秀（マネーフォワード），丹羽 彩奈（MBZUAI），太田 真人（電通総研）

以下セミナーを開催した。

回	開催日	テーマ	場 所	講演数	参加者
92	2024/7/3	マルチモーダル情報処理の最新動向	AP 東京丸の内＋オンライン	3 名	83 名
93	2024/12/19	ノーベル賞に見る AI 研究の歴史的転換点、その驚きと今後	慶應義塾大学日吉 AIC ラウンジ	3 名	446 名
94	2025/1/30	情報Ⅱ 問題解決で活用できるデータ収集とプログラミング	オンライン	1 名	
95	2025/1/31	人間のように考える自動運転シス	オンライン	1 名	

		テムを目指して			
96	2025/2/7	AI トrend・トップカンファレンス報告会 (NeurIPS2024) : 世界最先端の AI 研究開発動向が 1 日でわかる!	オンライン	2 名	

中高生向けに以下のセミナーを開催した。参加者数は 113 名（中学生 77 名，高校生 33 名，その他 3 名）。

第 1 回講座：7/27（土）東京都品川 「ワクワク!!」 参加者 35 名

大澤 正彦（日本大学）「ともにドラえもんをつくる」

大澤 博隆（慶應義塾大学）「社会的知能から想像力まで：人工知能と人の最前線」

第 2 回講座：7/28（日）東京都渋谷 「夢の実現に向けて。」 参加者 31 名

大澤 正彦（日本大学）「ともにドラえもんをつくる」

佐藤 敏紀（ソフトバンク）「中学生/高校生だからできる自然言語処理技術の開発と研究」

第 3 回講座：8/1（木）早稲田大学 「ロボットだ!」 参加者 13 名

尾形 哲也（早稲田大学）「人間を支援する汎用型の AI ロボットへ向けて」

第 4 回講座：8/5（月）札幌市 「人と AI の違い。RoboCup のその先。」 参加者 11 名

寺井 あすか（はこだて未来大学）「AI と人間の思考」

野田 五十樹（北海道大学）「RoboCup から AI の社会応用へ」

第 5 回講座：8/7（水）那覇市 「そもそも AI って？文系理系なんて関係ないぞ!」 参加者 8 名

栗原 聡（慶應義塾大学）「そもそも AI って何？」

鳥海 不二夫（東京大学）「文系・理系のその先へ！計算社会科学への招待」

第 6 回講座：8/19（月）名古屋市 「人工知能を作ってみよう!」

東中 竜一郎（名古屋大学）・千葉祐弥先生（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）「対話 AI を作ってみよう!」 参加者 10 名

第 7 回講座：8/20（火）東京都渋谷 「ガールズデーです!」 参加者 3 名

荒井 ひろみ（理研 AIP）

黒嶋 智美（玉川大学）「ひとの社会性を「見る」「聞く」「話す」

橋本 萌那（東京工業大学博士課程、フリーランス）「大豆ミートなどの代替肉を普及させ、社会問題の解決に貢献する」

村上 綾菜（お茶の水女子大学博士後期課程）「自分自身をワクワクさせるもの」

第 8 回講座：8/21（水）京都市 「ロボットが笑う？機械学習って何？」 参加者 2 名

日永田 智絵（奈良先端科学技術大学院大学）「感情とロボット」

岩田 具治（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）「AI をかしこくする技術「機械学習」」

(2) 学会誌，論文誌，その他の刊行物の発行（定款 4 条 2 号）

① 人工知能学会誌：編集委員会

三宅 陽一郎 委員長（スクウェア・エニックス），馬場 雪乃 副委員長（東京大学）

シニア委員：高橋 恒一（理化学研究所），我妻 広明（九州工業大学），吉川 友也（千葉工業大学），田和辻 可昌（早稲田大学），狩野 芳伸（静岡大学），松原 崇（大阪大学），吉田 香（九州工業大学）

正規委員：池田 圭佑，稲葉 通将，坂地 泰紀，諏訪 博彦，高橋 茶子，早矢仕 晃章，水野 貴之，山野 泰子，吉田 光男，福島 宙輝，武石 直也，伏見 卓恭，宮崎 千明，山元 翔，西原 陽子，森田 純哉，関 喜史，松野 省吾，武村 泰範，盛田 健人，品川 政太朗，松井 孝太，福田 直樹，市川 淳，日高 昇平，山野辺 一記，大内 孝子，森 友亮，大本 義正，山本 祐輔，横山 想一郎，太田 宏之，林 雄介，伊藤 友貴，石畠 正和，宮本 友樹，岩澤 有祐，大海 悠太

学生委員：佐久間 洋司，黒田 慧莉，柏倉 沙耶，高田 亮介，村上 綾菜，金子 颯汰，前田 晃弘，関本 快士，川島 遼介

発行年月日	概要
2024年5月1日 Vol. 39, No. 3 発行部数：5,930 ページ数：164	巻頭言「バベルの塔はすべての言語を分かったのか」、特集「編集委員 今年の抱負 2024」、特集「人工知能分野における博士論文—博士論文に見る研究テーマの動向—」、レクチャーシリーズ「AI と社会と人間～ぶつかる・なじむ・とけこむ～」〔第7回〕「人工知能の人間理解・空間認識と社会参加」、私のブックマーク「ファジィ理論」、グローバルアイ〔第68回〕「日本出身研究者から見た英国学界」、会議報告、書評、表紙企画
2024年7月1日 Vol. 39, No. 4 発行部数：6,130 ページ数：142	巻頭言「学会の魅力向上への取組み：多様性と変化への対応に向けて」、特集「人の学びとAI」、特集「生成AI 時代における認知のモデリング」、レクチャーシリーズ「AI と社会と人間～ぶつかる・なじむ・とけこむ～」〔第8回〕「AI 化社会における人の在り方に関する一考察」、「合同研究会 2023 開催報告」、私のブックマーク「人の移動」、グローバルアイ〔第69回〕「PhD 学生のアメリカンライフ～ NY 州イサカ～」、学生フォーラム〔第121回〕「槇原絵里奈先生インタビュー『プログラミング教育の魅力と個性の尊重』」、会議報告、書評、表紙企画
2024年9月1日 Vol.39, No.5 発行部数：6,280 ページ数：202	巻頭言「包摂的コミュニティプラットフォームとしての人工知能学会」、特集「エージェント技術の過去・現在・未来」、特集「COVID-19 渦中での研究と実践～リスク状況における専門知の意味とは？～」、論文特集「知的対話システム」、レクチャーシリーズ「AI と社会と人間～ぶつかる・なじむ・とけこむ～」〔第9回〕「信用・信頼・信託—責任と説明に関する概念整理—」、私のブックマーク「自動交渉」、グローバルアイ〔第70回〕「アメリカで研究者になり、父親になる」、学生フォーラム〔第122回〕「杉村領一先生インタビュー『外へ出ることで見える AI 国際標準化の最前線』」、会議報告、書評、表紙企画
2024年11月1日 Vol.39, No.6 発行部数：6,280 ページ数：218	新会長就任挨拶、新編集委員長挨拶、特集「地理空間データを利活用した研究の展望」、小特集「中国のAI の過去・現在・未来」、論文特集「ファイナンスにおける人工知能応用」、レクチャーシリーズ「AI と社会と人間～ぶつかる・なじむ・とけこむ～」〔第10回〕「生成AI 開発と法的課題」、私のブックマーク「空間統計と無線通信」、グローバルアイ〔第71回〕「香港のアカデミア：個人的経験にもとづく紹介」、学生フォーラム〔第123回〕「桂井麻里衣先生インタビュー『人とのつながりが生み出す新たな価値の創造』」、会議報告、書評、表紙企画
2025年1月1日 Vol.40, No.1 発行部数：6,300 ページ数：106	巻頭言「混沌を照らす」、特集「スポーツ×情報学×インタラクション」、特集「人工知能分野における博士論文—博士論文に見る研究テーマの動向—」、レクチャーシリーズ「日本における人工知能の源流を訪ねて」〔第1回〕「人工知能研究の歴史を記述する試み」、企画委員会だより〔第1回〕「はじめまして！いろいろやっている企画委員会です」、私のブックマーク「感性情報処理」、グローバルアイ〔第74回〕「フランスの大学での研究環境について」、学生フォーラム〔第126回〕「西原陽子先生インタビュー『できることよりも、心の底からやりたいことをキャッチする』」、会議報告、書評、表紙企画
2025年3月1日 Vol.40, No.2 発行部数：6,350 ページ数：158	巻頭言「生成AI の未来を夢見て」、連載「ほな行こか！大阪・関西万博！」～いよいよ迫る！万博直前特集～、特集「科学および社会における人工知能の信頼性」、特集「AI と神経科学の接点 2025」、アーティクル「人工知能学会× AI 標準化」、レクチャーシリーズ「日本における人工知能の源流を訪ねて」〔第2回〕「斉藤康己先生に聞く『つくるために理解したい』」、企画委員会だより〔第2回〕、私のブックマーク「Affective Computing（感情計算論）」、グローバルアイ〔第75回〕「私と家族のサバティカル記：カナダ アルバータ大学からの挑戦」、学生フォーラム〔第127回〕「牛久祥孝先生インタビュー『AI で科学の未来を切り開く—大局的な視点で一步先の挑戦を続ける』」、会議報告、書評、表紙企画

- ② 人工知能学会論文誌：編集委員会（委員会の構成は学会誌の編集委員会と同じ）
大澤 博隆 委員長（スクウェア・エニックス）、狩野 芳伸 副委員長（静岡大学）
シニア委員・正規委員・学生委員は会誌編集委員会と同じ

(独) 科学技術振興機構の J-Stage を利用してオンラインジャーナルを随時発行
Vol.39 : 49 編 (アブストラクトを人工知能学会誌 Vol.39, No6 に掲載)

- Vol.39, No.1 原著論文 : 4 編
- Vol.39, No.2 原著論文 : 6 編
- Vol.39, No.3 原著論文 : 2 編, 特集論文 : 5 編
- Vol.39, No.4 原著論文 : 1 編, 特集論文 : 11 編
- Vol.39, No.5 原著論文 : 7 編
- Vol.39, No.6 原著論文 : 6 編, 特集論文 : 7 編

③ New Generation Computing

本会が, 2023 年 1 月より New Generation Computing 誌のオーナーとなった.

NGC は, 1982 年にオーム社により創刊され, Springer Verlag の包括契約により全世界に配布されているジャーナルである. Clarivate 社のインパクトファクターのついた国際ジャーナルであり, 人工知能の伝統的な分野での存在感が大きい. そのオーナーとなることで, 人工知能学会から国際的な発信を行い, 学会の国際的な存在感を高めることが目的である. 全国大会国際セッションや国際ワークショップ論文を収録して, 発信することで, 学会活動と連携していく. 会員は NGC を無料で購読でき, 論文が採録されれば, 国際ジャーナルでの業績となるというメリットがある. これは, 多くの分野で国際ジャーナルの論文のみが業績となる傾向が強くなっていることから, 重要である.

Editor-in-Chief: Yutaka Matsuo, Associate Editor-in-Chief: Ryutaro Ichise, Yoji Kiyota

Area Editors: Ayumi Shinohara, Yoji Kiyota, Ryutaro Ichise, Ichiro Hasuo, Shinnosuke Seki, Satoshi Murata, Masaki Suwa, Fujio Toriumi, Sven Groppe

Editorial Board: Eiji Aramaki, Noboru Babaguchi, Wray Buntine, František Čapkovič, Ho-Lin Chen, Luc De Raedt, Ken-ichi Fukui, Naoki Fukuta, Joao Gama, Robert Glück, Shigeki Goto, Toshiharu Hatanaka, Kohei Hatano, Teruo Higashino, Hung-Hsuan Huang, Tsuyoshi Ide, Akihiro Inokuchi, Kazuo Iwama, Kristian Kersting, Nada Lavrac, Yasser Mohammad, Raymond J. Mooney, Keiichi Nakata, Shojiro Nishio, Tomonobu Ozaki, Claude Sammut, Ken Satoh, Daichi Shimizu, Shinichi Shirakawa, Gert Smolka, Janusz Sobecki, Masanori Takano, Jiro Tanaka, Pascal Van Hentenryck, Takashi Washio, Seiji Yamada, Masayuki Yamamura, Ryo Yoshinaka

Advisory Board: Maurice Bruynooghe, Takashi Chikayama, Masami Hagiya, Shinichi Honiden, Zhenjiang Hu, Akihiko Konagaya, Susumu Kunifuji, Pat Langley, Ugo Montanari, Toyoaki Nishida, Masayuki Numao, Taisuke Sato, Yoav Shoham, Hidehiko Tanaka, Kazunori Ueda

④ 学会編集本

書名 (出版社)	発行日	編著者

(3) 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款 4 条 3 号)

① 研究業績の表彰

(1) 2024 年功績賞 (第 40 回定時社員総会で表彰の予定 : 2025 年 6 月 24 日)

学会規程に基づき, 正会員による候補者の推薦及び業績賞・功労賞・フェロー称号選定委員会 (委員長 : 小野智弘副会長) の審査を経て, 第 415 回理事会で授賞対象者の授賞を決定した.

功績賞 : 津本 周作 (島根大学)

功労賞 : 山田健太郎 (本田技術研究所) , 馬場雪乃 (東京大学)

(2) 2024 年度現場イノベーション賞 (第 40 回定時社員総会で表彰の予定 : 2025 年 6 月 24 日)

学会規程に基づき、正会員による候補者の推薦及び現場イノベーション賞選定委員会（委員長：小野智弘副会長）の審査を経て、第415回理事会で下記の銀賞1件を授賞対象とした。

金賞：「医師業務の効率化に向けた医療大規模言語モデルの研究開発と実用化」

柴田大作，宇野裕，渋谷恵，辻川剛範，久保雅洋，宮川伸也，石川開，定政邦彦，小山田昌史，遠藤結佳，栢真由，山内玲，武井康成，太田隼人，入倉理子，目黒裕嗣，木村学，松本崇，荒木健一，福井誠，今岡仁，兼近耕次，石井亮，香取幸夫，庄司貞雄，中川敦寛，園部真也，藤井進，中村直毅，大田英揮

銀賞：「マルチモーダル基盤モデルを用いたアノテーション自動化によるAI現場展開の効率化」

パナソニックホールディングス・FastLabel AI開発効率化チーム

小塚和紀，野田晃浩，加藤祐介，Konstantinos Kallidromitis，鈴木健史，内田修平

(3) 2024年度論文賞（第40回定時社員総会で表彰の予定：2025年6月24日）

学会規程に基づき、論文誌Vol.39 No.1～No.6に発表された論文20件を対象に、正会員による候補論文の推薦および論文賞選定委員会（委員長：大澤博隆編集委員長）の審査を経て、白上龍，北原稔也，竹内孝，鹿島久嗣，「交通理論に基づいた深層学習による渋滞長予測」，39巻2号p. C-N92_1-12を選定した。

(4) 2024年度研究会優秀賞（第40回定時社員総会で表彰の予定：2025年6月24日）

学会規程に基づき、2024年度の研究会で発表された論文（466件）を対象に、研究会優秀賞選定委員会（委員長：坂地泰紀研究会運営委員長）による審査を経て、第415回理事会で以下の20件を授賞対象として選定した。

1. SIG-FPAI-131-04 「線形関数およびReLU関数に基づく自己符号化器による実数ベクトルの圧縮に必要な頂点数について」 SUN, Liangjie, WU, Chenyao（京都大学），CHING, Wai-Ki（香港大学），阿久津達也（京都大学）
2. SIG-FPAI-132-06 「Z部分和問題を解く動的計画法を計算資源としたリザバー計算」 戸高 空，山本 章博，明石 望洋（京都大学）
3. SIG-KBS-133-05 「サンプルの重み付けによる小さなSoft Treeの学習」 雑賀 篤弥，猪口 明博（関西学院大学大学院）
4. SIG-SLUD-101-10 「日本語日常会話における「長い文」の検討」 臼田泰如（静岡理工科大学）
5. SIG-SLUD-102-03 「生成AIを活用した九州・琉球の方言対話システムの開発一言語継承支援への応用」 坂井美日（鹿児島大学）
6. SIG-SLUD-102-12 「RAGチャットボットは重要でない会話を忘れるべきか？心理学における発見を用いた重要度と忘却の探究」 住田龍宇一，井上 昂治，河原 達也（京都大学）
7. SIG-SLUD-103-22 「対話型授業における児童・生徒の発話特徴とパーソナリティ特性の関係性」 後藤弘光（金沢学院大学），渡邊はるか（目白大学），枝元香菜子（金沢学院大学），白松俊（名古屋工業大学），多田孝志（金沢学院大学）
8. SIG-SLUD-103-45 「日本語母語話者の自閉スペクトラム症者を対象とする公開コーパス活用の可能性—間投助詞・終助詞「ね」の使用率・用法の比較—」 鈴木あすみ（国立障害者リハビリテーションセンター研究所／東北大学大学院），幕内充，和田真，中村仁洋，石井亨視（国立障害者リハビリテーションセンター研究所），小磯花絵（国語研究所）
9. SIG-ALST-102-04 「質的および量的な解答プロセス分析による失敗の分類の試み：単文統合型作問学習環境におけるログ分析を例として」 林 雄介（広島大学），大崎 理乃（信州大学），濱田 恭佑（広島大学），山本 樹（文部科学省），平嶋 宗（広島大学）
10. SIG-Challenge-065-02 「ロボット走行時のブレを考慮したArUco マーカー読み取りに対する誤り訂正の提案と評価」 中嶋 洗介，田邊 稜汰，安田 尚平，長島 健留，植村 渉（龍谷大学）
11. SIG-LSE-C502-3 「Peirceの記号論からみる演技における対話」 古屋 有紀子，長尾 徹（千葉工業大学大学院創造工学研究科）

12. SIG-SAI-051-06 「ITSにおける歩行者横断意図予測のための Bottom-up アプローチ」 宮本 直樹, 杉本 千佳 (横浜国立大学大学院工学研究院)
13. SIG-FIN-033-26 「リスク回避型効用関数を用いた深層学習によるポートフォリオ最適化」 久保 健治 (東京大学/松尾研究所), 中川 慧 (大阪公立大学)
14. SIG-MAKS-002-05 「半導体製造装置の保守作業における熟練作業性および重要性の評価に関する基礎検討」 沼田崇志, 會下拓実, 渡邊昂城, 中道拓也, 大木佑哉, 三谷佳一(日立製作所), 属優作, 中村悠介, 佐藤浩平 (日立ハイテク)
15. SIG-SWO-064-05 「社内知識の活用を支援する知識グラフ自動生成」 福田 悠貴, 仁禮 和男, 大西 舞子(株式会社アイシン), 関根 聡, 松本 裕治(理化学研究所), 古崎 晃司(大阪電気通信大学)
16. SIG-DOCMAS-026-05 「プロット駆動型マルチエージェントプランニングの提案」 伊藤 亮史, 安部 玲央, 高安 奏多, 栗原 聡 (慶應義塾大学)
17. SIG-BI-026-11 「言語で柔軟に操作可能な What-if 社会シミュレータ」 山田広明 (富士通株式会社)、山田寛章 (東京科学大学)、平岡達也 (Mohamedbin Zayed University of Artificial Intelligence)
18. SIG-BI-026-15 「顧客行動に基づくロイヤリティ推定のための多次元非同質隠れマルコフモデル」 郭 凱, 中西 亮輔, 勝原 康雄, 荒木 雅弘, 佐藤 浩司 (トヨタ自動車株式会社)
19. SIG-AM-033-03 「生成 AI を用いた広告クリエイティブにおけるジェンダー関連炎上の可能性検出の検討」 平野徳麻, 笹嶋宗彦 (兵庫県立大学)
20. SIG-SMSHM-145-0139 「数理モデルを活用したデータ駆動型の自動制御手法」 窪澤駿平 (NEC)

- (5) 2024 年度全国大会優秀賞 (人工知能学会誌 Vol.39, No.6 で表彰, 2024 年 11 月 1 日発行)
 全国大会表彰規程および選定細則に基づき, 2024 年度全国大会において開催期間 2024 年 5 月 28 日～31 日に発表された発表を対象に, 2024 年度全国大会優秀賞選定委員会 (委員長: 和泉潔プログラム委員長) により慎重かつ厳正に審議した. その結果, 一般セッション口頭発表に関しては選考対象発表 391 件に対し, 大会優秀賞 9 件, 学生奨励賞 8 件, ポスター発表に関しては選考対象発表 231 件に対し, 大会優秀賞 12 件, オーガナイズドセッション口頭発表に関しては選考対象発表 298 件に対し, 大会優秀賞 9 件, 国際セッション発表に関しては選考対象発表 24 件に対し, 大会優秀賞 1 件を, それぞれ選定した.

[大会優秀賞 一般セッション口頭発表部門 9 件]

- 2G1-GS-11-03: 観測への敵対的摂動を介した模倣学習による深層強化学習エージェントへの標的型操作攻撃, ○山辺 翔二郎 1, 福地 一斗 2, 3, 仙田 涼摩 3, 佐久間 淳 1, 3 (1.東京工業大学, 2.筑波大学, 3.国立研究開発法人理化学研究所, 革新能統合研究センター)
- 4M1-GS-10-05: 大規模言語モデルを用いたバイナリコードの機能推手法, ○染谷 実奈美 1, 大塚 玲 1 (1.情報セキュリティ大学院大学)
- 4C3-GS-11-02: 職歴データを用いたエンジニアキャリアパスの分析, ○中条 雅貴 1, 鳥海 不二夫 1 (1.東京大学)
- 1L3-GS-10-04: 広告画像の画像処理に基づく感情喚起状態の推定と CTR 予測, ○長屋優太 1, 星野 崇宏 2, 3 (1.慶應義塾大学大学院, 2.慶應義塾大学, 3.理研 AIP センター)
- 2I6-GS-10-05: Graph Based Entropy と領域間相互作用を用いた株式市場の異常検知, ○中田 喜之 1, 吉野 貴晶 1, 杉江 利章 1, 夷藤 翔 1, 関口 海良 2, 劉 乃嘉 2, 大澤幸生 2 (1.ニッセイアセットマネジメント株式会社, 2.東京大学)
- 3D1-GS-2-04: 画像構成内容の意味的解釈を反映した特徴ベクトルによる「かわいい」画像の分類方式, ○古宮 大暉 1, 秋吉 政徳 1 (1.神奈川大学)
- 3F1-GS-10-04: LLM による前提生成ステップを用いた反論の攻撃力向上手法, ○尾崎大晟 1, 中川 智皓 1, 5, 内藤 昭一 2, 3, 井之上 直也 4, 5, 山口 健史 3, 天野 祥太郎 1, 新谷 篤彦 1 (1.大阪公立大学, 2.株式会社リコー, 3.東北大学, 4.北陸先端科学技術大学院大学, 5.理化学研究所)
- 4C3-GS-11-01: Novel approaches to human mobility: human mobility description by a physical analogy of electric circuit network based on GPS data, ○Zhihua Zhong 1, Hideki Takayasu 1, Misako Takayasu 1 (1.Tokyo Institute of Technology)

4D3-GS-2-01 : ADOPT: ハイパーパラメータに依存せずに最適レートで収束する適応的最適化アルゴリズムの提案, ○谷口 尚平 1, 原田 憲旺 1, 峰岸 剛基 1, 大島 佑太 1, 鄭 晟徹 1, 長原 豪 1, 飯山 燈 1, 鈴木 雅大 1, 岩澤 有祐 1, 松尾 豊 1 (1.東京大学)

[学生奨励賞 一般セッション口頭発表部門 8 件]

- 1B4-GS-2-05 : 重み付きネットワークにおけるノードの構造的埋め込み表現, ○劉 庶 1, 鳥海 不二夫 1 (1.東京大学)
- 2N1-GS-4-04 : 季節性を考慮したプロンプトによるリスティング広告文生成, ○米持湧 1, 星野 智紀 2, 岩井 千妃呂 2, 川上 孝介 2, 市瀬 龍太郎 1 (1.東京工業大学, 2.株式会社博報堂テクノロジーズ)
- 4L3-GS-10-03 : 深層学習による人流生成 AI を用いた小売店舗内顧客動線のエージェントベースシミュレーション, ○堀込 泰三 1, 水野 貴之 2 (1.総合研究大学院大学, 2.国立情報学研究所)
- 1I3-GS-5-05 : 花卉市場における需要の可視化と推定に関する研究, ○酒井 洗星 1, 2, 段 裕之 2, 松下 旦 3, 岩崎 敦 1, 斎藤 麗 2 (1.電気通信大学, 2.株式会社オークネット, 3.東京大学)
- 1N3-GS-9-05 : 類似画像マッチングによる器への印象付与手法の妥当性検証, ○高橋りさ 1, 高橋 知奈 1, 松下 光範 1 (1.関西大学)
- 2F4-GS-5-02 : LLM エージェントの集団インタラクショントを介したゲームの新しい戦略の創発, ○高田 亮介 1, 升森 敦士 1, 池上 高志 1 (1.東京大学)
- 2K1-GS-10-01 : 気候技術導入時における倫理的観点の LLM を用いたマッピング手法の開発と地域間考察, ○富田 凜太郎 1, 江守 正多 2, 中野 晃作 1, 山田 健二 1, 岩田 紘宜 1, 田中 謙司 1 (1.東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻, 2.東京大学未来ビジョン研究センター)
- 4I3-GS-7-03 : LVLMS における Attention Map と勾配情報を活用した Object Hallucination の検出と修正, ○山路 和希 1, 高木 友博 1 (1.明治大学大学院)

[大会優秀賞 ポスター発表部門 12 件]

- 3Xin2-05 スマートフォン搭載 3D スキャナによる咀嚼挙動の大規模取得と食感分析に向けたディープラーニング, 武政 誠 1 (1.東京電機大学)
- 3Xin2-15 言語刺激下のヒト脳内における感情解析への取り組み, 三浦 衣里 1, 小林 一郎 1 (1.お茶の水女子大学)
- 3Xin2-57 データ駆動型材料開発に向けた少量の学習データによる特許からの実験データ抽出技術, 露木 雅文 1, 我妻 正太郎 1, 武藤 和夫 1 (1.株式会社 日立製作所)
- 3Xin2-73 『IDOLY PRIDE』におけるアイドル埋め込みを用いたユニット編成最適化, 伊原 滉也 1, 田村 和範 2, 叶 穎睿 1, 野村 将寛 1 (1.株式会社サイバーエージェント, 2.株式会社 QualiArts)
- 3Xin2-75 医用画像解析のためのマルチタスク表現学習, 高屋 英知 1, 稲森 瑠星 2 (1.東北大学病院, 2.東北大学 大学院医学系研究科)
- 3Xin2-85 LLM エージェント同士の自然言語による戦略進化, 堀口 維里優 1, 吉田 崇英 1, 池上 高志 1 (1.東京大学)
- 4Xin2-12 テキスト正規化による日本語感情分析の性能改善, 近藤 里咲 1, 寺面 杏優 1, 梶川 怜恩 1, 堀口 航輝 1, 梶原 智之 1, 2, 二宮 崇 1, 早志 英朗 2, 中島 悠太 2, 長原 一 2 (1.愛媛大学, 2.大阪大学)
- 4Xin2-13 悲観的な RLHF, 森村 哲郎 1, 坂本 充生 1 (1.株式会社サイバーエージェント)
- 4Xin2-16 グラフ間距離に基づく遺伝子制御ネットワークの重要遺伝子抽出法の提案, 大島 将 1, 岡本 有司 2, 原田 陽平 2, 鎌田 真由美 2, 奥野 恭史 2, 3 (1.京都大学 医学部, 2.京都大学医学研究科, 3.理化学研究所計算科学研究センター)
- 4Xin2-47 わずかな食感でも判別可能な新規食感分析法と食感設計に向けたディープラーニング応用, 金子 瑠晟 1, 武政 誠 1 (1.東京電機大学 大学院)
- 4Xin2-50 一般化少量データ意味領域分割における破滅的忘却を防ぐ, 坂井 智哉 1, 勝木 孝行 1, Qiu Haoxiang 1, 恐神 貴行 1, 井上 忠宣 1 (1.IBM 東京基礎研究所)
- 4Xin2-58 フルマラソンにおける“30 km の壁”の発生予測, 宮崎 陽輔 1, 阿部 悟 1 (1.株式会社アシックス)

[大会優秀賞 オーガナイズドセッション口頭発表部門 9 件]

- 3K1-OS-2a-02：不法行為判断予測データセット構築における諸課題，○山田 寛章 1，小原 隆太郎 2,3，角田 美穂子 3 (1. 東京工業大学，2. 中村・角田・松本法律事務所，3. 一橋大学)
- 2L1-OS-9a-01：マルチモーダル深層生成モデルとメトロポリス・ヘイスティング名付けゲームによる感情の記号創発，○張 澤航 1，堀井 隆斗 2,3，Hoang Nguyen 1，谷口 忠大 1 (1. 立命館大学，2. 大阪大学，3. 東京大学)
- 1M4-OS-14a-04：所要時間における Deep-IRT を用いて制限時間を考慮した自動並行テスト構成，○石川 文弥 1，瀧本 竜真 1，岸田 若葉 1，堤 瑛美子 2，植野 真臣 1 (1. 電気通信大学，2. 東京大学)
- 3O5-OS-16c-04：マルチモーダル基盤モデルと緩和対照損失を用いた大規模屋内検索エンジン，○今井 悠人 1，兼田 寛大 1，是方 諒介 1，杉浦 孔明 1 (1. 慶應義塾大学)
- 4P3-OS-17c-03：対立する立場間でのコミュニケーションにおける生成 AI の介入による対立緩和，○中川 聡 1，谷川 智洋 1，仲田 愛 2，吉村 貴克 2，堺 浩之 2，國吉 康夫 1 (1. 東京大学，2. 豊田中央研究所)
- 2M5-OS-24-05：One-Shot NAS による BERT のモデル圧縮，○岡本 拓己 1，横田 理央 1 (1. 東京工業大学)
- 2O4-OS-25a-04：Stable Diffusion による部屋間取りを保持したホームステージング画像生成，○服部 翔 1，山崎 俊彦 2 (1. アットホームラボ株式会社，2. 東京大学)
- 3I1-OS-27a-04：データと物理モデルを融合した確率的モデリングとその時空間データへの適用，○大坂 光 1，リュウ ジュンファイ 1，武石 直也 1，矢入 健久 1 (1. 東京大学)
- 1O4-OS-29a-01：多視点楽曲検索に向けた楽曲分離表現学習，○橋爪 優果 1，宮下 敦志 1，李 莉 1，戸田 智基 1 (1. 名古屋大学)

[優秀賞 国際セッション口頭発表部門 1 件]

- 2Q5-IS-1-02：Comparing Foundations: Insights into the Construction of Financial Causal Knowledge Graphs with and without Ontology, Ziwei Xu 1, Ryutaro Ichise 2, 1 (1 : National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, 2 : Tokyo Institute of Technology)

(4) 研究および調査の実施 (定款 4 条 4 号)

- ① 第 1 種研究会 (研究会運営委員会：松井 藤五郎 委員長，馬場 雪乃 副委員長，坂地 泰紀 委員，中臺 一博 委員)

(1) 人工知能基本問題研究会 (略称 SIG-FPAI)

主査：杉山 鷹人 (NII)，主幹事：西野 正彬 (NTT)

幹事：栗田 和宏 (名大)，鈴木 浩史 (富士通)，中畑 裕 (NAIST)，竹村 彰浩 (NII)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
129	2024 年 9 月 5 日～6 日	山口県シンフォニア岩国	8+4	59	ハイブリッド
130	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	5+2	75	合同研究会 ハイブリッド
131	2025 年 1 月 14 日～15 日	くまもと県民交流館パレア	10+2	26	
132	2025 年 3 月 18 日～19 日	高知県オビヤギルド	7+2	32	

(2) 知識ベースシステム研究会 (略称 SIG-KBS)

主査：伏見 卓恭 (東京工科大)，主幹事：大城 絢子 (沖縄国際大学)

幹事：木村 昌弘 (龍谷大)，横山 想一郎 (北大)，山本 泰生 (静岡大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
132	2024 年 8 月 23 日	沖縄国際大	11+1	35	ハイブリッド
133	2024 年 12 月 20 日	慶大 日吉キャンパス	16+1	70	合同研究会 ハイブリッド

134	2025 年 2 月 27 日～3 月 1 日	ホテルラフォーレ那須	4+0	50	WSSIT2025
-----	-------------------------	------------	-----	----	-----------

(3) 言語・音声理解と対話処理研究会 (略称 SIG-SLUD)

主査：小磯 花絵 (国立国語研)，主幹事：熊野 史朗 (NTT)
幹事：坂井田 瑠衣 (公立はこだて未来大)，井上 昂治 (京大)，宮崎 千明 (ソニーグループ)，
牧野 遼作 (早稲田大)，

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
101	2024 年 9 月 9 日～10 日	名古屋大	19+1	64	
102	2024 年 11 月 28 日～29 日	国立国語研究所＋ オンライン	57+1	208	第 15 回対話システムシンポジウム
103	2025 年 3 月 20 日～22 日	早稲田大	48+1	168	ハイブリッド

(4) 先進的学習科学と工学研究会 (略称 SIG-ALST)

主査：林 雄介 (広島大)，主幹事：田和辻 可昌 (東大)
幹事：宇都 雅輝 (電通大)，山本 頼弥 (常葉大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
101	2024 年 7 月 27 日	長岡技術科学大	4+0	7	
102	2024 年 12 月 20 日	慶大 日吉キャンパス	10+1	18	合同研究会
103	2025 年 3 月 17 日～18 日	国民宿舎みやじま杜の宿	18+0	30	
—	2024 年 10 月 4 日～6 日	軽井沢研修所	—	27	若手の会

② 第 2 種研究会 (研究会運営委員会：松井 藤五郎 委員長，馬場 雪乃 副委員長，坂地 泰紀 委員，中臺 一博 委員)

(1) AI チャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

主査：植村 渉 (龍谷大)，主幹事：干場 功太郎 (東京科学大)
幹事：鈴木 麗璽 (名大)，中臺 一博 (東京科学大)，光永 法明 (大阪教育大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
65	2024 年 4 月 28 日	滋賀ダイハツアリーナ	2+0	20	ロボカップジャパンオープン 2024
66	2024 年 12 月 20 日	慶大 日吉キャンパス	13+2	84	合同研究会 ハイブリッド
—	2024 年 11 月 29 日	東京科学大	—	30	第 23 回ロボット聴覚ソフトウェア HARK 講習会

(2) ことば工学研究会 (略称 SIG-LSE)

主査：阿部 明典 (千葉大)，主幹事：福島 宙輝 (神戸大)
幹事：笠原 要 (NTT)，小野 淳平 (青森大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
75	2024 年 9 月 20 日～21 日	青森大 + KOBE Co CREATION CENTER	7+0	10	ハイブリッド
76	2025 年 3 月 28 日～29 日	神戸大学	10+0	20	

(3) コモンセンスと感情研究会 (略称 SIG-CSE)

主査：桐山 伸也 (静岡大)，主幹事：石川 翔吾 (静岡大)
幹事：佐藤 久美子 (玉川大)，沢井 佳子 (チャイルド・ラボ)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
7	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	3+2	40	合同研究会

					ハイブリッド
--	--	--	--	--	--------

(4) 身体知研究会（略称 SIG-SKL）

主査：松浦 慶総（横国大），主幹事：大海 悠太（東京工芸大）
幹事：伊藤 毅志（電通大），榎本美香（東京工科大），香山瑞恵（信州大），児玉 謙太郎（都立大），清水 大地（東大），白水 始（国立教育政策研），諏訪 正樹（慶大），堀内 隆仁（慶大），松田 浩一（岩手県立大），山田 雅之（九工大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
43	2024 年 9 月 21 日	東京工芸大 中野キャンパス	19+0	50	ハイブリッド
44	2024 年 12 月 22 日	東京工科大 蒲田キャンパス	4+0	20	ハイブリッド
45	2025 年 3 月 9 日	東京工科大 蒲田キャンパス	5+0	40	ハイブリッド

(5) ナチュラルコンピューティング研究会（略称 SIG-NAC）

主査：今井 克暢（福山大），主幹事：鈴木 泰博（名大）
幹事：磯川 悌次郎（兵庫県立大），萩谷昌己（東大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
41	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	6+1	36	合同研究会 ハイブリッド
42	2025 年 3 月 23 日～25 日	札幌市立大	8+0	11	

(6) 社会における AI 研究会（略称 SIG-SAI）

主査：小川 祐樹（東京都市大），主幹事：諏訪博彦（NAIST）
幹事：岩田 員典（愛知大），櫻井 瑛一（産総研），中島 智晴（大阪公立大），林 久志（産業技術大学院大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
50	2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日	福知山公立大	8+0	30	RoboCup シミュレーション秋キャンプ
51	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	7+1	50	合同研究会 ハイブリッド
52	2025 年 2 月 27 日～3 月 1 日	ホテルラフォーレ那須	5+0	59	WSSIT2025

(7) 金融情報学研究会（略称 SIG-FIN）

主査：坂地 泰紀（北大），主幹事：水門 善之（野村証券／東大）
幹事：落合 友四郎（大妻女子大），中川 慧（野村アセットマネジメント），平松 賢士（アイフィスジャパン），佐野 仁美（政策研究大学院大／一橋大），真鍋 友則（SOMPO リスクマネジメント），水田 孝信（スパークス・アセット・マネジメント），平野 正徳（Preferred Networks）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
33	2024 年 10 月 19 日～20 日	FinGATE KAYABA	33+0	198	ハイブリッド
34	2025 年 3 月 1 日～2 日	KPMG コンサルティング	31+0	187	ハイブリッド

(8) 知識と技能のモデル化と活用研究会（略称 SIG-MAKS）

主査：稗方 和夫（東大），主幹事：古川 慈之（産総研）
幹事：青島 大悟（ツールラボ），坂口 憲一（テクノソリューション），松尾 宏平（海上技術安全研），笈田 佳彰（富士通）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
1	2024 年 12 月 20 日	慶大 日吉キャンパス	8+0	32	合同研究会 ハイブリッド

2	2025年3月26日	東大 本郷キャンパス	8+0	28	ハイブリッド
---	------------	------------	-----	----	--------

(9) 知識流通ネットワーク研究会 (略称 SIG-KSN)

主査: 樋山 淳雄 (東京学芸大), 主幹事: 竹内 広宜 (武蔵大)
幹事: 岡本 青史 (富士通), 小林 紀之 (富士通), 津田 和彦 (筑波大), 小林 展英 (デンソークリエイト), 桑田 喜隆 (室蘭工業大), 神戸 雅一 (NTT データ)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
35	2024年9月27日	オンライン	7+0	15	
36	2025年3月26日	武蔵大 江古田キャンパス	8+0	12	ハイブリッド

(10) セマンティックウェブとオントロジー研究会 (略称 SIG-SWO)

主査: 鶴飼 孝典 (富士通), 主幹事: 砂川 英一 (東芝)
幹事: 江上 周作 (産総研), 三原 鉄也 (筑波大), 山口 敦子 (東京都市大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
63	2024年9月4日～5日	ホテルいんのしま	11+1	26	
64	2024年12月20日	慶大 日吉キャンパス	8+1	40	合同研究会
65	2025年3月7日	東京都市大学	9+0	42	

(11) データ指向構成マイニングとシミュレーション研究会 (略称 SIG-DOCMAS)

主査: 大原 剛三 (青山学院大), 主幹事: 清水 仁 (NTT)
幹事: 池田 圭佑 (NEC), 坂地 泰紀 (北大), 鳥海 不二夫 (東大), 服部 宏充 (立命館大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
26	2024年12月20日	慶大 日吉キャンパス	6+1	50	合同研究会 ハイブリッド
27	2024年2月27日～3月1日	ホテルラフォーレ那須	3+0	59	WSSIT2025

(12) ビジネスインフォマテックス研究会 (略称 SIG-BI)

主査: 寺野 隆雄 (千葉商科大), 主幹事: 高橋 大志 (慶大)
幹事: 倉橋 節也 (筑波大), 太田 明 (東京都市大), 小林 知巳 (小林マネジメント研究所/早大), 菱山 玲子 (早大), 鳥山 正博 (立命館大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
25	2024年9月14日～15日	慶大 三田キャンパス	10+0	30	ハイブリッド
26	2025年3月15日～17日	大濱信泉記念館	37+0	75	ハイブリッド
—	2024年5月	アクトシティ浜松	5+1	20	isAI AI-Biz2024

(13) 人工生命研究会 (略称 SIG-ALIFE)

主査: 岡 瑞起 (筑波大), 主幹事: 橋本 康弘 (会津大)
幹事: 鈴木麗璽 (名大), Olaf Witkowski (Cross Labs)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
9	2024年12月20日	慶大 日吉キャンパス	10+1	70	合同研究会 ハイブリッド

(14) 医用人工知能研究会 (略称 SIG-AIMED)

主査: 津本 周作 (島根大), 主幹事: 矢入 郁子 (上智大)
幹事: 古崎 晃司 (大阪電通大), 大武 美保子 (理研), 大江 和彦 (東大), 今井 健 (東大), 井上 謙一 (湘南記念病院), 大原 剛三 (青山学院大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
14	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	10+1	32	合同研究会 ハイブリッド
—	2024 年 11 月 23 日	福岡	0+4	250	第 44 回医療情報学連合 大会, ハイブリッド

(15) インタラクティブ情報アクセスと可視化マイニング研究会 (略称 SIG-AM)

主査：砂山 渡（滋賀県立大），主幹事：柴田 祐樹（東京都立大）

幹事：松下 光範（関西大），阿部 明典（千葉大），森 辰則（横国大），高間 康史（東京都立大），
西原 陽子（立命館大），笹嶋 宗彦（兵庫県立大），安藤 雅行（立命館大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
33	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	14+0	60	合同研究会 ハイブリッド
34	2025 年 3 月 7 日	立大 大阪いばらきキャンパス	9+0	30	ハイブリッド
—	2024 年 5 月	アクトシティ浜松	15	150	全国大会 OS-10

(16) 市民共創知研究会 (略称 SIG-CCI)

主査：白松 俊（名工大），主幹事：福田 直樹（静岡大）

幹事：藤田 桂英（東京農工大），堀田 竜士（日本エヌ・ユー・エス），三井 実（ミテモ），小野地 光弘（名工大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
13	2024 年 12 月 19 日	名古屋市 PALET.NU	4+0	12	特別企画 1 件
14	2024 年 3 月 7 日～8 日	小田原市 曽我別所	6+0	16	
—	2024 年 5 月	アクトシティ浜松	8+1		全国大会 OS-8
	2024 年 7 月 21 日	名古屋工業大学			中高生向けワークショップ
	2024 年 11 月 9 日	名古屋工業大学			中高生向けワークショップ
	2025 年 1 月 29 日	名古屋工業大学		30	第 30 回コミュニティ 工学ワークショップ

(17) 汎用人工知能研究会 (略称 SIG-AGI)

主査：山川 宏（全脳アーキテクチャ・インシアティブ），主幹事：ジェブカ ラファウ（北大）

幹事：荒川 直哉（全脳アーキテクチャ・インシアティブ），嶋田 悟（エアロセンス），船越 孝太郎（東京科学大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
27	2024 年 8 月 8 日	東大 本郷キャンパス	5+1	106	ハイブリッド
28	2024 年 12 月 20 日	慶大 日吉キャンパス	8+1	140	合同研究会 ハイブリッド
29	2025 年 3 月 17	東大 本郷キャンパス	7+0	48	ハイブリッド

(18) 計測インフォマティクス研究会 (略称 SIG-MEI)

主査：鷺尾 隆（阪大），主幹事：岡田 真人（東大）

幹事：赤井 一郎（熊本大），今村 岳（物質・材料研究機構），上野 玄太（統計数理研），小野 峻佑（東京科学大），小松崎 民樹（北大），篠塚 寛志（物質・材料研究機構），原 聡（阪大）

(19) 安全とセキュリティ研究会 (略称 SIG-SEC)

主査：櫻井 幸一（九大），主幹事：大塚 玲（情報セキュリティ大学院大）

幹事：菅 和聖（日本銀行），榊 剛史（ホットリンク），櫻井 祐子（名工大），高橋 健一（鳥取大），溝口 誠一郎（DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン），宮地 充子（阪大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
3	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	5+1	30	合同研究会 ハイブリッド
—	2025 年 1 月 17 日	情報セキュリティ大学院 大学	0+3	30	第2回 SIG-SEC 国際 シンポジウム
—					CSS-AWS 協力 SCIS2025 協賛 AICompS2024 協賛

(20) スマートマニュファクチャリングとシステム健全性管理研究会 (略称 SIG-SMSHM)

主査: 矢入健久 (東大), 主幹事: 植野 研 (東芝)

幹事: 今村 誠 (東海大), 堤 誠司 (宇宙航空研究開発機構), 増田 新 (京都工芸繊維大), 飯野 翔太 (有人宇宙システム), 井上 道雄 (MathWorks Japan), 渡邊 泰 (電力中研), 棗田 昌尚 (NEC), 富永 晃司 (宇宙航空研究開発機構), 濱戸 昭太郎 (宇宙航空研究開発機構)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
1	2024 年 7 月 30 日	東大 駒場キャンパス	13+0	84	ハイブリッド
2	2024 年 12 月 21 日	慶大 日吉キャンパス	8+0	79	合同研究会 ハイブリッド

(21) パーソナル AI 研究会 (略称 SIG-PAI)

主査: 橋田 浩一 (理研), 主幹事: 白松 俊 (名工大)

幹事: 門倉 悠真 (東芝), 松原 勇介 (理研), 谷沢 智史 (東大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
1	2025 年 1 月 20 日	オンライン	0+4	68	

③ 第3種研究会 (研究会運営委員会: 松井 藤五郎 委員長, 馬場 雪乃 副委員長, 坂地 泰紀 委員, 中臺 一博 委員)

(1) 地球惑星科学における AI 研究会 (略称 SIG-GeoSciAI)

主査: 津本 周作 (島根大), 主幹事: 高橋 幸弘 (北大)

幹事: 栗原 聡 (慶大), 東中 竜一郎 (名大), 鹿島 久嗣 (京大), 福井 健一 (阪大), 飯田 佑輔 (新潟大), 長尾 大道 (東大), 中野 満寿男 (海洋研究開発機構)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
1	2024 年 12 月 20 日	オンライン	8+0	33	合同研究会

(2) AI ペディアと AI マップ研究会 (SIG-AIPM)

主査: 大向 一輝 (東大), 主幹事: 本村 陽一 (産総研)

幹事: 清田 陽司 (麗澤大), 栗原 聡 (慶大), 砂川 英一 (東芝)

④ 合同研究会 2024 (SIGAIs2024)

- ・実行委員会: 実行委員長: 馬場 雪乃 (東大), 松井 藤五郎 (中部大)
実行副委員長: 中臺 一博 (東京科学大), 坂地 泰紀 (北大)
実行委員: 西野 正彬 (FPAD)、伏見 卓恭 (KBS)、田和辻 可昌 (ALST)、鈴木 麗璽 (Challenge)、中臺 一博 (Challenge)、干場 功太郎 (Challenge)、桐山 伸也 (CSE)、今井 克暢 (NAC)、櫻井 瑛一 (SAI)、林 久志 (SAI)、古川 慈之 (MAKS)、砂川 英一 (SWO)、清水 仁 (DOCMAS)、橋本 康弘 (ALIFE)、古崎 晃司 (AIMED)、砂山 渡 (AM)、ジェブカ・ラファウ (AGI)、榊 剛史 (SEC)、田村 傑 (SEC)、植野 研 (SMSHM)
- ・日時 2024 年 12 月 20 日 (金) ~21 日 (土)

- ・場所 慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館・来往舎（一部研究会はオンラインとのハイブリッド）
- ・参加研究会 16 研究会 一般発表, 招待講演

SIG-FPAI	人工知能基本問題研究会	0, 1
SIG-ALST	先進的学習科学と工学研究会	10, 1
SIG-KBS	知識ベースシステム研究会	16, 1
SIG-AM	インタラクティブ情報アクセスと可視化マイニング研究会	9, 1
SIG-Challenge	AI チャレンジ研究会	11, 1
SIG-DOCMAS	データ指向構成マイニングとシミュレーション研究会	6, 1
SIG-SWO	セマンティックウェブとオントロジー研究会	8, 1
SIG-AGI	汎用人工知能研究会	6, 1
SIG-AIMED	医用人工知能研究会	10, 1
SIG-CSE	コモンセンスと感情研究会	1, 0
SIG-MAKS	知識と技能のモデル化と活用研究会	8, 1
SIG-NAC	ナチュラルコンピューティング研究会	7, 1
SIG-SAI	社会における AI 研究会	7, 1
SIG-ALIFE	人工生命研究会	9, 1
SIG-SEC	安全性とセキュリティ研究会	N/A, 1
SIG-SMSHM	スマートマニュファクチャリングとシステム健全性管理研究会	8, 1
- ・研究会発表 116 件（一般発表），15 件（研究会招待講演等）
- ・招待講演：「テクノロジーを通して描く未来の社会システム」 安野 貴博
招待講演：「BodySharing, 固有感覚の情報入出力インタフェースと体験のデジタル化」 玉城絵美 氏（H2L 株式会社／琉球大学／東京大学）
- ・合同企画「インダストリアルセッション」（5 社が発表）
- ・参加登録者数 1,005 名（現地 559 名（うち 455 名が参加），オンライン 446 名）
- ・スポンサー 10 社（ゴールド 6 社，シルバー 4 社）

⑤ 特別支援

- ・AI チャレンジ研究会（SIG-Challenge）
ロボット聴覚 HARK tutorial, 講習会／ハッカソン開催に関する運営費（アルバイト費用）に対して支出した。支出額：98,082 円

⑥ COVID-19 感染症拡大防止を目的とした研究会のハイブリッド開催対応

COVID-19 感染症拡大防止を目的として研究会は必要に応じてオンラインまたはハイブリッド形態で開催する方針とした。オンライン開催に必要な Zoom アカウントを購入し，研究会毎にホストキーを割り当てて運用した。

(5) 国内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款 4 条 5 号）

以下の依頼が理事会で承認（共催 2 件，協賛 54 件，後援 30 件）されたので，会誌「人工知能」，ホームページ，メーリングリストを利用して告知し，他学会との協調による学会活動の活性化および多様化を推進した。

① 共催「イベント名称」主催者名（開催日：年. 月. 日）

(01) 「GeoSci2024」日本地球惑星科学連合（2024.4.8-5.26）

(02) 「International Conference on Robot Ethics and Standards ICRES 2024」Clawar Association（2024.7.29-31）

② 協賛「イベント名称」主催者名（開催日：年. 月. 日）

(01) 「連続セミナー2024『情報技術の新たな地平：AI と量子が導く社会変革』」情報処理学会（2024.6～12 にかけて全 12 回開催）

(02) 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2024」ヒューマンインタフェース学会（2024.9.18～20）

- (03) 「第 26 回日本感性工学会大会」 日本感性工学会 (2024.9.12~14)
- (04) 「第 49 回教育システム情報学会全国大会」 教育システム情報学会 (2024.8.27~8.29)
- (05) 「第 152 回ロボット工学セミナー『ロボットのための LLM・VLM 利活用』」 日本ロボット工学会 (2024.5.23)
- (06) 「第 153 回ロボット工学セミナー『力触覚・近接覚を活用したラスト 1 センチのロボットマニピュレーション』」 日本ロボット工学会 (2024.6.25)
- (07) 「2024 年度 第 2 回 OR セミナー『Streamlit を使って数理最適化アプリを作成しよう!』」 日本オペレーションズ・リサーチ学会 (2024.7.6)
- (08) 「第 31 回ディスプレイ国際ワークショップ (IDW ' 24) The 31st International Display Workshops」 映像情報メディア学会, The Society for Information Display (2024.12.4~6)
- (09) 「2024 年度茨城講演会」 日本機械学会 (2024.8.30)
- (10) 「第 15 回最適化シンポジウム 2024 (OPTIS 2024)」 日本機械学会 (2024.10.26~27)
- (11) 「Pacific Rim International Conference on Artificial Intelligence 2024 (PRICAI2024)」 PRICAI 2024 Organizing Committee (2024.11.18~11.24)
- (12) 「システム制御情報学会・計測自動制御学会 チュートリアル講座 2024『運転支援知能システムを支える制御工学と機械学習 ～モデル予測制御から深層学習まで～』」 システム制御情報学会・計測自動制御学会 (2024.8.5)
- (13) 「計測自動制御学会 システム・情報部門 学術講演会 (SSI2024)」 計測自動制御学会 システム・情報部門 (2024.11.13~15)
- (14) 「第 154 回ロボット工学セミナー」 日本ロボット学会 (2024.7.17)
- (15) 「第 67 回自動制御連合講演会」 システム制御情報学会 (2024.11.23~24)
- (16) 「スケジューリング・シンポジウム 2024」 スケジューリング学会 (2024.9.17~9.18)
- (17) 「SICE セミナー『モデルベース制御系設計～モデリングから制御系設計までを系統的に学ぶ～』 2024」 計測自動制御学会 制御部門 (2024.9.27)
- (18) 「第 22 回 ITS シンポジウム 2024」 ITS Japan (2024.12.12~12.13)
- (19) 「全国中高生 AI・DS 探究コンペティション 2025」 JDSSP 高等学校データサイエンス教育研究会 (2025.5.25)
- (20) 「一般社団法人経済情報学会 2024 年全国大会」 経済情報学会 (2024.11.16~11.17)
- (21) 「Japan Robot Week 2024」 日本ロボット工業会, 日刊工業新聞社 (2024.9.18~9.20)
- (22) 「第 37 回 自律分散システム・シンポジウム」 計測自動制御学会 システム・情報部門 自律分散システム部会 (2025.1.15~1.16)
- (23) 「JSME The 8th International Conference on Advanced Mechatronics (ICAM 2024)」 日本機械学会 (2024.11.6~11.8)
- (24) 「第 7 回電動車両技術国際会議 (EVTec2025)」 自動車技術会 (2025.5.19~5.21)
- (25) 「日本神経回路学会 第 34 回全国大会 (JNNS2024)」 日本神経回路学会 (2024.9.11~9.13)
- (26) 「第 23 回 ロボット聴覚オープンソースソフトウェア HARK 講習会」 東京工業大学 (東京科学大学) 工学院 システム制御系 中臺研究室, 東京工業大学 (東京科学大学) 工学院機械系 岩附研究室, AI チャレンジ研究会, (株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン, 他 (2024.11.29)
- (27) 「ADVANCES IN ARTIFICIAL INTELLIGENCE」 AIXIA Italian Association for Artificial Intelligence, International Summer School (2024.9.23-27)
- (28) 「第 32 回インテリジェント・システム・シンポジウム FAN 2024 in Fukushima」 日本知能情報ファジィ学会 (2024.9.18~9.19)

- (29) 「IDR ユーザフォーラム 2024」 国立情報学研究所 (2024.12.13)
- (30) 「TRON プロジェクトシンポジウム『2024 TRON Symposium (TRONSHOW)』」 トロンフォーラム (2024.12.11～13)
- (31) 「The 38th International Conference on Industrial, Engineering & Other Applications of Applied Intelligent Systems (IEA/AIE 2025)」 International Conference on Industrial, Engineering & Other Applications of Applied Intelligent Systems (2025.7.1～4)
- (32) 「SICE セミナー『モデル予測制御～最適制御の基礎から 応用事例・ソフトウェアツールまで～』 2024」 計測自動制御学会 (2024.11.12)
- (33) 「進化計算シンポジウム 2024」 進化計算学会 (2024.12.20～22)
- (34) 「生産システム部門研究発表講演会 2025」 日本機械学会 (2025.3.3～3.4)
- (35) 「システム制御情報学会セミナー2024 ヒトの活動領域のデジタルツインは私たちの生活をどう変えるのか」 システム制御情報学会 (2024.12.5)
- (36) 「HAI シンポジウム 2025」 HAI シンポジウム運営委員会 (2025.2.28～3.1)
- (37) 「The 6th International Conference on Design Engineering and Science, ICDES2025」 日本設計工学会 (2025. 8.19～22)
- (38) 「International Symposium on Scheduling 2025」 スケジューリング学会 (2025.6.28～30)
- (39) 「インタラクション 2025」 情報処理学会 ヒューマンコンピュータインタラクション研究会, コラボレーションとネットワークサービス研究会, ユビキタスコンピューティングシステム研究会, エンタテインメントコンピューティング研究会, デジタルコンテンツクリエイション研究会 (2025.3.2～4)
- (40) 「QST 高崎サイエンスフェスタ 2024」 量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所 (2024.12.10～12.11)
- (41) 「人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA/NAGOYA/ONLINE」 自動車技術会 (会期: 2025 年 5 月 21 日 (水) ～23 日 (金) (横浜), 2025 年 7 月 16 日 (水) ～18 日 (金) (名古屋), 2025 年 5 月 14 日 (水) ～6 月 4 日 (水) (オンライン Stage1), 2025 年 7 月 9 日 (水) ～30 日 (水) (オンライン Stage2))
- (42) 「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2025」 日本機械学会 (2025.6.4～7)
- (43) 「19th International Conference on Machine Vision Applications (MVA2025)」 MVA2025 実行委員会 (2025.7.26～28)
- (44) 「第 31 回画像センシングシンポジウム (SSII2025)」 画像センシング技術研究会 (2025.5.28～30)
- (45) 「第 52 回 知能システムシンポジウム」 計測自動制御学会 システム・情報部門 (2025.3.10～11)
- (46) 「第 46 回バイオメカニズム学術講演会」 バイオメカニズム学会 (2025.11.15～16)
- (47) 「第 27 回日本感性工学会大会」 日本感性工学会 (2025.9.17～19)
- (48) 「第 6 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム」 日本工学会 (2025.3.4)
- (49) 「第 68 回自動制御連合講演会」 日本機械学会 (2025.11.1～2)
- (50) 「ロボカップジャパンオープン 2025」 ロボカップ日本委員会 (2025.5.2～5)
- (51) 「ラーニングイノベーションングランプリ 2025 (LIGP2025)」 ラーニングイノベーションコンソシアム
- (52) 「センシング技術セミナー2025『関西のセンシング技術の最前線』」 センシング技術応用研究会 (2025.6.6)
- (53) 「『人工知能・機械学習と信頼性工学への応用最前線』～ 機械材料・材料加工のシミュレーション・計測と力学 第 5 回～」 日本機械学会 (2025.6.16～16)
- (54) 「第 41 回 ファジィシステムシンポジウム (FSS2025)」 日本知能情報ファジィ学会 (2025.9.3～5)

- ③ 後援「イベント名称」主催者名（開催日：年. 月. 日）
- (01) 「SIGGRAPH Asia 2024 TOKYO」 ACM SIGGRAPH (2024.12.3～6)
 - (02) 「第5回とめ研究所若手研究者懸賞論文」とめ研究所 (2024.6.15～9.4 にかけて募集)
 - (03) 「第12回 日経『星新一賞』」日本経済新聞社 (2024.5～2025.3 にかけて募集)
 - (04) 「CAN2024 キックオフシンポジウム」一般社団法人応用脳科学コンソーシアム (2024.6.7)
 - (05) 「第33回 JTF 翻訳祭 2024」日本翻訳連盟 (2024.10.24)
 - (06) 「43rd ACM CHI Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI 2025)」ACM (2025.4.26～5.1)
 - (07) 「第49回 蔵前科学技術セミナー 2024」蔵前工業会 (2024.11.10)
 - (08) 「HONGO AI 2024」HONGO AI (エントリー告知 2024.6, 最終選考会 2024.10.16)
 - (09) 「第9回 IoT セキュリティフォーラム」横浜国立大学先端科学高等研究院 (2024.9.3～4)
 - (10) 「デジタルツイン・DX シンポジウム 2025」土木学会 構造工学委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会 (2025.5.26)
 - (11) 「システム監査学会第37回公開シンポジウム」システム監査学会 (2024.11.23)
 - (12) 「第2回 NDE4.0 シンポジウム」日本非破壊検査協会 (2024.12.20)
 - (13) 「14th International Conference of Asia-Pacific Federation for Information Technology in Agriculture (APFITA)」農業情報学会, Asia-Pacific Federation for Information Technology in Agriculture (2024.11.6～8)
 - (14) 「VR 研究倫理学会 年次大会 2024」VR 研究倫理学会推進財団 (2024.10.12)
 - (15) 「AMT 年次大会『AAMT 2024, Tokyo ～機械翻訳の進歩と調和～』」アジア太平洋機械翻訳協会 (AAMT) (2024.11.15)
 - (16) 「AI・DX サマーシンポジウム」土木学会 構造工学委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会 (2025. 8.8)
 - (17) 「第20回情報システム学会全国大会・研究発表大会」情報システム学会 (2024.11.30～12.1)
 - (18) 「KGRI シンポジウム『情報的健康』国際シンポジウム」慶應義塾大学 X Dignity センター (2024.12.21)
 - (19) 「第8回自動翻訳シンポジウム」総務省, グローバルコミュニケーション開発推進協議会, 国立研究開発法人情報通信研究機構 (2025.2.19)
 - (20) 「第16回産業日本語研究会・シンポジウム」高度言語情報融合フォーラム (ALAGIN), 日本特許情報機構 (2025.2.5)
 - (21) 「ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2025 名古屋」ロボカップジュニア・ジャパン (2025.3.28～30)
 - (22) 「研究者・技術者のためのもう一度、数学データの本質をつかむ数学リテラシー」神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) (2025.1.20～22)
 - (23) 「ムーンショット新保プロジェクト E3LSI シンポジウム：ヒューマンエンハンスメント技術の法的・倫理的・哲学的問題」京都大学 曾我部研究室 (2025.3.7)
 - (24) 「第9回 AI・人工知能 EXPO 春」RX Japan 株式会社 (2025.4.15～17)
 - (25) 「第6回 AI・人工知能 EXPO 秋」RX Japan 株式会社 (2025.10.8～10)
 - (26) 「『デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術』」を振り返るシンポジウム」シンポジウム「続・表現の未来へ」大同窓会実行委員会 (2025.3.18)
 - (27) 「第6回とめ研究所若手研究者懸賞論文」株式会社とめ研究所 (2025.6.6～9.5, 表彰式：2025.11.8)
 - (28) 「第6回 AI・データサイエンスシンポジウム」土木学会 構造工学委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会 (2025.11.19～20)
 - (29) 「日本人工知能オリンピック 2025」国際人工知能オリンピック日本委員会 (2025.4.25～5.2)

(30)「第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」一般社団法人全国高等専門学校連合会（表彰式：2025.10.11～12）

④ 協力「イベント名称」主催者名（開催日：年. 月. 日）

なし

(6) その他目的を達成するために必要な事業（定款4条6号）

①企画委員会（セミナー）：動画コンテンツの配信

櫻井 祐子 委員長（名工大），谷口 晋平（博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ）

委員：角森 唯子（NTTコミュニケーションズ），木村 大毅（日本IBM），黒田 由加（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

ノーベル賞座談会，機械学習に関する解説，ChatGTPと学校教育，等の動画コンテンツ28本を作成し

YouTubeで公開し，学会Webサイト経由で配信した（合計68本）．チャンネル登録人数は3,335名となった（2025年1月時点）．

②企画委員会（セミナー）：コンペティション助成

櫻井 祐子 委員長（名工大），谷口 晋平（博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ）

委員：是枝 裕太（日立製作所），原田 慧（電通大），石原 祥太郎（日経新聞社）

以下のコンペティション活動に対して支援ならびに助成金の支出を行うこととした．

〔助成金あり〕

1. サッカー軌道予測

代表者：秋山 英久（岡山理科大学）

助成申請額：23万円，理事会承認日：2024/10/29

2. 全国中高生 AI・DS 探究コンペティション

代表者：林 宏樹（兵庫県立大学情報科学研究科／雲雀丘学園中学校・高等学校）

助成申請額：50万円，理事会承認日：2024/7/24

〔助成金なし〕

応募なし

③倫理委員会：人工知能に関する倫理に関わる課題を，人工知能学会会員および社会の人々と共有し，健全な人工知能と社会の関係を構築することを目的とする．このために全国大会での企画セッションや独自のシンポジウムなどを実施する．

栗原 聡 委員長（慶大）

委員：服部 宏充（立大），中川 裕志（理研），鳥海 不二夫（東大），浅川 直輝（日経BP），藤井 大洋（SF小説家），三宅 陽一郎（スクエア・エニックス），高橋 未玲（CuePoint），大屋 雄裕（慶大），神崎 宣次（南山大），ジェプカ・ラファウ（北大）

全国大会で企画セッションを実施

④広報委員会：学会としての広報の方針を策定し，それに沿ってWebサイト等の刷新，ソーシャルメディアの活用等，広報活動を推進する．

佐藤 敏紀 委員長（ソフトバンク），江渡 浩一郎 副委員長（産総研）

学会Webサイトの刷新検討，メーリングリストの配信審議，取材・執筆依頼の対応，等を行った．

⑤国際標準化委員会：人工知能技術のターミノロジーに関する国際標準化を推進する

井崎 武士 委員長（エヌビディア），倉橋 節也 副委員長（筑大）

SC42 国内委員会（情報処理学会情報規格調査会 SC42 専門委員会 人工知能）にリエゾンとして参加（毎月開催）．人工知能学会からの情報発信，SC42 から人工知能学会への協力要請対応．ISO/IEC JTC 1/SC42 のオブザーバー参加（AI に関する標準化活動の状況を把握）．全国大会での企画セッション実施

⑥AI マップ委員会：人工知能についての初学者・異分野研究者を対象に人工知能研究の俯瞰と可視化を行う

砂川 英一 委員長（東芝），本村 陽一 副委員長（産総研）

委員：市瀬 龍太郎（東京科学大），植野 研（東芝），大向 一輝（東大），清田 陽司（麗澤大），谷口 恭

弘（ヤマハロボティックス HD），堤 富士夫（電力中研），友野 孝夫（慶大），森川 幸治（LIFESCAPES），吉岡 健（富士フイルム），中川西 学（SAMSUNG），戸上 真人（AWS），野田 五十樹（北大），松尾 豊（東大）
全国大会企画セッション実施

⑦出版委員会：学会が保有するコンテンツの出版を推進する

栗原 聡 委員長（慶大）

委員：津本 周作（島根大学），本村 陽一（産業技術総合研究所），大向 一輝（東京大学），事務局：住田 一男

WG 長：栗原 聡（慶大）

メンバー：本村 陽一（産総研），橋田 浩一（東大），大向 一輝（東大），清田 陽司（麗澤大），事務局：住田 一男

共立出版より 2017 年に出版された人工知能大事典のオンライン公開を目指す。

⑧多様性・包摂推進委員会

高野 雅典 委員長（サイバーエージェント），荒井 ひろみ 副委員長（理研）

委員：清田 陽司（麗澤大），長倉 克枝（日経 BP），荒井 ひろみ（理研），斎藤 明日美，村上彩菜（お茶大），志水洋人（名大）

全国大会ならびに合同研究会での女性向けランチ交流会を実施，全国大会での企画セッション実施，本会イベント参加者の分析

オンラインセミナー実施（3 回）

2024/10/03 第 1 回「教育とステレオタイプ／バイアス」 中野 円佳（東京大学）

2024/12/11 第 2 回「LGBTQ+と学会運営」 平森 大規（法政大学）

2025/02/04 第 3 回「障害と学会運営」 窪崎 泰紀（NPO 法人ゆに）

⑨ジュニア委員会

小野 智弘 委員長（KDDI 総研），本村 陽一 副委員長（産総研）

委員会設置，ジュニア会員制度の検討

⑩新会員施策検討タスクフォース

小野 智弘 委員長（KDDI 総研）

委員：和泉 潔（東大），岡田 雅司（パナソニック HD），清田 陽司（麗澤大），高野 雅典（サイバーエージェント），坊農 真弓（国立情報学研究所），長尾 和彦（弓削商船高等専門学校），林 宏樹（雲雀丘学園中高等学校），吉田 香（九工大），アドバイザー：津本周作（島根大学）

昨年に引き続き会員向けアンケートを実施した。ジュニア向けの施策を推進するためジュニア委員会を新設した。

⑪40 周年記念タスクフォース

佐藤 敏紀 委員長（ソフトバンク）

委員：江渡 浩一郎（産総研），櫻井 祐子，谷口 晋平，大澤 博隆，三宅 陽一郎，倉島 健，小町 守，栗原 聡，本村 陽一，小野 智弘，清田 陽司

アドバイザー：津本 周作（島根大）

⑫未来学会タスクフォース（万博）

佐久間 洋司 委員長（ソフトバンク）

委員：井上 昂治（京大），大西 一貫（博報堂テクノロジーズ），狩野 芳伸（静大），品川 政太朗（SB Intuitions），高田 亮介（東大），竹内 孝（京大），谷本 啓（NEC），森 友亮（スクウェアエニックス），谷中 瞳（東大），山野辺 明子（メイプロジェクト）

⑬事業化準備タスクフォース

栗原 聡 委員長（慶大）

委員：津本 周作（島根大学），本村 陽一（産総研），小野 智弘（KDDI 総研），清田 陽司（麗澤大），和泉 潔（東大），江渡 浩一郎（産総研），佐藤 敏紀（ソフトバンク），折原 良平（キオクシア），堤 富士雄（電力中研），吉岡 健（富士フイルム）

II 処務の概要

(1) 役員などに関する事項

2024 年度末現在

職 名	勤 務	氏 名	就任年月日	担当職務	報酬	現 職	備考
会 長	非常勤	栗原 聡	2024.06.28	総括	なし	慶應義塾大学	
副会長	非常勤	小野 智弘	2023.06.23	学会賞選定／ 新会員施策	なし	(株)KDDI 総合研究所	
副会長	非常勤	本村 陽一	2024.06.28	全国大会	なし	産業技術総合研究所	
理 事	非常勤	荒井 ひろみ	2024.06.28	ダイバーシティ	なし	理化学研究所	
理 事	非常勤	井崎 武士	2023.06.23	国際標準化	なし	エヌビディア(同)	
理 事	非常勤	石角 友愛	2024.06.28	AI マップ	なし	パロアルトインサイト	
理 事	非常勤	市瀬 龍太郎	2024.06.28	NGC	なし	東京科学大学	
理 事	非常勤	稲谷 龍彦	2024.06.28	倫理	なし	京都大学	
理 事	非常勤	江渡 浩一郎	2024.06.28	広報	なし	産業技術総合研究所	
理 事	非常勤	大澤 博隆	2024.06.28	編集(論文誌)	なし	慶應義塾大学	
理 事	非常勤	大西 正輝	2023.06.23	全国大会	なし	産業技術総合研究所	
理 事	非常勤	岡田 雅司	2023.06.23	総務	なし	パナソニックホールディングス(株)	
理 事	非常勤	岸本 章宏	2024.06.28	財務	なし	エヌビディア(同)	
理 事	非常勤	清田 陽司	2023.06.23	全国大会／ 情報基盤	なし	麗澤大学／ (株)FiveVai	
理 事	非常勤	倉島 健	2024.06.28	全国大会	なし	日本電信電話(株)	
理 事	非常勤	倉橋 節也	2024.06.28	国際標準化	なし	筑波大学理事	
理 事	非常勤	黒川 茂莉	2024.06.28	情報基盤	なし	(株)KDDI 総合研究所	
理 事	非常勤	小町 守	2024.06.28	全国大会	なし	一橋大学	
理 事	非常勤	坂地 泰紀	2024.06.28	研究会	なし	北海道大学	
理 事	非常勤	櫻井 祐子	2023.06.23	企画(セミナー)	なし	名古屋工業大学	
理 事	非常勤	佐藤 敏紀	2023.06.23	広報	なし	ソフトバンク(株)	
理 事	非常勤	鈴木 豊太郎	2023.06.23	企画(国際化)	なし	東京大学	
理 事	非常勤	砂川 英一	2023.06.23	AI マップ	なし	(株)東芝	
理 事	非常勤	諏訪 正樹	2023.06.23	中長期戦略	なし	オムロン(株) / オムロンサイニクエックス(株)	
理 事	非常勤	高野 雅典	2023.06.23	ダイバーシティ	なし	(株)サイバーエージェント	
理 事	非常勤	谷口 晋平	2024.06.28	企画(セミナー)	なし	(株)博報堂／(株)博報堂 DY メディアパートナーズ	
理 事	非常勤	寺本 やえみ	2023.06.23	財務	なし	(株)日立製作所	
理 事	非常勤	中臺 一博	2024.06.28	研究会	なし	東京科学大学	
理 事	非常勤	中野 有紀子	2024.06.28	企画(国際化)	なし	成蹊大学	
理 事	非常勤	馬場 雪乃	2023.06.23	研究会	なし	東京大学	
理 事	非常勤	松井 藤五郎	2023.06.23	研究会	なし	中部大学	
理 事	非常勤	三宅 陽一郎	2024.06.28	編集(会誌)	なし	(株)スクウェア・エニックス	
理 事	非常勤	矢田 勝俊	2023.06.23	産業界連携	なし	関西大学	

理 事	非常勤	谷中 瞳	2023.06.23	NGC	なし	東京大学	
理 事	非常勤	山田 健太郎	2024.06.28	産業界連携	なし	(株)本田技術研究所	
理 事	非常勤	渡邊 勇	2024.06.28	総務	なし	(一財)電力中央研究所	
監 事	非常勤	吉岡 健	2023.06.23	監査	なし	富士フイルム(株)	
監 事	非常勤	立堀 道昭	2024.06.28	監査	なし	日本アイ・ビー・エム(株)	

(理事は五十音順、敬称略)

(2) 職員に関する事項

2024 年度末現在

職 名	勤 務	氏 名	採用年月日	担当業務	備 考
事務局長	常 勤	住田 一男	2016/07/01	総 括	
職 員	常 勤	田島 幸子	2018/09/01	会 計	
職 員	常 勤	今井 三保	2024/05/09	研究会／イベント	派遣
職 員	常 勤	松本 弥生	2024/09/02	編集	派遣

(3) 会議などに関する事項

① 総会

第 39 回定時社員総会構成（社員総数 120 名：定足数 61 名）

開 催 年 月 日	議 事 事 項	会議の結果
第 39 回定時社員総会 2024 年 6 月 28 日 議 長：津本 周作 会長 出席者：102 名(現地出席 13 名，オンライン出席 27 名，書面投票 62 名) 総会成立定足数：61 名	1. 2023 年度事業報告書承認の件 2. 個人会員の除名処分承認の件 3. 2023 年度決算書・監査報告書承認の件 4. 2024 年度事業計画書承認の件 5. 2024 年度収支予算書承認の件 6. 2024 年度役員選任の件	満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認

② 理事会

第 403 回以前の理事会の理事会構成（理事 31 名，監事 2 名，顧問 4 名）

会長：津本 周作，副会長：栗原 聡，小野 智弘

理事：井崎 武士，和泉 潔，岩田 具治，上田 晴康，太田 唯子，大西 正輝，大原 剛三，岡田 雅司，清田 陽司，櫻井 祐子，佐藤 敏紀，鈴木 豊太郎，砂川 英一，諏訪 正樹，高野 雅典，立堀 道昭，寺本 やえみ，鳥海 不二夫，沼尾 正行，馬場 雪乃，東中 竜一郎，坊農 真弓，松井 藤五郎，村田 博士，本村 陽一，矢田 勝俊，谷中 瞳，山内 康晋

監事：森川 幸治，吉岡 健

顧問：松原 仁，山田 誠二，浦本 直彦，野田 五十樹

第 404 回～第 414 回理事会の理事会構成（理事 36 名，監事 2 名，顧問 4 名）

会長：栗原 聡，副会長：小野 智弘，本村 陽一

理事：荒井 ひろみ，井崎 武士，石角 友愛，市瀬 龍太郎，稲谷 龍彦，江渡 浩一郎，大澤 博隆，大西 正輝，岡田 雅司，岸本 章宏，清田 陽司，倉島 健，倉橋 節也，黒川 茂莉，小町 守，坂地 泰紀，櫻井 祐子，佐藤 敏紀，鈴木 豊太郎，砂川 英一，諏訪 正樹，高野 雅典，谷口 晋平，寺本 やえみ，中臺 一博，中野 有紀子，馬場 雪乃，松井 藤五郎，三宅 陽一郎，矢田 勝俊，谷中 瞳，山田 健太郎，渡邊 勇

監事：吉岡 健，立堀 道昭

顧問：山田 誠二，浦本 直彦，野田 五十樹，津本 周作

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第 402 回理事会 2024 年 4 月 19 日 議 長：津本周作会長 出席理事：28 名 (定足数：16 名)	1. 総務：第 401 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 199 名と法人 3 社の入会審議 3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 4. 編集：2023 年度論文賞選定審議 5. NGC：投稿・出版状況報告 6. NGC：編集委員着任審議 7. 全国大会：JSAI2024 大会準備状況報告 8. 研究会：研究会運営委員会・独自賞報告 9. 研究会：2023 年度研究会優秀賞選定結果審議 10. 研究会：2024 年度第 1 種研究会名簿の変更審議 11. 研究会：ALST 特別支援審議 12. 研究会：合同研究会 2024 準備状況報告 13. 倫理：安全保障に関する学会の対応指針審議 14. 新会員施策：ジュニア向け施策検討状況報告 15. 新会員施策：夏の中高生向け企画の方針審議 16. 企画(セナ)：委員追加審議 17. 企画(セナ)：セミナー開催・動画作成・コンペ進捗状況報告 18. 多様性：進捗報告 19. AI マップ：Expo2024 春報告 20. AI マップ：BAIMAS の共同所有・公開方針審議 21. 産業界連携：SIAI5@Osaka 開催報告 22. 総務：2023 年度学会賞選定結果審議 23. 総務：懲戒公開公表基準審議 24. 総務：2024 年度役員担務案報告 25. 総務：協賛 3 件、後援 3 件の受諾審議 26. 標準化：2024 年度実施計画案審議 27. 広報：2024 年度実施計画案審議	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認
第 403 回理事会 2024 年 5 月 22 日 議 長：津本周作会長 出席理事：28 名 (定足数：16 名)	1. 総務：第 402 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 116 名と法人 2 社の入会審議 3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 4. 編集：委員体制審議 5. 全国大会：JSAI2024 大会準備状況報告 6. 研究会：研究会紙資料廃止に伴う登録料変更報告 7. 産業界連携：SIAI5@Osaka 開催報告 8. 多様性：進捗報告 9. 新会員施策検討：検討状況報告 10. 企画(セナ)：2025 年度全国中高生 AI・DS 探究コンペ決勝大会の全国大会との併催審議 11. 企画(セナ)：2024 年度コンペティション助成関連予算審議	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 報告 報告 報告 報告 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認

	12. 標準化：JSAI 企画セッション報告 13. 総務：有志賞推薦審議 14. 総務：理事会構成案報告 15. 総務：定款の前文案・マニフェスト 2026 審議 16. 総務：ロボカップジュニア人工知能学会賞選定案審議 17. 総務：定時社員総会議案審議 18. 総務：2023 年度監事監査報告 19. 総務：協賛 7 件，後援 2 件の受諾審議 20. 企画(国際化)：担当理事報告	報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告
第 404 回理事会 2024 年 6 月 28 日 議 長：津本周作会長 出席理事：26 名 (定足数：16 名)	1. 総務：新規入会申込：個人 73 名と法人 2 社の入会審議 2. 研究会：研究会運営委員会報告 3. 研究会：研究会資料廃止による研究会登録料変更審議 4. 研究会：第 2 種、第 3 種研究会運営細則の改定、設置報告 5. 企画(他社)：企画委員会規程改訂審議 6. 企画(他社)：委員追加審議 7. NGC：委員会体制変更審議 8. 多様性：進捗報告 9. 総務：警察からの情報開示依頼対応報告 10. 総務：共同通信との連携事業(こども新聞)審議 11. 総務：万博タスクフォース審議 12. 総務：ロボカップジャパン人工知能学会賞選定結果審議 13. 総務：協賛 5 件，後援 2 件の受諾審議	賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認
第 405 回理事会 2024 年 6 月 28 日 議 長：小野智弘副会長 出席理事：30 名 (定足数：19 名)	理事出席者 30 名は、定款 34 条に規定する定足数 19 名(理事の過半数)を満たしているので、理事会が有効であることを確認した。また、オンライン会議システムにより、出席者の音声及び画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることが確認された。 1. 2024 年度役員構成案承認について 議長から、2024 年度役員構成が提案され、栗原聡会長(代表理事)ならびに本村陽一副会長(代表理事)の就任が満場一致で承認された。	
第 406 回理事会 2024 年 7 月 24 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：31 名 (定足数：19 名)	1. 総務：第 403 回～405 回理事会，第 39 回総会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 22 名と法人 2 社の入会審議 3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 4. 全国大会：JSAI2024 大会開催報告 5. 全国大会：JSAI2024 表彰候補選定結果審議 6. 全国大会：JSAI2024 収支予測報告 7. NGC：編集委員会報告 8. 企画(他社)：コンペ開催支援制度採択結果審議	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認

	9. 企画(セミナ) : AI セミナー開催報告 10. 企画(セミナ) : 次世代のための AI セミナー参加者への会長名の参加証発行審議 11. 企画(国際化) : JSAI-isAI2024 開催報告 12. 産業界連携 : SIAI6@東京の準備状況報告 13. 産業界連携 : 産総研人工知能技術コンソーシアム共催審議 14. 産業界連携 : 委員委嘱審議 15. 広報 : 40 周年記念イベント対応予定審議 16. 広報 : YouTube チャンネルの閲覧権限付与審議 17. 万博 TF : 万博 TF に関する情報追加報告 18. 情報基盤 : 実施状況報告 19. 総務 : 理事会顧問新任・再任審議 20. 総務 : 総務委員会／研究集会審議委員会委員委嘱審議 21. 総務 : 旅費規程別表第一号への出張種別追加審議 22. 総務 : 協賛 2 件, 後援 1 件の受諾審議	報告 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認
第 407 回理事会 2024 年 8 月 26 日 議長 : 栗原 聡会長 出席理事 : 32 名 (定足数 : 19 名)	1. 総務 : 第 406 回理事会議事録確認 2. 総務 : 新規入会申込 : 個人 59 名と法人 2 社の入会審議 3. 編集 : 会誌・論文誌編集状況報告 4. 企画(国際化) : JSAI-isAI2025 準備状況報告 5. 企画(国際化) : Travel Grant 上限の 30 万円への引上げ審議 6. 新会員施策検討 : 検討状況報告 7. 研究会 : 合同研究会 2024 準備状況報告 8. 多様性 : 進捗報告 9. 多様性 : 委員追加審議 10. 産業界連携 : SIAI6@東京の準備状況報告 11. 産業界連携 : 委員長および副委員長の委嘱審議 12. 企画(セミナ) : コンペ開催支援募集審議 13. 企画(セミナ) : セミナー開催状況報告 14. 総務 : 他団体依頼による本会名義表彰に関する規程審議 15. 総務 : 協賛 10 件, 後援 2 件の受諾審議 16. その他 : NASEF JAPAN からの依頼相談事項報告 17. その他 : ROBOMECH2027 からの開催時期について依頼	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 報告 報告 報告 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告
第 408 回理事会 2024 年 9 月 30 日 議長 : 栗原 聡会長 出席理事 : 29 名 (定足数 : 19 名)	1. 総務 : 第 407 回理事会議事録確認 2. 総務 : 新規入会申込 : 個人 26 名と法人 3 社の入会審議 3. 編集 : 会誌・論文誌編集状況報告 4. NGC : 投稿状況, 新委員就任報告 5. 研究会 : 合同研究会 2024 準備状況報告 6. 産業界連携 : SIAI6@東京実施報告 7. 総務 : 2025 年度代議員選挙管理委員会設置審議 8. 総務 : 電子情報通信学会会長声明の賛同審議 9. 企画(セミナ) : 委員再任審議	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認

	10. 企画(セミナ)：セミナー実施, コンペ進捗報告 11. 総務：協賛 6 件, 後援 2 件の受諾審議 12. 総務：SIAI アワード表彰規程の制定メール審議 13. その他：学術著作権協会契約約款改定報告	報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告
第 409 回理事会 2024 年 10 月 29 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：32 名 (定足数：19 名)	1. 総務：第 408 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 22 名と法人 2 社の入会審議 3. 企画(セミナ)：コンペ採択結果審議 4. 企画(セミナ)：セミナー関連, 動画関連報告 5. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 6. 編集：追加委員審議 7. 全国大会：JSAI2025 準備状況報告 8. 全国大会：JSAI2025 大会委員審議 9. 産業界連携：SIAI6@東京 収支報告 10. 多様性：活動報告 11. 新会員施策検討：新会員施策検討状況報告 12. 倫理：倫理委員会規程の改訂審議 13. 総務：事業化準備委員会改めタスクフォース設置審議 14. 総務：2025 年度役員候補者推薦委員会設置審議 15. 総務：協賛 6 件, 後援 2 件の受諾審議 16. その他：AI EXPO2024 秋 (幕張メッセ)について 17. その他：国立大学教育研究評価委員会専門委員他推薦依頼	賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告
第 410 回理事会 2024 年 11 月 27 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：32 名 (定足数：19 名)	1. 総務：第 409 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 13 名と法人 3 社の入会審議 3. 全国大会：JSAI2025 進捗報告 4. 全国大会：英文アブストラクトの義務化の廃止審議 5. 全国大会：ダイヤモンドスポンサー新設審議 6. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 7. 研究会：合同研究会 2024 進捗報告 8. 企画(セミナ)：日本神経回路学会との共催／協賛審議 9. 企画(セミナ)：コンペ進捗, 動画公開／準備状況報告 10. 企画(国際化)：JSAI-isAI2025 進捗報告 11. AI マップ：書籍化に向けた学会誌記事の再利用審議 12. AI マップ：学会の名義利用審議 13. AI マップ：AI マップ更新の研究会協力依頼審議 14. 新会員施策検討：アンケート実施について審議 15. 未来世代学会：進捗報告 16. 多様性：進捗報告 17. 倫理：委員長交代審議 18. 総務：2024 年度学会賞選定委員会等設置審議 19. 総務：2025 年 1 月号会誌会告案報告 20. 総務：協賛 3 件, 後援 3 件の受諾審議	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認

	21. その他：AI EXPO2024 展示報告	報告
第 411 回理事会 2024 年 12 月 26 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：31 名 (定足数：19 名)	1. 総務：第 410 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 18 名と法人 2 社の入会審議 3. 研究会：合同研究会 2024 開催報告 4. 研究会：合同研究会 2025 全国大会との早期セット割導入 5. NGC：新規委員審議 6. 企画(セミナ)：雲雀丘学園らとの共催，及び参加費無料化審議 7. 産業界連携：委員委嘱審議 8. 新会員施策検討：ジュニア委員会新設審議 9. 財務：2024 年度上期予算執行状況報告 10. AI に関する情報発信企画審議 11. 全国大会：JSAI2025 大会委員追加審議 12. 企画(国際化)：JSAI-isAI2025 進捗報告 13. 総務：2024 年度永年会員申請審議 14. 総務：2025 年度実施計画案策定依頼 15. 総務：協賛 3 件，後援 2 件の受諾審議	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 継続審議 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認
第 412 回理事会 2025 年 1 月 23 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：29 名 (定足数：19 名)	1. 総務：第 411 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 19 名と法人 4 社の入会審議 3. 全国大会：JSAI2025 発表申込状況報告 4. 企画(セミナ)：企画委員就任審議 5. 企画(セミナ)：セミナー開催・動画作成・コンペ進捗状況報告 6. 多様性：女性向けランチ交流会，第 2 回オンラインセミナー開催報告 7. 倫理：委員追加審議 8. 事業化準備：委員追加，WG 設置審議 9. 事業化準備：JSAI.inc プロジェクト(仮)報告 10. 事業化準備：人工知能学会リブランディングプロジェクト(仮)報告 11. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 12. 産業界連携：戦略-対外連携報告 13. 財務：予算小委員会設置審議 14. 総務：2025 年度役員候補者選定結果審議 15. 総務：2025 年度代議員候補者選定状況報告 16. 総務：GeoSci2025 共催審議 17. 総務：後援 2 件の受諾審議 18. 総務：2025 年度実施計画案審議 多様性，NGC，企画(国際化)，ジュニア，新会員施策検討，全国大会，産業界連携，情報基盤，国際標準化，研究会，倫理，出版，企画(セミナ)	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認
第 413 回理事会 2025 年 2 月 20 日 議 長：栗原 聡会長	1. 総務：第 412 回理事会議事録承認 2. 総務：新規入会申込：個人 42 名と法人 5 社の入会審議 3. 全国大会：JSAI2025 大会プログラム関連報告	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告

出席理事：32 名 (定足数：19 名)	4. 企画(他社)：コンペ、セミナー報告 5. 研究会：合同研究会 2024 開催報告 6. 多様性：第 3 回セミナー開催報告 7. 情報基盤：各委員会ヒアリング結果報告 8. 事業化準備：デジタルデータ活用 WG 設置審議 9. 企画(国際化)：JSAI-isAI2025 準備状況報告 10. 企画(国際化)：Grant proposal の採択について審議 11. 総務：ICRE2024 からの寄付金受領報告 12. 総務：協賛 4 件、後援 1 件の受諾審議 13. 総務：日本学術振興会の特別研究員募集について報告 14. 総務：2025 年度実施計画案審議（編集、AI マップ、広報、事業化準備、情報基盤）	報告 報告 報告 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認
第 414 回理事会 2025 年 3 月 27 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：26 名 (定足数：19 名)	1. 総務：第 413 回理事会議事録承認 2. 総務：新規入会申込：個人 182 名と法人 5 社の入会審議 3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 4. NGC：投稿、編集状況、新委員就任報告 5. NGC：広報戦略、投稿要項の改定審議 6. 全国大会：JSAI2025 大会プログラム関連報告 7. 全国大会：JSAI2025 大会委員追加審議 8. 研究会：第 2 回研究会運営委員会開催報告 9. ジュニア：活動報告、2025 年度実施計画案報告 10. 産業界連携：SIAI2025 開催計画報告 11. 産業界連携：委員追加審議 12. 財務：2025 年度予算案審議 13. 総務：2025 年度役員選挙結果報告 14. 総務：協賛 5 件、後援 3 件の受諾審議 15. 総務：ロボカップジャパンオープン協賛金支出審議 15. 事業化準備：JSAI エグゼクティブ・プログラム企画提案	賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 継続審議 報告 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 継続審議

③ 学会賞選考委員会

・2024 年度 功績賞・功労賞・フェロー選定委員会

委員長：小野 智弘 幹事：岡田 雅司 副幹事：渡邊 勇

委 員：本村 陽一、井崎 武士、大西 正輝、清田 陽司、櫻井 祐子、佐藤 敏紀、鈴村 豊太郎、砂川 英一、諏訪 正樹、高野 雅典、寺本 やえみ、馬場 雪乃、松井 藤五郎、矢田 勝俊、谷中 瞳、荒井 ひろみ、石角 友愛、市瀬 龍太郎、稲谷 龍彦、江渡 浩一郎、大澤 博隆、岸本 章宏、倉島 健、倉橋 節也、黒川 茂莉、小町 守、坂地 泰紀、谷口 晋平、中臺 一博、中野 有紀子、山田 健太郎、三宅 陽一郎、吉岡 健、立堀 道昭

開 催 年 月 日	議 事 事 項	会議の結果
2025 年 3 月 27 日 議 長：小野 智弘 委員長 出席者：18 名	功績賞候補の選定：1 名の候補者の推薦があった。 委員長から賞の位置づけならびに候補の推薦内容を説明後委員からの意見・コメントを聞いた。その後、議決を取った。	功績賞 1 名、功労賞 2 名を選定

	功労賞候補の選定：2名の候補者の推薦があった。委員長から賞の位置づけならびに候補の推薦内容を説明後、委員からの意見・コメントを聞いた。その後、議決を取った。なお、利益相反とならないよう、関係者は議決には参加しなかった。	
--	--	--

・2024年度現場イノベーション賞候補者選定委員会

委員長：小野 智弘 幹事：岡田 雅司 副幹事：渡邊 勇

委員：本村 陽一、井崎 武士、佐藤 敏紀、砂川 英一、諏訪 正樹、高野 雅典、寺本 やえみ、石角 友愛、岸本章宏、倉島 健、黒川 茂莉、谷口 晋平、山田 健太郎、三宅 陽一郎

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2025年3月27日 議長：小野 智弘 委員長 出席者：10名	5件の推薦があった。委員長から賞の位置づけの説明の後、議論を行い、投票を実施して順位付けを行い、金賞・銀賞のいずれを授与すべきかを判定した。なお、利益相反とならないよう、関係者は判定には参加しなかった。	銀賞1件を選定

・2025年度役員候補者推薦委員会

委員長：栗原 聡 幹事：岡田 雅司 副幹事：渡邊 勇

委員：小野 智弘、本村 陽一、荒井 ひろみ、井崎 武士、石角 友愛理、市瀬 龍太郎、稲谷 龍彦、江渡 浩一郎、大澤 博隆、大西 正輝、岸本 章宏、清田 陽司、倉島 健、倉橋 節也、黒川 茂莉、小町 守、坂地 泰紀、櫻井 祐子、佐藤 敏紀、鈴木 豊太郎、砂川 英一、諏訪 正樹、高野 雅典、谷口 晋平、寺本 やえみ、中臺 一博、中野 有紀子、馬場 雪乃、松井 藤五郎、三宅 陽一郎、矢田 勝俊、谷中 瞳、山田 健太郎

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2024年11月27日 議長：栗原 聡 委員長 出席者：32名	1. 副会長候補者：1名 2. 監事候補者：1名	信任 信任
2024年12月26日 議長：栗原 聡 委員長 出席者：33名	1. 候補者選任方法 2. アカデミア理事候補者：18名 3. 企業理事候補者：10名	承認 優先度付け 優先度付け

④ 各種委員会

各委員会で新旧体制の変更に伴い、引継ぎを行った。

・編集委員会：

鳥海 不二夫 委員長、大澤 博隆 副委員長（論文誌）、三宅 陽一郎 副委員長（会誌）⇒大澤 博隆 委員長（論文誌）、三宅 陽一郎 委員長（会誌）

会誌企画の計画、論文誌特集の計画など

・NGC編集委員会：

松尾 豊 委員長、市瀬 龍太郎 副委員長、沼尾 正行 アドバイザリーボード

論文誌特集の計画など

・研究会運営委員会：

村田 博士 委員長（研究会運営）、大原 剛三 委員長（合同研究会）、松井 藤五郎 副委員長（研究会運営）、馬場 雪乃 副委員長（合同研究会）⇒松井 藤五郎 委員長（研究会運営）、馬場 雪乃 委員長（合同研

究会)，坂地 泰紀 副委員長（研究会運営），中臺 一博 副委員長（合同研究会）
研究会活動計画の審議，新研究会設立の提案，研究会優秀賞の選定，合同研究会の計画など

・企画委員会：

東中 竜一郎 委員長（セミナー），坊農 真弓 委員長（国際化），櫻井 祐子 副委員長（セミナー），鈴木 豊太郎 副委員長（国際化）⇒ 櫻井 祐子 委員長（セミナー），鈴木 豊太郎 委員長（国際化），谷口 晋平 副委員長（セミナー），中野 有紀子 副委員長（国際化）
セミナー企画の計画，動画コンテンツ配信計画，コンペティション助成計画，isAI2024 開催計画等

・全国大会委員会：

小野 智弘 大会委員長，岩田 具治 実行委員長，和泉 潔 プログラム委員長 ⇒ 本村 陽一 大会委員長，清田 陽司 実行委員長，大西 正輝 プログラム委員長（倉島 健 2026 年度実行委員長，小町 守 2026 年度プログラム委員長）
全国大会の企画・運営など

・広報委員会：

山内 康晋 委員長，佐藤 敏紀 副委員長 ⇒ 佐藤 敏紀 委員長，江渡 浩一郎 副委員長
学会ホームページでの情報発信運営，ホームページ・メーリングリストの管理・運用，マスコミ対応など

・出版委員会：

栗原 聡 委員長
AI 事典 2.0 の構築

・財務委員会：

立堀 道昭 委員長，寺本 やえみ 副委員長 ⇒ 寺本 やえみ 委員長，岸本 章宏 副委員長
財務の健全な管理・運営を行う，電帳法・適格請求書対応について

・総務委員会（研究集会審議委員会兼務）：

上田 晴康 委員長，岡田 雅司 副委員長 ⇒ 岡田 雅司 委員長，渡邊 勇 副委員長
議事事項：総会，理事会，事務局の運営，各委員会との連絡調整，選挙，その他

・倫理委員会：

栗原 聡 委員長（11 月 27 日交替：清田 陽司 委員長），稲谷 龍彦 副委員長
人工知能の研究や技術と社会の関わりについて議論，社会への発信

・標準化委員会：

太田 唯子 委員長，井崎 武士 副委員長 ⇒ 井崎 武士 委員長，倉橋 節也 副委員長
人工知能関連の標準化に関する SC42 との連携

・産業界連携委員会：

本村 陽一 委員長，矢田 勝俊 副委員長 ⇒ 矢田 勝俊 委員長，山田 健太郎 副委員長
人材育成に関するシンポジウム企画

・多様性・包摂推進委員会：

高野 雅典 委員長，荒井 ひろみ 副委員長
委多様性・包摂推進のための企画立案

・AI マップ委員会：

砂川 英一 委員長, 本村 陽一 副委員長 ⇒ 砂川 英一 委員長, 石角 友愛 副委員長
AI マップの改良

- ・新会員施策検討TF:
小野 智弘 委員長
新会員施策の検討, 大規模アンケート実施
- ・未来世代学会TF (2024年7月23日設置)
佐久間 洋司 委員長
タスクフォース設置, 万博関連イベントの検討
- ・40周年記念TF (2024年7月23日設置)
栗原 聡 委員長
タスクフォース設置, 40周年記念事業の検討
- ・事業化準備TF (2024年10月29日設置):
栗原 聡 委員長
タスクフォース設置, 事業化推進について検討・議論, WG 設置
- ・ジュニア委員会 (2024年12月26日設置):
小野 智弘 委員長, 本村 陽一 副委員長
委員会設置, ジュニア会員制度の検討・議論

(4) 許可, 認可, 承認, 証明などに関する事項

申請年月日	申請事項	許可年月日	備考

(5) 契約に関する事項

契約年月日	契約事項 (契約名称と相手方)	契約の期間

(6) 寄付金に関する事項

(7) 主務官庁からの連絡事項など

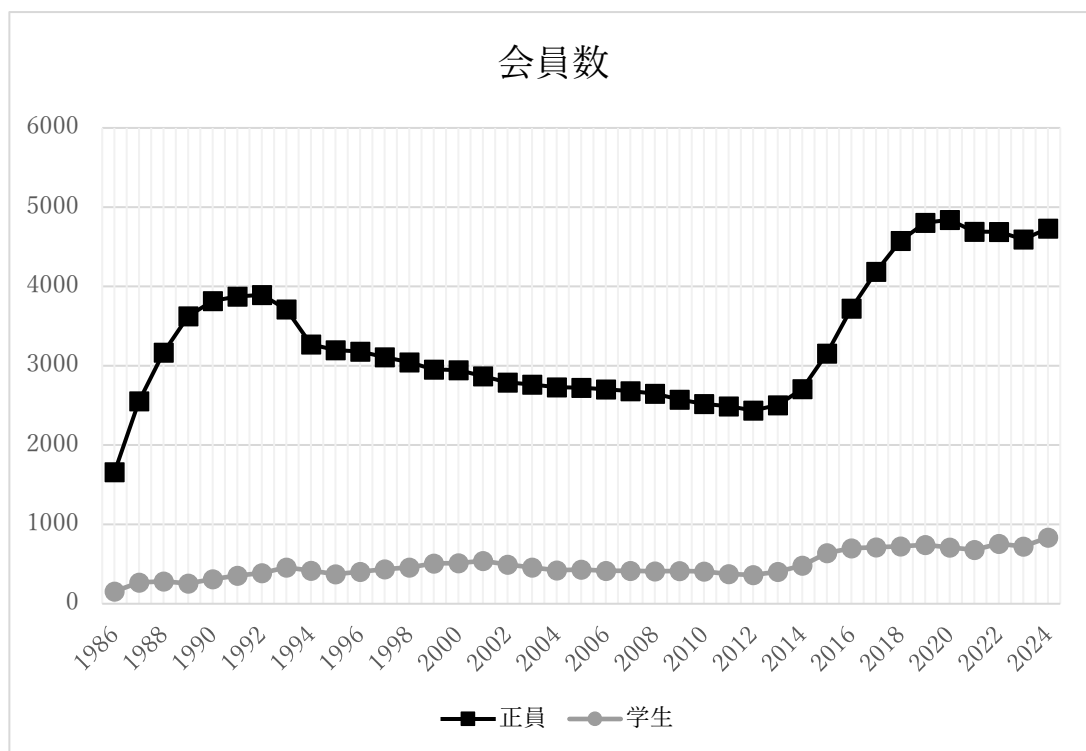
連絡年月日	連絡事項	履行状況

(8) その他重要事項

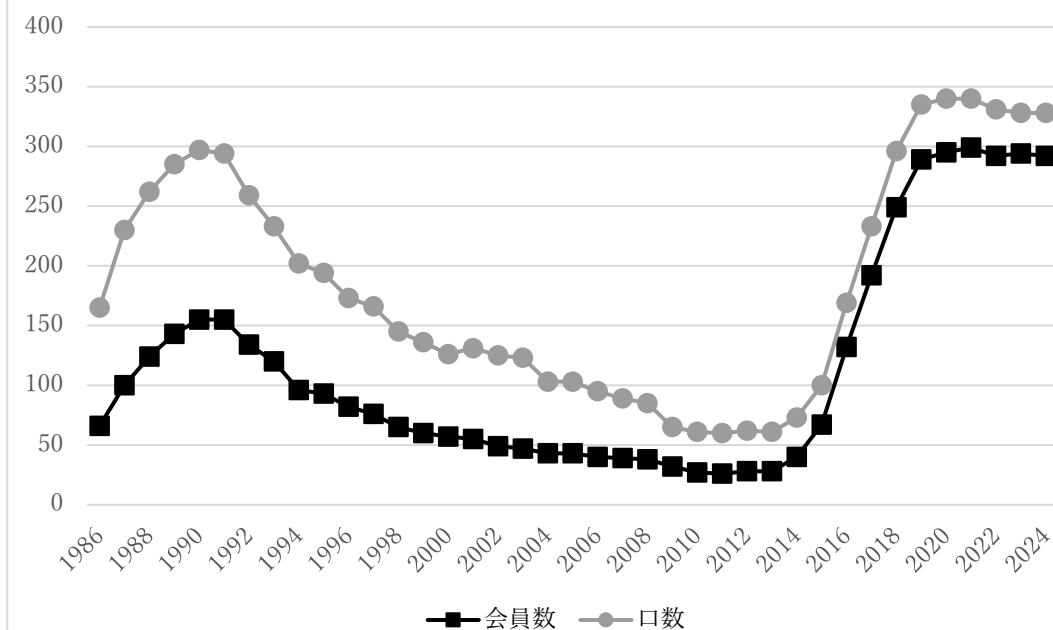
ありません。

(9) 会員の異動状況

会員種別	本年度末 2025年3月31日	昨年度末 2024年3月31日	増減数	摘 要
正 会 員	4,779	4,594	185 増	
学生会員	823	722	101 増	
名誉会員	7	8	1 減	
賛助会員(口数)	292(328)	294(328)	2 減(0 減)	
特殊購読会員	63	61	2 増	
個人会員合計	5,609	5,324	285 増	



賛助会員数・口数



除名処分について

定款第9条に基づき、2024年度末で172名を除名いたします。

[付録]

定款第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会において、当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

会員種別	会費2年間滞納	年会費未納で退会届
正会員	93	11
学生会員	53	12
名誉会員	0	0
賛助会員	2	0
特殊購読会員	1	0
合 計	172	

第3号議案

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	344,006,174	317,115,758	26,890,416
未収会費	6,384,000	4,476,000	1,908,000
未収金	3,006,383	4,891,400	△ 1,885,017
前払金	11,443,181	9,269,886	2,173,295
会費未納除却引当金	△ 3,512,000	△ 3,560,000	48,000
仮払金	15,474	198,000	△ 182,526
流動資産合計	361,343,212	332,391,044	28,952,168
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与引当金特定資産	2,397,000	1,835,800	561,200
記念事業積立金	4,179,621	4,178,030	1,591
国際活動積立金	7,894,658	7,891,077	3,581
活性化積立金	1,158,704	1,158,162	542
特定資産合計	15,629,983	15,063,069	566,914
(3) その他固定資産			
什器備品	164,800	164,800	0
電話加入権	220,584	220,584	0
郵便物受取人払後納担保金	0	777,000	△ 777,000
入居保証金	4,344,000	4,344,000	0
その他固定資産合計	4,729,384	5,506,384	△ 777,000
固定資産合計	55,359,367	55,569,453	△ 210,086
資産合計	416,702,579	387,960,497	28,742,082
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,725,584	12,152,705	△ 4,427,121
未払費用	0	300,386	△ 300,386
前受金	8,784,000	7,385,663	1,398,337
前受会費	20,928,000	22,054,000	△ 1,126,000
職員に対する社会保険料等	245,860	320,549	△ 74,689
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	1,074,000	2,398,500	△ 1,324,500
流動負債合計	38,827,444	44,681,803	△ 5,854,359
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,885,800	1,835,800	50,000
固定負債合計	1,885,800	1,835,800	50,000
負債合計	40,713,244	46,517,603	△ 5,804,359
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	375,989,335	341,442,894	34,546,441
(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(15,629,983)	(15,063,069)	(566,914)
正味財産合計	375,989,335	341,442,894	34,546,441
負債及び正味財産合計	416,702,579	387,960,497	28,742,082

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[594]	[593]	[1]
基本財産受取利息	594	593	1
特定資産運用益	[5,829]	[141]	[5,688]
特定資産受取利息	5,829	141	5,688
受取入会金	[1,320,000]	[1,164,000]	[156,000]
受取正会員入会	976,000	874,000	102,000
受取学生会員入会金	344,000	290,000	54,000
受取会費	[79,350,000]	[76,904,000]	[2,446,000]
正会員受取会費	47,850,000	46,848,000	1,002,000
学生会員受取会費	3,400,000	3,376,000	24,000
賛助会員受取会費	26,960,000	25,600,000	1,360,000
特殊購読会員受取年会費	945,000	900,000	45,000
永年会員受取年会費	195,000	180,000	15,000
事業収益	[116,950,725]	[104,450,259]	[12,500,466]
論文掲載・会誌別刷料	9,611,800	6,358,250	3,253,550
会誌印税	394,506	428,436	△ 33,930
事典印税	37,110	0	37,110
デジタル事典印税	0	123,755	△ 123,755
全国大会収入	97,632,813	85,370,200	12,262,613
国際WS収入	515,020	524,000	△ 8,980
研究会登録料他	2,916,250	2,440,256	475,994
セミナー参加料	1,207,950	2,991,630	△ 1,783,680
会誌等頒布代	1,332,672	1,906,080	△ 573,408
出版物印税	68,604	16,652	51,952
AIシボジウム	3,234,000	4,291,000	△ 1,057,000
雑収益	[10,543,307]	[7,877,128]	[2,666,179]
会誌広告料	5,547,300	5,355,300	192,000
受取利息	131,751	2,107	129,644
コピーライト	350,159	262,856	87,303
会誌カタログ同封	1,028,105	863,840	164,265
その他	3,485,992	1,393,025	2,092,967
会費未納除却引当金戻し入れ額	[3,560,000]	[3,151,000]	[409,000]
経常収益計	211,730,455	193,547,121	18,183,334
(2) 経常費用			
事業費	[146,655,805]	[124,461,508]	[22,194,297]
会誌印刷費	19,226,604	17,764,064	1,462,540
論文掲載・会誌別刷印刷費	122,100	171,600	△ 49,500
会誌執筆謝礼	499,486	31,160	468,326
会誌郵送費等発行諸経費	6,687,225	6,401,397	285,828
論文査読経費	576,972	274,720	302,252

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
全国大会開催費	83,867,419	66,895,763	16,971,656
国際WS開催費	533,048	518,664	14,384
AIシンポジウム	2,546,825	3,822,965	△ 1,276,140
セミナー開催費	2,705,033	1,411,713	1,293,320
企画動画配信	2,214,992	1,234,766	980,226
企画コンペティション	650,000	25,300	624,700
研究会開催費	4,840,092	2,889,038	1,951,054
広報活動費	3,717,345	5,460,039	△ 1,742,694
標準化活動	13,899	0	13,899
出版委員会活動	59,800	0	59,800
倫理委員会活動費	33,411	0	33,411
多様性・包摂	124,593	0	124,593
表彰費	247,937	106,289	141,648
活性化活動費用	0	300,000	△ 300,000
AIマップ関連費用	132,000	1,178,650	△ 1,046,650
給料・手当	13,733,558	10,538,288	3,195,270
法定福利費	1,008,666	1,425,192	△ 416,526
消費税	3,044,800	3,941,900	△ 897,100
法人税	70,000	70,000	0
管理費	[23,599,209]	[24,534,594]	[△ 935,385]
家賃	2,407,548	2,222,352	185,196
共益費	193,248	193,248	0
光熱費	233,185	202,214	30,971
リース料・保守・修理費	1,058,672	1,065,900	△ 7,228
会議費	587,727	432,715	155,012
総会費用	495,941	159,970	335,971
旅費交通費	55,914	26,832	29,082
通信費	1,340,284	2,397,723	△ 1,057,439
印刷費	2,464,976	1,652,012	812,964
消耗品費	58,375	186,326	△ 127,951
給料・手当	5,363,375	5,734,336	△ 370,961
支払報酬料	269,500	43,450	226,050
法定福利費	845,503	1,194,649	△ 349,146
資料購入費	66,000	63,600	2,400
研修費	0	231,000	△ 231,000
諸会費	108,478	107,071	1,407
OA維持費	517,176	287,316	229,860
福利厚生費	9,156	16,561	△ 7,405
会費引落経費	1,591,879	706,828	885,051
支払手数料	350,334	178,604	171,730
雑費	56,500	56,963	△ 463
外為手数料	28,500	31,500	△ 3,000
公認会計士費用	550,000	550,000	0

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
会員管理委託費用	4,932,588	6,781,974	△ 1,849,386
租税公課	14,350	11,450	2,900
会費等未納除却費用	[6,929,000]	[8,736,152]	[△ 1,807,152]
会費未納除却支出	3,417,000	5,176,152	△ 1,759,152
会費未納除却引当金繰入	3,512,000	3,560,000	△ 48,000
経常費用計	177,184,014	157,732,254	19,451,760
評価損益等調整前当期経常増減額	34,546,441	35,814,867	△ 1,268,426
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	34,546,441	35,814,867	△ 1,268,426
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	34,546,441	35,814,867	△ 1,268,426
一般正味財産期首残高	341,442,894	305,628,027	35,814,867
一般正味財産期末残高	375,989,335	341,442,894	34,546,441
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	375,989,335	341,442,894	34,546,441

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[1,000]	[594]	[406]
基本財産受取利息	1,000	594	406
特定資産運用益	[300]	[5,829]	[△ 5,529]
特定資産受取利息	300	5,829	△ 5,529
受取入会金	[900,000]	[1,320,000]	[△ 420,000]
受取正会員入会	700,000	976,000	△ 276,000
受取学生会員入会金	200,000	344,000	△ 144,000
受取会費	[75,220,000]	[79,350,000]	[△ 4,130,000]
正会員受取会費	45,000,000	47,850,000	△ 2,850,000
学生会員受取会費	2,720,000	3,400,000	△ 680,000
賛助会員受取会費	26,400,000	26,960,000	△ 560,000
特殊購読会員受取年会費	900,000	945,000	△ 45,000
永年会員受取年会費	200,000	195,000	5,000
事業収益	[105,676,280]	[116,950,725]	[△ 11,274,445]
論文掲載・会誌別刷料	5,400,000	9,611,800	△ 4,211,800
会誌印税	400,000	394,506	5,494
事典印税	0	37,110	△ 37,110
デジタル事典印税	140,000	0	140,000
全国大会収入	86,808,700	97,632,813	△ 10,824,113
国際WS収入	538,560	515,020	23,540
研究会登録料他	3,709,000	2,916,250	792,750
セミナー参加料	1,800,000	1,207,950	592,050
会誌等頒布代	1,830,000	1,332,672	497,328
出版物印税	10,000	68,604	△ 58,604
AIシンポジウム	5,040,020	3,234,000	1,806,020
雑収益	[6,561,500]	[10,543,307]	[△ 3,981,807]
会誌広告料	5,400,000	5,547,300	△ 147,300
受取利息	1,500	131,751	△ 130,251
コピーライト	260,000	350,159	△ 90,159
会誌カタログ同封	850,000	1,028,105	△ 178,105
その他	50,000	3,485,992	△ 3,435,992
会費未納除却引当金戻し入れ額	[0]	[3,560,000]	[△ 3,560,000]
経常収益計	188,359,080	211,730,455	△ 23,371,375
(2) 経常費用			
事業費	[161,613,232]	[146,655,805]	[14,957,427]
会誌印刷費	18,400,000	19,226,604	△ 826,604
論文掲載・会誌別刷印刷費	150,000	122,100	27,900
会誌執筆謝礼	240,000	499,486	△ 259,486
会誌郵送費等発行諸経費	6,388,000	6,687,225	△ 299,225
論文査読経費	650,000	576,972	73,028

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
全国大会開催費	82,048,280	83,867,419	△ 1,819,139
国際WS開催費	1,401,210	533,048	868,162
AIシンポジウム	5,129,460	2,546,825	2,582,635
セミナー開催費	4,950,000	2,705,033	2,244,967
企画動画配信	6,000,000	2,214,992	3,785,008
企画コンペティション	0	650,000	△ 650,000
研究会開催費	4,388,271	4,840,092	△ 451,821
広報活動費	3,342,409	3,717,345	△ 374,936
標準化活動	200,000	13,899	186,101
NGC編集諸経費	3,000,000	0	3,000,000
出版委員会活動	2,000,000	59,800	1,940,200
倫理委員会活動費	330,000	33,411	296,589
多様性・包摂	550,000	124,593	425,407
表彰費	200,000	247,937	△ 47,937
活性化活動費用	800,000	0	800,000
AIマップ関連費用	5,700,000	132,000	5,568,000
給料・手当	11,924,052	13,733,558	△ 1,809,506
法定福利費	1,151,550	1,008,666	142,884
国際活動費用	800,000	0	800,000
消費税	1,800,000	3,044,800	△ 1,244,800
法人税	70,000	70,000	0
管理費	[22,725,015]	[23,599,209]	[△ 874,194]
家賃	2,407,548	2,407,548	0
共益費	193,248	193,248	0
光熱費	230,000	233,185	△ 3,185
リース料・保守・修理費	1,012,860	1,058,672	△ 45,812
消耗什器備品費	100,000	0	100,000
会議費	265,100	587,727	△ 322,627
総会費用	300,000	495,941	△ 195,941
旅費交通費	30,000	55,914	△ 25,914
通信費	2,312,620	1,340,284	972,336
印刷費	1,420,000	2,464,976	△ 1,044,976
消耗品費	287,536	58,375	229,161
給料・手当	5,852,268	5,363,375	488,893
支払報酬料	167,000	269,500	△ 102,500
法定福利費	888,434	845,503	42,931
資料購入費	68,800	66,000	2,800
諸会費	107,071	108,478	△ 1,407
OA維持費	400,000	517,176	△ 117,176
福利厚生費	20,000	9,156	10,844
会費引落経費	170,000	1,591,879	△ 1,421,879
支払手数料	150,000	350,334	△ 200,334
雑費	87,500	56,500	31,000

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
外為手数料	50,000	28,500	21,500
公認会計士費用	550,000	550,000	0
事務所整備費用	300,000	0	300,000
会員管理委託費用	5,335,030	4,932,588	402,442
租税公課	20,000	14,350	5,650
会費等未納除却費用	[2,500,000]	[6,929,000]	[△ 4,429,000]
会費未納除却支出	2,500,000	3,417,000	△ 917,000
会費未納除却引当金繰入	0	3,512,000	△ 3,512,000
経常費用計	186,838,247	177,184,014	9,654,233
評価損益等調整前当期経常増減額	1,520,833	34,546,441	△ 33,025,608
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,520,833	34,546,441	△ 33,025,608
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,520,833	34,546,441	△ 33,025,608
一般正味財産期首残高	0	341,442,894	△ 341,442,894
一般正味財産期末残高	1,520,833	375,989,335	△ 374,468,502
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	305,628,027	0	305,628,027
指定正味財産期末残高	305,628,027	0	305,628,027
III 正味財産期末残高	307,148,860	375,989,335	△ 68,840,475

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	239,481
	預金	普通預金		294,594,681
		みずほ飯田橋会長口座		68,652,965
		みずほ飯田橋事務局長口座		5,279,622
		みずほ飯田橋会長口座		76,503,317
		三菱UFJ神楽坂		139,514,334
		三井住友銀行飯田橋支店		4,644,443
		定期預金		2,259,723
		三菱東京UFJ神楽坂		2,259,723
		総合貯金		16,512,710
		振替貯金		30,399,579
		会長口座		30,399,579
	未収会費			6,384,000
	正会員入会金			90,000
	学生会員入会金			27,000
	正会員年会費			4,389,000
	学生会員年会費			488,000
	賛助会員年会費			1,360,000
	特殊購読会員年会費			30,000
	未収金			3,006,383
	会誌広告料			803,000
	研究会登録料			260,000
	AIシンポジウム			359,700
	研究会別刷料			20,800
	研究会資料収入			102,083
	会誌掲載料			1,460,800
	前払金			11,443,181
	全国大会開催費			11,082,946
	国際WS			113,520
	AIシンポジウム			132,000
	会誌発行諸経費			31,797
	研究会開催費			66,000
	OA維持費			16,918
	会費未納除却引当金			△ 3,512,000
	仮払金			15,474
流動資産合計				361,343,212
(固定資産)				

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
基本財産	定期預金			35,000,000
	みずほ飯田橋			35,000,000
特定資産	退職給与引当金特定資産			2,397,000
	退職給付引当資産(一般)			2,397,000
	記念事業積立金			4,179,621
	三菱東京UFJ神楽坂普通預金			3,152,538
	三菱東京UFJ神楽坂定期			1,027,083
	国際活動積立金			7,894,658
	みずほ飯田橋普通			1,411,874
	三菱東京UFJ神楽坂定期			1,000,000
	三井住友飯田橋普通			2,690,357
	三菱東京UFJ神楽坂普通			2,792,427
	活性化積立金			1,158,704
	三菱東京UFJ神楽坂普通			1,158,704
	その他固定資産			
	什器備品			164,800
	電話加入権			220,584
	入居保証金			4,344,000
固定資産合計				55,359,367
資産合計				416,702,579
(流動負債)	未払金			7,725,584
	会誌印刷費			2,925,119
	会誌郵送費等発行諸経費			740,295
	会誌発行諸経費			215,233
	研究会開催費			1,136,569
	広報活動費			454,119
	企画セミナー等			657,200
	通信・郵送費			152,792
	印刷費			16,500
	消耗品費			5,315
	給料・手当			893,067

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	会員管理委託費			529,375
	前受金			8,784,000
	研究会登録料			196,000
	全国大会参加費（ 会員）			4,125,300
	全国大会参加費（ 非会員）			258,500
	全国大会その他			4,204,200
	前受会費			20,928,000
	正会員入会金			140,000
	学生会員入会金			80,000
	正会員年会費			11,250,000
	学生会員年会費			648,000
	賛助会員年会費			8,400,000
	特殊購読年会費			375,000
	永年会員年会費			35,000
	職員に対する社会保 険料等			245,860
	社会保険料			66,700
	所得税			41,960
	住民税			137,200
	未払法人税等			70,000
	未払消費税等			1,074,000
流動負債合計				38,827,444
(固定負債)				
	退職給付引当金			1,885,800
固定負債合計				1,885,800
負債合計				40,713,244
正味財産				375,989,335

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

公益法人会計基準(公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ 平成16年10月14日)を採用している。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定 期 預 金	35,000,000	0	0	35,000,000
	基本財産合計	35,000,000	0	0	35,000,000
特定資産	記 念 事 業 積 立 金	4,178,030	1,591	0	4,179,621
	国 際 活 動 積 立 金	7,891,077	5,121	1,540	7,894,658
	活 性 化 積 立 金	1,158,162	542		1,158,704
	退 職 給 与 引 当 金 特 定 資 産	1,835,800	561,200	511,200	1,885,800
	特定資産合計	15,063,069	568,454	512,740	15,118,783
合 計		50,063,069	568,454	512,740	50,118,783

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定 期 預 金	35,000,000	(0)	(35,000,000)	(0)
小 計	35,000,000	(0)	(35,000,000)	(0)
特定資産				
記 念 事 業 積 立 金	4,179,621	(0)	(4,179,621)	(0)
国 際 活 動 積 立 金	7,894,658	(0)	(7,894,658)	(0)
活 性 化 積 立 金	1,158,704	(0)	(1,158,704)	(0)
退 職 給 与 引 当 金 特 定 資 産	1,885,800	(0)		(1,885,800)
小 計	15,118,783	(0)	(13,232,983)	(1,885,800)
合 計	50,118,783	(0)	(48,232,983)	(1,885,800)

ご参考: 全国大会収支詳細(2024年11月26日時点の集計情報のため決算書の金額と若干差がございます)

(1) 収入の部

		2022(第36回京都)				2023(第37回熊本)				2024(第38回浜松)			
科 目		予算 (京都)		実績 (京都)		予算 (熊本)		実績 (熊本)		予算 (浜松)		実績 (浜松)	
大会参加費 (参加者種別)	(単価) (2024～)	2,800 (人数)	46,500,000 (金額)	3,033 (人数)	49,976,700 (金額)	2,800 (人数)	46,500,000 (金額)	3,567 (人数)	60,888,000 (金額)	3,500 (人数)	58,539,800 (金額)	3,803 (人数)	64,370,300 (金額)
発表者計		800	13,050,000	744	12,018,700	800	13,050,000	973	16,310,000	950	15,404,600	978	15,919,100
会員一般(早期)	15,000	250	3,750,000	165	2,475,000	250	3,750,000	222	3,330,000	205	3,075,000	223	3,345,000
会員一般(後期)	17,000			27	459,000			17	289,000	16	272,000	36	612,000
会員一般(当日)	21,000			2	42,000			4	84,000	4	84,000	10	210,000
会員学生(早期)	8,000	150	1,200,000	168	1,346,000	150	1,200,000	216	1,728,000	183	1,464,000	195	1,560,000
会員学生(後期)	10,000			9	90,000			2	20,000	2	20,000	7	70,000
会員学生(当日)	12,000											1	12,000
非会員一般(早期)	28,600	150	4,350,000	118	3,422,000	150	4,350,000	191	5,539,000	183	5,233,800	191	5,462,600
非会員一般(後期)	30,800			9	279,000			21	651,000	20	616,000	21	646,800
非会員一般(当日)	35,200			9	315,000			7	245,000	7	246,400	3	105,600
非会員学生(早期)	13,200	250	3,750,000	220	3,300,000	250	3,750,000	281	4,215,000	317	4,184,400	268	3,537,600
非会員学生(後期)	15,400			16	272,000			7	119,000	8	123,200	21	323,400
非会員学生(当日)	17,600							3	57,000	3	52,800	1	17,600
連携学会正会員(早期)	16,500							2	33,000	2	33,000	1	16,500
連携学会正会員(後期)	18,700			1	18,700							0	0
連携学会学生会員(早期)	8,800											0	0
連携学会学生会員(後期)	11,000											0	0
招待者(参加費・発表費免除)	0			222	0			242	0	300	0	290	0
聴講者計		2,000	33,450,000	2,067	37,948,000	2,000	33,450,000	2,352	44,578,000	2,250	43,135,200	2,535	48,451,200
会員一般(早期)	12,000	900	10,800,000	497	5,964,000	900	10,800,000	607	7,284,000	567	6,804,000	623	7,476,000
会員一般(後期)	14,000			263	3,682,000			209	2,926,000	195	2,730,000	286	4,004,000
会員一般(当日)	18,000			203	3,654,000			256	4,608,000	238	4,284,000	156	2,808,000
会員学生(早期)	5,000	50	250,000	43	215,000	50	250,000	48	240,000	46	230,000	57	285,000
会員学生(後期)	7,000			22	154,000			14	98,000	14	98,000	25	175,000
会員学生(当日)	9,000			15	135,000			10	90,000	10	90,000	7	63,000
非会員一般(早期)	24,200	850	20,400,000	256	6,144,000	850	20,400,000	441	10,584,000	430	10,406,000	439	10,623,800
非会員一般(後期)	26,400			224	5,824,000			225	5,850,000	220	5,808,000	470	12,408,000
非会員一般(当日)	30,800			310	9,300,000			359	10,770,000	350	10,780,000	278	8,562,400
非会員学生(早期)	8,800	200	2,000,000	68	680,000	200	2,000,000	86	860,000	85	748,000	92	809,600
非会員学生(後期)	11,000			64	768,000			45	540,000	44	484,000	50	550,000
非会員学生(当日)	13,200			102	1,428,000			52	728,000	51	673,200	52	686,400
連携学会正会員(早期)	13,200										0	0	0
連携学会正会員(後期)	15,400										0	0	0
連携学会正会員(当日)	19,800										0	0	0
連携学会学生会員(早期)	5,500										0	0	0
連携学会学生会員(後期)	7,700										0	0	0
連携学会学生会員(当日)	9,900										0	0	0
同伴者													
その他			0		10,000		0		76,695				44,800
発表料(発表費のみ、代理等)	3,000				10,000				8,000			1	3,000
	4,400											6	26,400
	3,300												
その他(為替差額、参加費返金等)									52,695				
									11,000				
発表キャンセル									5,000				
併催会議からの費用負担													15,400
お弁当販売													
シャトルバス													
スポンサー		53	13,350,000	81	21,335,600	64	16,200,000	89	24,050,800	95	25,628,900	113	31,521,000
ダイヤモンド	#####												
サファイア	#####												
プラチナ	300,300	30	9,000,000	40	12,000,000	30	9,000,000	44	13,200,000	45	13,513,500	50	15,015,000
ゴールド	200,200	10	2,000,000	25	5,000,000	20	4,000,000	30	6,000,000	36	7,207,200	46	9,209,200
シルバー	100,100	10	1,000,000	12	1,220,000	10	1,000,000	11	1,100,000	12	1,201,200	13	1,301,300
ローカル													
メディア協賛	50,050	3	150,000	4	200,000	4	200,000	4	200,000	2	100,100	4	200,200
キャンセル													
冠スポンサー													
ランチョン	200,200	6	1,200,000	8	2,515,600	8	1,600,000	9	2,650,800	12	2,402,400	12	2,402,400
ランチョン用お弁当	1,500											1,490	1,788,000
無線LAN	300,300								0	1	300,300	1	300,300
参加者交流会									0				
茶菓	150,700			1	150,000	1	150,000	2	300,000	3	452,100	3	452,100
受付	150,700			1	150,000	1	150,000	2	300,000	3	452,100	3	452,100
ブース拡張	100,100			1	100,000	1	100,000	2	200,000		0	4	400,400
アプリロゴ	100,100							1	100,000				
交流会参加費	3,300		0		0	200	440,000	210	433,400	700	1,540,000	781	1,718,200
自治体補助金、開催助成金 など			0		0		0		0		1,100,000		
大会収入合計			59,850,000		71,322,300		63,140,000		85,448,895		86,808,700		97,654,300

(2)支出の部

CODE	科 目	2022(京都)		2023(熊本)		2024(浜松)	
		予算	実績	予算	実績	予算	実績
A01	会議準備費	6,406,711	4,665,865	5,910,000	5,158,476	6,190,405	5,732,476
A02	人件費(作業委託)	381,711	348,827	500,000	442,431	460,405	443,850
A021	人件費(運営業務委託)	4,500,000	3,408,420	4,000,000	2,745,600	3,000,000	2,623,962
A022	人件費(事務局)						
A03	旅費	150,000	62,238	100,000	101,600	50,000	72,037
A04	印刷費	0	287,650	300,000	0	300,000	337,920
A05	その他の印刷代	0	287,650	300,000	0	300,000	337,920
A06	プログラム印刷費	0		0	0	0	0
A07	通信運搬費	0		0	0	0	0
A08	会議費	200,000	0	300,000	155,000	200,000	195,690
A09	広報宣伝費	1,175,000	555,180	700,000	1,562,365	2,030,000	1,978,937
A10	ポスタ関連	150,000	115,620	150,000	73,890	500,000	470,837
A11	立看板等	1,000,000	439,560	500,000	1,461,680	1,500,000	1,508,100
A12	郵送代等	25,000		50,000	26,795	30,000	0
A13	その他		3,550	10,000	151,480	150,000	80,080
B01	本会議関係費	56,701,716	53,092,277	56,000,000	61,701,403	75,797,875	77,889,051
B02	人件費(アルバイト)		1,044,500	1,800,000	2,003,500	2,000,000	3,030,200
B021	人件費(運営業務委託)	13,660,688	5,078,700	7,000,000	6,164,230	7,493,000	6,121,700
B03	旅費・宿泊費・日当	500,000	1,001,444	1,000,000	407,795	300,000	147,566
B04	講師謝礼・旅費等	850,000	415,886	1,250,000	365,459	690,000	588,193
B05	謝礼	300,000	243,740	150,000	100,233	260,000	366,562
B06	旅費	500,000	172,146	1,000,000	224,076	300,000	221,631
B07	宿泊費	50,000		100,000	41,150	130,000	0
B08	会場費	30,850,228	15,752,948	15,000,000	21,128,170	15,748,540	13,718,156
B081	会場レンタル料	30,850,228	15,752,948	15,000,000	21,128,170	15,748,540	13,718,156
B082	巡回バス		0	0	0	0	0
B09	設備費	7,090,800	25,576,750	23,000,000	25,301,211	35,919,878	39,526,460
B10	電話・ネットワーク		17,183,578	15,000,000	14,729,935	11,372,416	12,100,000
B11	プレゼン機器				0	8,908,862	9,062,861
B12	運営支援システム	4,200,000	5,035,950	4,500,000	4,207,446	4,500,000	4,369,289
B13	会場設営	2,890,800	3,357,222	3,500,000	6,363,830	11,138,600	13,994,310
B14	撮影・コンテンツ制作	300,000	0	300,000	0	300,000	296,604
B15	通信運搬費	100,000	38,500	100,000	0	100,000	22,000
B16	会議費	2,250,000	1,323,691	2,750,000	1,176,098	2,200,000	1,674,822
B161	特別セッション		0	0	0	0	0
B162	コーヒープレイク等	2,000,000	1,299,876	2,500,000	1,158,300	2,000,000	1,577,178
B163	招待者・委員会等	250,000	23,815	250,000	17,798	200,000	97,644
B17	交流会費		0	1,600,000	1,831,500	8,000,000	7,713,600
B18	消耗品費	100,000	105,688	100,000	156,468	150,000	198,666
B19	その他	750,000	1,502,738	1,500,000	2,004,640	2,400,000	2,279,286
B20	託児所	0	7,000	350,000	70,660	246,457	230,077
B21	お弁当	250,000	1,244,432	250,000	1,091,672	250,000	2,341,721
B22	値引き				0	0	0
C01	事後処理費	50,000	0	50,000	17,440	60,000	225,370
C02	アンケート等				0	0	0
C03	会議費	50,000		50,000	0	50,000	0
C04	参加費返金				13,000	0	0
C05	雑費				4,440	10,000	225,370
	大会支出合計	63,158,427	57,758,142	61,960,000	66,877,319	82,048,280	83,846,897
	一般会計へ	(3,308,427)	13,564,158	1,180,000	18,571,576	4,760,420	13,807,403

2024 年度監査報告

一般社団法人 人工知能学会

会 長 栗 原 聡 殿

私たち監事は、当学会の 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの 2024 年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 99 条第 1 項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 197 条において準用する同法第 99 条第 1 項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 36 条及び第 45 条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 64 条において準用する同規則第 36 条及び第 45 条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当学会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当学会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025 年 5 月 13 日（火）

監事 吉 岡 健

吉岡 健

監事 立 堀 道 昭

立堀道昭



2025 年度事業計画書

一般社団法人人工知能学会の定款第 2 章に定められた目的及び事業に沿って、以下の事業を実施する。

1. 学術集会、学術講演会、講習会等の開催（定款 4 条 1 号）

第 39 回全国大会 JSAI2025 を、2025 年 5 月 27 日(火)～5 月 30 日(金)の 4 日間、大阪国際会議場ならびにオンライン形式で開催する。また、第 17 回国際シンポジウム JSAI-isAI2025 を全国大会と併催する。

第 15 回合同研究会 2025 を 2025 年 12 月に慶應義塾大学日吉キャンパスならびにオンライン形式で開催する。

第 7 回産学クロススクエア SIAI7 を、2025 年 9 月に大阪で開催する。

セミナーは一般セミナー4 回、中高生向けセミナー2 回、中高教員向けセミナー2 回、多様性・包摂推進に関するセミナーの開催を予定しており、いずれもオンラインでの実施を予定している。

2. 学会誌、論文誌その他の刊行物の発行（定款 4 条 2 号）

学会誌「人工知能」は、引き続き本年度も魅力ある雑誌作りを目指して、タイムリーな特集記事やホットなテーマの解説などで内容の充実をはかるとともに、Kindle 版の販売に注力する。一方、論文誌は、論文特集を積極的に企画して投稿論文の増加をはかる。

本会英文誌としての New Generation Computing では、世界中からの投稿論文を積極的に掲載し、独自の特集を企画することに加え、人工知能学会誌の特集記事の英語化や、全国大会および国際ワークショップ論文の掲載を進めることで、学会活動との連携を強めていく。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 4 条 3 号）

本年度は業績賞、功労賞、現場イノベーション賞、論文賞、研究会優秀賞、全国大会優秀賞を贈呈し、人工知能に関する学術およびその応用研究に対する一層の発展を奨励する。

4. 研究及び調査（定款 4 条 4 号）

研究会は、通常の単独開催のほかに、全国大会でのオーガナイズドセッションの開催、他学会の研究会との同時開催や連続開催を企画して学会活動の活性化・多様化をはかる。また、本年度も合同研究会 2024 を開催し、研究会間の交流をはかる。

5. 国内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款 4 条 5 号）

関連団体の開催する各種イベントなどを共催・協賛・後援することにより学会活動の活性化と多様化を推進する。

6. その他、本法人の目的を達成するために必要な事業（定款 4 条 6 号）

ホームページとメーリングリストを介した広報活動や動画コンテンツの提供を通して新規入会者の勧誘を促進する。また、人工知能分野でのコンペティション活動を活性化するため、コンペティション企画への助成活動を行う。

(1) 学術集会、学術講演会、講習会等の開催（定款 4 条 1 号）

① 第 39 回全国大会 JSAI2025

以下の通り現地参加とオンライン参加が可能なハイブリッド形式での開催を予定している。

・ 日 時：2025 年 5 月 27 日(火)～30 日(金)

・ 場 所：大阪国際会議場＋オンラインのハイブリッド形式

・ 組 織：大会委員長

大会副委員長（実行委員長）

大会副委員長（プログラム委員長）

実行副委員長

プログラム副委員長

実行委員長補佐

プログラム委員長補佐

本村 陽一（産業技術総合研究所）

清田 陽司（麗澤大学）

大西 正輝（産業技術総合研究所）

倉島 健（NTT）

小町 守（一橋大学）

小塩 篤史（麗澤大学）

鈴木 彼方（富士通）

委員：松村 真宏，西原 陽子，村上 晴美，丁 世堯，稲浦 綾，沼田 哲史，土屋 祐太，西澤 直樹，安松 健，梶 洋隆，本浦 庄太，長谷川 拓，宮澤 和貴，林 勝悟，谷本 啓，井田 安俊，太刀岡 勇気，楊 鯤昊，齊藤 史哲，小暮 悟，森 準基，福地 庸介，峯岸 朋弥，森岡 博史，末廣 大貴，大社 綾乃，本武 陽一，比嘉 恭太，南部 優太，石垣 達也，南雲 亮佑，LI JINGHONG，瓦 祐希，大本 義正，林 雄介，波多野 大督，松嶋 達也，神原 元就，堀口 維里優

- ・基調講演：「バディ AI がいる世界へ」

栗原 聡（慶應義塾大学／本会会長）

- ・招待講演：「アバターと未来社会」

石黒 浩（大阪大学）

- ・招待講演：「AI のリスクと安全性～AI 広島プロセスから AISI 設立まで」

村上 明子（AI セーフティ・インスティテュート）

- ・チュートリアル（4 件）

「日本古典文化と生成 AI」 北本 朝展（国立情報学研究所／ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター），カラーヌワット タリン（Sakana AI）

「大規模視覚言語モデルの開発」

鈴木哲平，田中稔之，高田拓実，品川政太朗（SB Intuitions）

「深層基盤モデルの数理」

鈴木 大慈（東京大学／理化学研究所）

「AI の品質マネジメントについて」

妹尾 義樹，小西 弘一（産業技術総合研究所）

- ・企画セッション（32 件）

「生成 AI が切り拓く仕掛学の可能性」

「人工知能学会・日本神経回路学会合同企画「AI for Science」」

「AI におけるソフトコンピューティングの役割と未来」

「画像診断 AI の医療応用の現状と問題点」

「『スポーツ×情報学×インタラクション』の創発：現場を“支える”データの利活用」

「信頼されすぎる？AI 「ときどき間違える AI との付き合い方」」

「AI と法規制の国内外の最新動向と企業に求められる対応」

「フィジカル AI システムの研究開発 ～身体性に基づく知能の研究～」

「AI とデモクラシー」

「『ナラティブと人工知能』を考える」

「学習理論におけるゲーム理論のフロンティア」

「希望ある未来に向けた AGI の安全性とアライメント」

「GeoSciAI2025: 地球惑星科学×AI コンペの実施報告」

「倫理委員会特別企画「2050 年の人と AI のあるべき共生社会について考える」」

「労働における人間と AI との共創 ～ 人間と AI にまつわる新しい研究の探索」

「ジュニア世代のための人工知能学会の役割」

「人工知能に関する特許の現状」

「JSAI・共同通信社連携企画「ニュースデータ x AI・知の共創プロジェクト」」

「AI サイエнтиストの台頭」

「人と AI エージェントの共生・協働 ～生成 AI がもたらす社会・産業の変革に向けて～」

「AI エージェントと資産運用の未来」

「人工知能領域におけるジェンダーギャップを考える」

「人工知能とコンペティション」

「AI の民主化が進む今だからこそ知りたい国際標準化の最新情報」

「人文社会科学と AI の融合研究」

「AI を活用した教育の未来」

「中高等学校における AI 教育・DS 教育の現状と今後の展開」

「人狼知能コンテスト 2025 春季国内大会自然言語部門」
「ドメイン特化生成 AI の共創・協調に向けて」
「AI 時代の“学び”と“遊び”を再発明する ～ コミュニティを基盤に『態度』を育む方法論」
「万博関連セッション招待講演」×2 件

・学生企画「調整中」
調整中

・インダストリアルセッション	6 セッション (ロング 20 社, ショート 10 社, ショートトーク 15 社)
・ランチョンセミナー	14 社
・企業展示	124 社 (125 ブース)
・スポンサー	プラチナ 67 社, ゴールド 59 社, シルバー 12 社
・メディア協賛 4 社	
・発表予定件数合計	1,191 件
国際セッション	43 件 (9 セッション)
一般セッション	425 件 (86 セッション)
オーガナイズドセッション	408 件 (86 セッション)
ポスターセッション	315 件 (3 セッション)

② 2026 年度以降の全国大会に向けた準備

2026 年度全国大会：

体制：小野 智弘 大会委員長（KDDI 総合研究所），倉島 健 実行委員長（NTT），
小町 守 プログラム委員長（一橋大学）

2026 年 6 月 8 日(月)～12 日(金)，G メッセ群馬において開催を予定．全国大会実施に向けて，オー
ガナイズドセッション募集，企画セッション募集，論文募集，基調講演や招待講演，特別講
演等の企画立案，スポンサー募集，聴講参加募集，等を進める．また，本会設立 40 周年にあ
たり記念イベントを開催する．

2027 年全国大会：

体制：次期実行委員長（新任担当理事），次期プログラム委員長（新任担当理事）
2027 年度の開催会場を検討する．

③ 第 17 回国際シンポジウム（JSAI International Symposia on AI, JSAI-isAI 2025）

- ・日 時：2025 年 5 月 26 日(月)～28 日(火)（全国大会の会場で実施・併催する）
- ・場 所：大阪国際会議場＋オンラインのハイブリッド形式
- ・組 織：企画委員会（国際化）：中野 有紀子 委員長（成蹊大学），鈴木 豊太郎 副委員長（東
京大学）
- ・構 成：4 ワークショップ構成

WS1: Sixteenth International Workshop on Juris Juris-informatics (JURISIN2025)

Expected number of papers: 20

Expected number of attendees: 70

WS2: Artificial Intelligence Security and Privacy (AI&Security)

Expected number of papers: 15

Expected number of attendees: 70

WS3: Seventh International Workshop on Scientific Document Analysis (SCIDOCA2025)

Expected number of papers: 20

Expected number of attendees: 50

WS4: International Workshop on Artificial Intelligence of and for Business (AI-Biz2025)

Expected number of papers: 10

Expected number of attendees: 20

④ セミナー・入門講座の開催

企画委員会（セミナー）：谷口 晋平 委員長（博報堂），副委員長（新任担当理事）

委員：6名程度

オンライン形式にてセミナーを実施。一般セミナーに加え，中高生向け／中高教員向けセミナーを開催する。

⑤ SIAI 産学クロススクエア「未来をつくる AI 人材」の第 7 回の開催

大阪（立命館大学いばらきキャンパス イベントホール）において，9 月 12 日～13 日に開催する。

(2) 学会誌，論文誌，その他の刊行物の発行（定款 4 条 2 号）

① 人工知能学会誌・論文誌編集委員会

大澤 博隆 論文誌委員長（慶應義塾大学），三宅 陽一郎 学会誌編集委員長（スクウェア・エニックス）

編集委員会は，委員長 2 名，副委員長 2 名の他に，7 名（前年度比+1 名）のシニア編集委員，3 7 名の正規編集委員（前年度比-1 名），9 名（前年度比+2 名）の学生委員で構成されている。

学会誌，論文誌をそれぞれ社会のニーズの変化，学会がカバーすべき分野の広がりなどに対応するため，既に 2024 年 7 月から実施しているように，増員を図って学会誌，論文誌委員会が分化した体制で推進している。それぞれの編集作業を強化するとともに，学会の多様なステークホルダーにリーチするための施策に注力することを計画している。

学会誌：

発行年月日	備 考
2025 年 5 月 1 日 Vol. 40, No. 3 発行部数：6,100 ページ数：150	巻頭言／特集「AI とファジィの接点」／特集「小規模言語モデル、エッジ AI の展望」／小特集「アートと人工知能」／レクチャーシリーズ／表紙解説
2025 年 7 月 1 日 Vol. 40, No. 4 発行部数：6,100 ページ数：150	巻頭言／特集「都市のデジタルツインの今とこれからの活用動向」／特集「人の学びに溶け込む AI」／レクチャーシリーズ／表紙解説
2025 年 9 月 1 日 Vol. 40, No. 5 発行部数：6,100 ページ数：150	巻頭言／特集「対話エージェントとステレオタイプ」／特集「医療データ活用の最前線」／レクチャーシリーズ／表紙解説
2025 年 11 月 1 日 Vol. 40, No. 6 発行部数：6,100 ページ数：200	巻頭言／特集「人工知能学会 Test of Time」／特集「2025 年度人工知能学会全国大会（第 39 回）」／レクチャーシリーズ／表紙解説
2025 年 1 月 1 日 Vol. 41, No. 1 発行部数：6,100 ページ数：150	巻頭言／特集「編集委員今年の抱負 2026」／特集「人工知能分野における博士論文ー博士論文に見る研究テーマの動向ー」／レクチャーシリーズ／表紙解説

2026 年 3 月 1 日 Vol. 41, No. 2 発行部数： 6,100 ページ数： 150	巻頭言／特集／特集／レクチャーシリーズ／表紙解説
--	--------------------------

人工知能学会論文誌：

(独) 科学技術振興機構の J-Stage を利用してオンラインジャーナルを随時発行する。

URL： <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tjsai/-char/ja>

- ・ アブストラクトを会誌第 40 第 6 号に掲載

② New Generation Computing (英文論文誌)

Springer 社との共同発行による国際誌 New Generation Computing (NGC) の編集を担うとともに、JSAI の各活動 (全国大会, 研究会, 学会誌, セミナーなど) と有機的に連携し, NGC 掲載論文の質の向上, 掲載件数の増加, JSAI の国際的プレゼンス向上に資する諸活動を実施する。

Editor-in-Chief: Yutaka Matsuo, Associate Editor-in-Chief: Ryutaro Ichise, Yoji Kiyota

Area Editors: Ayumi Shinohara, Yoji Kiyota, Ryutaro Ichise, Ichiro Hasuo, Shinnosuke Seki, Satoshi Murata, Masaki Suwa, Fujio Toriumi, Sven Groppe

Editorial Board: Eiji Aramaki, Noboru Babaguchi, Wray Buntine, František Čapkovič, Ho-Lin Chen, Luc De Raedt, Ken-ichi Fukui, Naoki Fukuta, Joao Gama, Robert Glück, Shigeki Goto, Toshiharu Hatanaka, Kohei Hatano, Teruo Higashino, Hung-Hsuan Huang, Tsuyoshi Ide, Akihiro Inokuchi, Kazuo Iwama, Kristian Kersting, Nada Lavrac, Yasser Mohammad, Raymond J. Mooney, Keiichi Nakata, Shojiro Nishio, Tomonobu Ozaki, Claude Sammut, Ken Satoh, Daichi Shimizu, Shinichi Shirakawa, Gert Smolka, Janusz Sobecki, Masanori Takano, Jiro Tanaka, Pascal Van Hentenryck, Takashi Washio, Seiji Yamada, Masayuki Yamamura, Ryo Yoshinaka

Advisory Board: Maurice Bruynooghe, Takashi Chikayama, Masami Hagiya, Shinichi Honiden, Zhenjiang Hu, Akihiko Konagaya, Susumu Kunifuji, Pat Langley, Ugo Montanari, Toyooki Nishida, Masayuki Numao, Taisuke Sato, Yoav Shoham, Hidehiko Tanaka, Kazunori Ueda

③ 出版委員会：栗原 聡 委員長 (慶應義塾大学)

人工知能学会が主体となるべき事典や書籍の出版や, 研究会やセミナーなどの学会活動を対象として書籍出版化の企画を立案・実施することを目的とする. AI 事典・AI マップ活用のためシステム開発を予定している。

(3) 研究の奨励および研究業績の表彰 (定款 4 条 3 号)

(1) 2025 年度業績賞・功労賞・フェロー認定 (第 41 回定時社員総会で表彰の予定：2026 年 6 月)

学会規程に基づき, 正会員による候補の推薦および業績賞・功労賞・フェロー選定委員会 (委員長：本村 陽一 副会長) の審査を経て, 第 426 回理事会で受賞者を選定する予定。

(2) 2025 年度現場イノベーション賞 (第 41 回定時社員総会で表彰の予定：2026 年 6 月)

学会規程に基づき, 正会員による候補の推薦および現場イノベーション賞選定委員会 (委員長：小野 智弘 副会長) の審査を経て, 第 426 回理事会で受賞者を選定する予定。

(3) 2025 年度論文賞 (第 41 回定時社員総会で表彰の予定：2026 年 6 月)

学会規程に基づき, 論文誌第 40 第 1 号～第 6 号に発表された論文を対象に, 正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会 (委員長：大澤 博隆 編集委員長) の審査を経て, 第 426 回理事会で

受賞者を選定する予定。

(4) 2025 年度研究会優秀賞（第 41 定時社員総会で表彰の予定：2026 年 6 月）

学会規程に基づき、2025 年度の研究会で発表された論文を対象に、各委員会による候補の推薦および研究会優秀賞選定委員会（委員長：坂地 泰紀 研究会運営委員長）による審査を経て、第 427 回理事会で受賞者を選定する予定。

(5) 2025 年度全国大会優秀賞（人工知能学会誌 Vol. 40, No. 6 で表彰：2025 年 11 月 1 日発行）

全国大会表彰規程に基づき、全国大会開催期間 2025 年 5 月 27 日から 5 月 30 日までに発表された全件を対象に、プログラム委員、各セッションの座長、評者、オーガナイザによる候補の推薦および全国大会優秀賞選定委員会（委員長：和泉 潔 プログラム委員長）による審査を経て、理事会で受賞者を選定する予定。

(4) 研究および調査の実施（定款 4 条 4 号）

① 第 1 種研究会（研究会運営委員会：坂地 泰紀 委員長，中臺 一博 副委員長，新任担当理事）

(1) 人工知能基本問題研究会（略称 SIG-FPAI）

主査：杉山 鷹人（国立情報学研究所），主幹事：西野 正彬（NTT）

幹事：中畑 裕（NAIST），竹村 彰浩（NII），原田 崇司（高知工科大），金森 憲太朗（富士通）

第 133 回 9 月 テーマ「未定」 担当：未定

第 134 回 12 月 合同研究会 2025 担当：未定

第 135 回 1 月 情報処理学会アルゴリズム研究会と共催予定 担当：未定

第 136 回 3 月 テーマ「未定」 担当：未定

(2) 知識ベースシステム研究会（略称 SIG-KBS）

主査：伏見 卓恭（東京工科大），主幹事：木村 昌弘（龍谷大）

幹事：横山 想一郎（北大），山本 泰生（静岡大），原田 恵雨（苫小牧工業高専）

専門委員：大城 絢子（沖縄国際大），大原 剛三（青山学院大），尾崎 知伸（日大），金城 敬太（共立女子大），鷹野 孝典（神奈川工科大）

第 135 回 8 月 テーマ「未定」 担当：木村

第 136 回 12 月 合同研究会 2025 担当：伏見

第 137 回 3 月 社会システムと情報技術研究ウィーク 担当：山本，横山

(3) 言語・音声理解と対話処理研究会（略称 SIG-SLUD）

主査：小磯 花絵（国立国語研），主幹事：坂井田 瑠衣（公立はこだて未来大）

幹事：井上 昂治（京大），宮崎 千明（ソニーグループ），牧野 遼作（早大），石井 亮（NTT）

専門委員：赤間 怜奈（東北大），稲葉 通将（電通大），臼田 泰如（静岡理工大），堅田 俊（阪大），黒嶋 智美（玉川大），酒井 晴香（東京国際大学），佐藤 志貴（サイバーエージェント/東北大），田頭 未希（東海大），角森 唯子（NTT），北条 伸克（NTT），坊農 真弓（国立情報学研究所），宮本 友樹（電通大），山本 賢太（阪大）

第 104 回 8-9 月 テーマ「未定」，広島大 担当：坂井田

第 105 回 11-12 月 第 16 回対話システムシンポジウム 担当：井上

第 106 回 2-3 月 テーマ「未定」 担当：未定

(4) 先進的学習科学と工学研究会（略称 SIG-ALST）

主査：林 雄介（広島大），主幹事：山本 頼弥（静岡大）

幹事：宇都 雅輝（電通大），田和辻 可昌（東大）

専門委員：岩井 健吾（山陽女子短期大），岡本 勝（広島市立大），笠井 俊信（岡山大），

柏原 昭博（電通大），加藤 泰久（東京通信大），國近 秀信（九州工業大），
古池 謙人（東京理科大），小暮 悟（静岡大），小尻 智子（関西大），小西 達裕
（静岡大），瀬田 和久（大阪公立大），田中 孝治（金沢工業大），東本 崇仁（千
葉工業大），長谷川 忍（JAIST），林 佑樹（大阪公立大学），林 勇吾（立命館
大），村上 正行（阪大），山元 翔（近畿大），吉川 厚（関東学院大）

第 104 回	7 月	テーマ「未定」	担当：未定
第 105 回	12 月	合同研究会 2025	担当：未定
第 106 回	3 月	テーマ「未定」	担当：未定
10 月～11 月	第 36 回教育・学習支援システム若手の会		担当：未定

② 第 2 種研究会（研究会運営委員会：坂地 泰紀 委員長，中臺 一博 副委員長，新任担当理事）

(1) AI チャレンジ研究会（略称 SIG-Challenge）

主査：植村 渉（龍谷大），主幹事：干場 功太郎（東京科学大）
幹事：鈴木 麗璽（名大），中臺 一博（東京科学大），光永 法明（大阪教育大）
第 67 回 5 月 ロボカップジャパンオープン併催予定 担当：植村，光永
第 68 回 11 月 テーマ「未定」 担当：干場，鈴木，中臺
11 月～12 月 HARK 講習会を AI チャレンジ研究会主催で開催予定、合同研究会内での開催検討

(2) ことば工学会（略称 SIG-LSE）

主査：阿部 明典（千葉大），主幹事：福島 宙輝（神戸大）
幹事：小野 淳平（青森大），林 侑輝（米子高専）
第 77 回 8-9 月 テーマ「未定」 担当：未定
第 78 回 12 月 テーマ「未定」 担当：未定
第 79 回 2-3 月 テーマ「未定」 担当：未定

(3) コモンセンスと感情研究会（略称 SIG-CSE）

主査：桐山 伸也（静岡大），主幹事：石川 翔吾（静岡大）
幹事：佐藤 久美子（玉川大），沢井 佳子（チャイルド・ラボ）
第 9 回 7 月 テーマ「未定」，浜松 担当：未定
第 10 回 12 月 合同研究会 2025 担当：未定
第 11 回 3 月 テーマ「未定」，東京 担当：未定

(4) 身体知研究会（略称 SIG-SKL）

主査：松浦 慶総（横国大），主幹事：大海 悠太（東京工芸大）
幹事：伊藤 毅志（電通大），榎本 美香（東京工科大），香山 瑞恵（信州大），児玉 謙太郎（都
立大），清水 大地（神戸大），白水 始（国立教育政策研究所），諏訪 正樹（慶大），永
井 孝（ものづくり大学），堀内 隆仁（慶大），松田 浩一（岩手県立大），山田 雅之（九
工大），今宿 未悠
第 46 回 5-7 月 テーマ「未定」，都外 担当：未定
第 47 回 10-11 月 テーマ「未定」，都内 担当：未定
第 48 回 2-3 月初旬 テーマ「未定」，都内 担当：未定

(5) ナチュラルコンピューティング研究会（略称 SIG-NAC）

主査：今井 克暢（福山大），主幹事：鈴木 泰博（名大）
幹事：磯川 悌次郎（兵庫県立大），秋田 大（東大），萩谷 昌己（東大）
第 43 回 12 月 合同研究会 2025 担当：未定
第 44 回 未定 北海道 担当：未定

(6) 社会における AI 研究会（略称 SIG-SAI）

主査：小川 祐樹（東京都市大），主幹事：諏訪 博彦（NAIST）
幹事：岩田 員典（愛知大），中島 智晴（大阪公立大），林 久志（産業技術大学院大），櫻井 瑛
一（産総研）

- 第53回 11月 「RoboCup シミュレーションリーグ秋(冬)キャンプ」
担当：岩田
- 第54回 12月 合同研究会 2025
担当：林，櫻井
- 第55回 3月 社会システムと情報技術研究ウィーク
担当：諏訪
- (7) 金融情報学研究会 (略称 SIG-FIN)
主査：坂地 泰紀 (北大)，主幹事：中川 慧 (野村アセットマネジメント)
幹事：落合 友四郎 (大妻女子大)，平松 賢士 (アイフィスジャパン)，水門 善之 (野村証券／東大)，佐野 仁美 (政策研究大学院大／一橋大)，真鍋 友則 (SOMPO リスクマネジメント)，平野 正徳 (Preferred Networks)
第35回 10月 テーマ「未定」，東京・ハイブリッド
担当：未定
第36回 春 テーマ「未定」，東京・ハイブリッド
担当：未定
- (8) 知識と技能のモデル化と活用研究会 (略称 SIG-MAKS)
主査：稗方 和夫 (東大)，主幹事：古川 慈之 (産総研)
幹事：青島 大悟 (ソールラボ)，坂口 憲一 (テクノソリューション)，松尾 宏平 (海上技術安全研究所)，笈田 佳彰 (富士通)
第3回 7月 テーマ「未定」
担当：稗方
第4回 12月 合同研究会 2025
担当：古川
第5回 3月 テーマ「未定」
担当：稗方
- (9) 知識流通ネットワーク研究会 (略称 SIG-KSN)
主査：樫山 淳雄 (東京学芸大)，主幹事：竹内 広宜 (武蔵大)
幹事：岡本 青史 (富士通)，小林 紀之 (富士通)，津田 和彦 (筑波大)，小林 展英 (デンソークリエイイト)，桑田 喜隆 (室蘭工業大)，神戸 雅一 (NTT データ)
第37回 9月 「知識創造モデルおよび一般」
担当：未定
第38回 3月 「知識流通ネットワークモデルおよび一般」
担当：未定
- (10) セマンティックウェブとオントロジー研究会 (略称 SIG-SWO)
主査：鵜飼 孝典 (富士通)，主幹事：砂川 英一 (東芝)
幹事：江上 周作 (産総研)，三原 鉄也 (筑波大)，山口 敦子 (東京都市大)
第66回 8月 テーマ「未定」，合宿形式を検討中
担当：未定
第67回 11月 ISWC 国際会議との連日開催検討中，奈良県
担当：未定
第65回 3月 テーマ「未定」
担当：未定
- (11) データ指向構成マイニングとシミュレーション研究会 (略称 SIG-DOCMAS)
主査：大原 剛三 (青山学院大)，主幹事：清水 仁 (NTT)
幹事：池田 圭佑 (NEC)，坂地 泰紀 (北大)，鳥海 不二夫 (東大)，服部 宏充 (立命館大)
第28回 12月 合同研究会 2025
担当：清水
第29回 3月 社会システムと情報技術研究ウィーク
担当：鳥海
- (12) ビジネス・インフォマティクス研究会 (略称 SIG-BI)
主査：寺野 隆雄 (千葉商科大)，主幹事：高橋 大志 (慶大)
幹事：倉橋 節也 (筑波大)，太田 明 (東京都市大)，小林 知己 (小林マネジメント研究所／早大)，菱山 玲子 (早大)，鳥山 正博 (立命館大)
第27回 9月 テーマ「未定」
担当：高橋，倉橋，太田
第28回 3月 テーマ「未定」
担当：太田，高橋，倉橋
5月 JSAI-isAI2025 AI-Biz2025
担当：倉橋，高橋
- (13) 人工生命研究会 (略称 SIG-ALIFE)
主査：岡 瑞起 (筑波大)，主幹事：橋本 康弘 (会津大)
幹事：鈴木麗瑠 (名大)，Olaf Witkowski (Cross Labs)
第10回 未定 テーマ「未定」
担当：未定
第11回 12月 合同研究会 2025
担当：未定
- (14) 医用人工知能研究会 (略称 SIG-AIMED)

主査：津本 周作（島根大），主幹事：矢入 郁子（上智大），古崎 晃司（大阪電通大）
幹事：大武 美保子（理研），今井 健（東大），井上 謙一（湘南記念病院），大原 剛三（青山学院大），小林 泰之（聖マリアンナ大），野里 博和（産総研）

第16回 6・7月 テーマ「未定」，東京 担当：未定

第17回 12月 合同研究会 2025 担当：未定

第18回 3月 医療情報学会「医用人工知能研究会」との合同開催予定

担当：未定

第45回医療情報学連合大会(第24回日本医療情報学会学術大会)

医療情報学会「医用人工研究会」との共同企画を検討

(15) インタラクティブ情報アクセスと可視化マイニング研究会（略称 SIG-AM）

主査：砂山 渡（滋賀県立大），主幹事：柴田 祐樹（都立大）

幹事：松下 光範（関西大），阿部 明典（千葉大），森 辰則（横国大），高間 康史（都立大），
西原 陽子（立命館大），笹嶋 宗彦（兵庫県立大），安藤 雅行（立命館大）

第35回 12月 合同研究会 2025 担当：未定

第36回 3月 テーマ「未定」 担当：未定

5月 JSAI2025 オーガナイズドセッション(OS-3)「大規模言語モデルとデータサイエンス」

(16) 市民共創知研究会（SIG-CCI）

主査：白松 俊（名工大），主幹事：福田 直樹（静岡大）

幹事：藤田 桂英（東京農工大），堀田 竜士（日本エヌ・ユー・エス），三井 実（ミテモ），
小野地 光弘（名工大）

第15回 6月 「合意と共創研究会」共同開催，JAIST 担当：白松

第16回 11月 テーマ「未定」 担当：未定

第17回 3月 テーマ「未定」，小田原市 担当：未定

5月 JSAI2025 企画セッション「AIとデモクラシー」協力予定

中部科学技術センターの中高生向けワークショップにも引き続き協力予定

NPO 法人ボラみみより情報局との連携イベントを検討

(17) 汎用人工知能研究会（略称 SIG-AGI）

主査：山川 宏（全脳アーキテクチャ・イニシアティブ），主幹事：ジェプカ ラファウ（北大）

幹事：荒川 直哉（全脳アーキテクチャ・イニシアティブ），嶋田 悟（エアロセンス），船越 孝太郎（東京科学大）

第30回 7月 テーマ「未定」 担当：ジェプカ

第31回 12月 合同研究会 2025 担当：荒川

第32回 3月 テーマ「未定」 担当：船越

AGI 輪読会 12回（毎月） 担当：嶋田

(18) 計測インフォマティクス研究会（SIG-MEI）

主査：鷲尾 隆（阪大），主幹事：岡田 真人（東大）

幹事：赤井 一郎（熊本大），今村 岳（物質・材料研究機構），上野 玄太（統計数理研究所）
小野 峻佑（東京科学大），小松崎 民樹（北大），篠塚 寛志（物質・材料研究機構）
原 聡（阪大）

国際ワークショップの企画

第9回 8月 テーマ「未定」 担当：未定

第10回 12月 テーマ「未定」 担当：未定

科学技術振興機構(JST)が開催する情報計測オンラインセミナーと連動しパネルセッション開催

(19) 安全性とセキュリティ研究会（SIG-SEC）

主査：大塚 玲（情報セキュリティ大学院大），主幹事：菅 和聖 主幹事（日本銀行）

幹事：大坪雄平（内閣官房／警察庁），榊 剛史（ホットリンク），高橋 健一（鳥取大），溝口 誠一郎（DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン），宮地 充子（阪大），張 海波（九州工業大）

第4回 12月 合同研究会 2025 担当：未定

10 月 CSS AWS (情報処理学会コンピュータセキュリティシンポジウム(CSS))

10 月 第 2 回 AI セキュリティワークショップ(AWS)

1 月 SIG-SEC 協賛 SCIS2025

AI Security and Privacy Workshop (AISP2025)を is.AI 併設ワークショップとして開催予定

The 2nd International Conference on Artificial Intelligence Computing and Systems

(AICompS 2025)を日本で計画中(12月頃)

第3回SIG-SEC国際シンポジウム(2026年1月頃)

(20) スマートマニュファクチャリングとシステム健全性管理研究会 (SIG- SSMHM)

主査：矢入 健久 (東大)，主幹事：植野 研 (東芝)，堤 誠司 (宇宙航空研究開発機構)

幹事：今村 誠 (東海大)，増田 新 (京都工芸繊維大)，飯野 翔太 (スペースデータ)，井上 道雄 (MathWorks Japan)，棗田 昌尚 (NEC)，富永 晃司 (宇宙航空研究開発機構)，

濱戸 昭太郎 (宇宙航空研究開発機構)，武石 直也 (東大)

第 3 回 8 月 テーマ「未定」

担当：棗田,飯野

第 4 回 12 月 合同研究会 2025

担当：今村，富永

(21) パーソナル AI 研究会 (SIG-PAI)

主査：橋田 浩一 (理研)，主幹事：白松 俊 (名工大)

幹事：門倉 悠真 (東芝)，松原 勇介 (理研)，谷沢 智史 (東大)

第 2 回 夏頃 テーマ「パーソナル AI 全般」

担当：未定

第 3 回 秋頃 テーマ「パーソナル AI とグラフ文書」

担当：未定

第 4 回 冬頃 テーマ「パーソナル AI とパーソナルデータ」

担当：未定

③ 第 3 種研究会 (研究会運営委員会：坂地 泰紀 委員長，中臺 一博 副委員長，新任担当理事)

(1) 地球惑星科学における AI 研究会 (略称 SIG-GeoSciAI)

主査：津本 周作 (島根大)，主幹事：Simon Wallis (東大)

幹事：栗原 聡 (慶大)，東中 竜一郎 (名大)，鹿島 久嗣 (京大)，福井 健一 (阪大)，飯田 佑輔 (新潟大)，長尾 大道 (東大)，中野 満寿男 (海洋研究開発機構)

第 2 回 12 月 合同研究会 2025

担当：未定

地球惑星科学連合 2025 での表彰式 および 人工知能学会全国大会企画セッション
コンペ GeoSciAI 2025 において表彰された研究のプレゼンテーションをおこなう

(2) AI ペディアと AI マップ研究会 (略称 SIG-AIPM)

主査：大向 一輝 (東大)，主幹事：本村 陽一 (産総研)

幹事：清田 陽司 (麗澤大)，栗原 聡 (慶大)，砂川 英一 (東芝)

人工知能学会全国大会企画セッション

「JSAI・共同通信社連携企画『ニュースデータ×AI 共創プロジェクト』」の実施 (5 月)

共同通信社との連携による各種コンペの企画 (以下通年)

人工知能学大事典オンライン版のオープン化と新規コンテンツの執筆スキームに関する議論

AI マップのオープン化と新規コンテンツの執筆スキームに関する議論

人工知能学大事典・AI マップに基づく若年層向けコンテンツ制作に関する企画

④ 合同研究会 2025 (SIGAIs 2025)

・体制：中臺 一博 実行委員長，坂地 泰紀 副実行委員長，新任担当理事
参加研究会の主査・主幹事

・日 時：2025 年 12 月 1 日(月)～3 日(水)

・場 所：慶應義塾大学日吉キャンパスならびにオンラインのハイブリッド形式

・参加予定研究会：約 16 研究会 (27 研究会中)

⑤ 特別支援

・AI チャレンジ研究会

「ロボット聴覚」に関連してロボット聴覚用オープンソースソフトウェア HARK に関する講習会を合同研究会内で開催する。同講習会への金銭的支援を予定している。

(5) 関連学術団体との連絡および協力（定款 4 条 5 号）

昨年度に引き続き、他学会との協調（共催、協賛、後援）により学会活動の活性化、多様化を推進する。

(6) 2025 年度特別予算に基づく事業（定款 4 条 6 号）

別紙

(7) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業（定款 4 条 6 号）

① 倫理委員会

倫理委員会：清田 陽司 委員長（麗澤大学）

委員：栗原 聡（慶應義塾大学）、服部 宏充（立命館大学）、中川 裕志（理化学研究所）、鳥海 不二夫（東京大学）、浅川 直輝（日経 BP）、藤井 太洋（SF 小説家）、三宅 陽一郎（スクウェア・エニックス）、高橋 未玲（CuePoint）、大屋 雄裕（慶應義塾大学）、神崎 宣次（南山大学）

人工知能に関する倫理に関わる課題を、人工知能学会会員および社会の人々と共有し、健全な人工知能と社会の関係を構築することを目的とする。このために全国大会での企画セッションや独自のシンポジウムなどを実施する。

② 本会ホームページおよびメーリングリストによる本会活動の広報推進

広報委員会：江渡 浩一郎 委員長（産業技術総合研究所）

1. 人工知能学会 Web サイト（<https://www.ai-gakkai.or.jp/>）の安定運用と保守体制の強化
2. 学会全体のリブランディング計画策定と VI（Visual Identity）構築
3. 新 VI に基づく Web サイトの再構築と運用体制の刷新
4. 学会公式 SNS アカウントの運用体制の確立

③ 人工知能技術のターミノロジーに関する国際標準化

標準化委員会：倉橋 節也 委員長（筑波大学）

委員：牧田 光晴（LINE ヤフー）、清田 陽司（麗澤大学）、佐久間 洋司（東京大学）、津本 周作（島根大学）、江川 尚志（NEC・産総研）、小倉 博行（日本大学）、坂本 静生（NEC）、杉村 領一（産総研）、鄭 育昌（富士通）、原田 要之助（情報セキュリティ大学院大学）、森川 幸治（LIFESCAPES）

この狙いは、標準化活動の認知向上並びに理解促進を行い、国際的な基準で技術の柔軟な発展と有益な社会基盤形成を目指す。全国大会での企画セッションを実施する。主に SC42 の活動内容を主なテーマとして、ウェビナーを複数回実施する。その他、AI と著作権に関する有識者を招いたウェビナー等も行う。また、不定期となるが、AI に関する著作権の取り扱いや AI の安全性、品質等、政府のガイドライン案についての学会内の意見交換会並びに学会としてのパブリックコメントの提出を行っていく。

④ 人工知能についての初学者・異分野研究者を対象に人工知能研究の俯瞰と可視化

AI マップ委員会：石角 友愛 委員長（パロアルトインサイト）

委員：本村 陽一（産業技術総合研究所）、市瀬 龍太郎（東京科学大学）、植野 研（東芝）、谷口 恭弘（ヤマハロボティクスホールディングス）、堤 富士雄（電力中央研究所）、友野 孝夫（慶應義塾大学）、森川 孝治（LIFESCAPES）、吉岡 健（富士フイルム）、大向 一輝（東京大学）、中川西 学（SAMSUNG）、清田 陽司（麗澤大学）、砂川 英一（東芝）

「オープンカスタマイズできる共創型 AI マップ」の実現を狙いとして、その準備期間とする。より開かれたコミュニティへの働きかけとしては、24 年度に発足した第三種研究会 SIG-AIPM および 40 周年記念事業の活動と連携して活動を進める。

⑤ コンペティション活動への助成

企画（セミナー）委員会：谷口 晋平 委員長（博報堂）

2024 年度と同様に企画支援を行う。助成有りトラックは春と秋の 2 回の申請受付を予定。助成有りトラック：年 2 回の申請受付，助成無しトラック：申請随時受付（予定）。JSAI2025 企画 S「人工知能学会公式コンペティション」セッション開催。中高生セミナーとの連動も視野に入れた中高生向けコンペの検討も行う。

⑥ 動画コンテンツの作成と配信

企画（セミナー）委員会：谷口 晋平 委員長（博報堂）

レギュラー動画制作を引き続き行う。新しい動画制作体制のトライアル：現状、ポストプロダクション領域の大部分は外注できているが、プリプロダクションのプロセスでも外注可能な領域（特に撮影）をトライアル的に外注起用して実施したい。全国大会で試験的に撮影部隊を投入することなども、企画と合わせて検討。ハイエンドコンテンツの企画、動画制作を事業化準備 TF との連携にて実施。

⑦ 多様性・包摂の推進

多様性・包摂推進委員会：荒井 ひろみ 委員長（理化学研究所）

有識者によるオンラインセミナー，全国大会や合同研究会での女性向けランチ会等を実施する。

⑧ 会員向けの新施策の検討

会員施策検討タスクフォース：小野 智弘 TF 長（KDDI 総合研究所）

委員：本村 陽一（産業技術総合研究所），岡田 雅司（パナソニック），清田 陽司（LIFULL），高野 雅典（サイバーエージェント），櫻井 祐子（名古屋工業大学），佐藤 敏紀（ソフトバンク），砂川 英一（東芝）長尾和彦（弓削商船高等専門学校），林 宏樹（雲雀丘学園中高等学校），吉田 香（九州工業大学）

ジュニア向け施策検討を切り離し，「関連委員会の意見収集（8 月頃）→アンケートの設計・実施（10 月頃）→分析・関連委員会への提言（12 月頃）」の短期実施とする。また，現在非会員の回答者が 10%未満と少ないため非会員率が 6 割を占める全国大会参加者も対象に加える。また，分析工程の自動化も検討する。

⑨ ジュニア制度の検討

ジュニア委員会：小野 智弘 TF 長（KDDI 総合研究所）

人工知能学会の次世代を担う層の育成のため，ジュニア向けのサービスや制度の企画立案と推進支援を行う。将来を見据え，非会員も念頭に置いた企画立案と推進支援を行う。具体的には 1）会員向けサービス（特典や具体的な企画・コンテンツの検討），2）会員制度・会員管理システムの検討，3）会員向けコミュニケーションの検討等を実施する。特に小学生、中高生、高専大学生はニーズが異なるため、世代毎の対応を意識する。2025 年度はジュニア会員制度を新設，コミュニケーション手段を通じた会員募集を行うとともに、ジュニア向けサービスの充実化を図る特定ターゲットに注力しつつ，アンケートで要望が高く実施可能な施策を実施する。また，1 年間の活動を通じて持続的向上にむけた継続的施策検討フレームワークをブラッシュアップし，期末には 2025 年度以降の継続の判断を行う。

(8) 会議などに関する事項

① 総 会

2025 年度第 40 回定時社員総会を

2025 年 6 月 24 日（火）慶応義塾大学 三田キャンパス 東館 G-Lab で開催する予定である。オン

ライン参加が可能なハイブリッド開催とする。

予定議案：

- 第1号議案 2024年度事業報告書承認の件
- 第2号議案 個人会員の除名処分承認の件
- 第3号議案 2024年度決算書・監事報告書承認の件
- 第4号議案 2025年度事業計画書承認の件
- 第5号議案 2025年度特別予算による事業計画承認の件
- 第6号議案 2025年度収支予算書承認の件
- 第7号議案 2025年度役員選任の件

② 理事会

各月に計12回開催する予定としている。

③ 委員会

編集委員会，NGC編集委員会，研究会運営委員会，企画委員会（国際化，セミナー），全国大会委員会／実行委員会／プログラム委員会，広報委員会，財務委員会，総務委員会（研究集会審議委員会兼任），学会賞選定委員会（功績賞・功労賞・フェロー，現場イノベーション賞選定），標準化委員会，出版委員会，倫理委員会，産業界連携委員会，多様性・包摂推進委員会，AIマップ委員会，ジュニア委員会，等の各種委員会を随時開催の予定。

(9) 2025年度役員構成(案)

別紙

(10) 2025 - 2026年度代議員構成

別紙

2025 年度特別予算に基づく事業計画

一般社団法人人工知能学会の定款第 2 章 6 号（その他、この法人の目的を達成するために必要な事業）に関して、特別予算を組み以下の事業を実施する。

1. 40 周年記念企画

人工知能学会設立 40 周年（2026 年）という節目において、日本の AI 研究分野のさらなる発展・活性化に向けた本学会の貢献をめざし、40 周年前年企画として、(1)AI 事典および AI マップのコンテンツ強化と無償公開、および、(2)共同通信社共催のコンペティション企画を実施する。

2. 会員コミュニケーション高度化・拡大

人工知能学会が会員各位にとってより価値の高い情報収集・人材交流の場となることと、会員・スポンサーの規模をさらに拡大することをめざし、(1)人工知能学会ウェブサイトのリブランディングと刷新、(2)コンテンツ提供の質向上を目指した体制構築、(3)ビジネス層向けプレミアムセミナーの企画・立案、(4)会員情報管理のための基盤システムの強化を実施する。

(1) 40 周年記念企画

1 AI 事典および AI マップのコンテンツ強化と無償公開

AI 学会として編纂した人工知能大事典および AI マップは貴重な知の宝庫であり、これをオンライン化する作業はすでに完了しているものの、編纂した時から現在までの差分の追加を始め、現在ならではの多様な利用形態とすることが、コンテンツの価値を高めるとともに、会員含め多くの人々に AI の正しい理解を促進することに繋がる。40 周年記念企画の一環として、これらのコンテンツ強化と無償公開を推進する。また AI マップについても、会員および非会員が目で見ただけでなく、デジタルコンテンツリソースとしてデータを利活用できるようにすることを目指すし、その環境整備を行う。

2 共同通信社共催のコンペティション企画

人工知能学会と共同通信社において、AI 教育や共同通信社が持つ膨大なデジタルデータの活用を共同で推し進める連携を開始するに際し、AI 教育では、すでに全国地方新聞社での子供新聞に AI に関する記事を掲載する連携が開始されている。同じく、デジタルデータ活用においては、小学生から大人を対象として、皆でデータ活用について考える機会を設ける施策がよいということになり、コンペとして広くアイデアを募集し、最終的にすばらしいアイデアを選出し、それを事業化しようという計画がまとまった。これを 40 周年記念企画の一環と位置付け、25 年度にコンペティション企画を実施する。

(2) 会員コミュニケーション高度化・拡大

1 人工知能学会ウェブサイトのリブランディングと刷新

人工知能学会 40 周年の節目をひとつの機会と捉えて、人工知能学会のロゴ、ウェブサイト、出版物、イベントなどを貫くデザインを刷新するべく、デザインガイドラインを策定し、ウェブサイトの構築・運営方針を明確化する。これにより、人工知能学会の先進性と魅力をより強く発信できるようにし、学会への参加価値を高める。

また、策定したデザインガイドラインに基づき、公式ウェブサイトを再構築する。加えて、現在ウェブサイトを利用している利用者の利便性に配慮し、移行手段を用意する。これにより、学会活動をより効果的に発信できるウェブサイトとする。リニューアル後数ヶ月間の運営に必要な

費用も 25 年度特別費予算として確保する。

2 コンテンツ提供の質向上を目指した体制構築

さらに、セミナーや動画などこれまで行ってきたコンテンツ提供に関し、昨今の会員拡大と多様化に対応し、提供するコンテンツやサービスのさらなる質の向上およびそれを実現しうる体制を構築する。具体的には、会員に対する提供価値向上を目的とし、コンテンツ制作体制の拡充／アーカイブ整備／円滑な告知手法の確立などを、25 年度特別費を活用し、試験的施策として行う。本施策の検証によって把握される費用対効果に鑑みて、次年度以降の体制や予算規模の適正化を図ることを 25 年度の目標とする。

3 ビジネス層向けプレミアムセミナーの企画・立案

産業界における人工知能学会の知名度のさらなる拡大とスポンサー層の充実をねらいとして、ビジネス層に向けたプレミアムセミナーの企画・立案をする。AI を活用した企業の方針策定に関心を持つエグゼクティブ層を主な対象とする。セミナー運営の知見を有する企業と連携し、事業設計を進める。その企画・制作費を 25 年度特別費にて支出する。これにより、産学の新たな交流機会を創出し、ビジネス層との接点を新たに構築する。

4 会員情報管理のための基盤システムの強化

会員へのより有益なコンテンツの提供、ジュニア会員制度の創設を通じた将来的な人工知能研究コミュニティへの成長への貢献、委員会・研究会などの各種活動の活性化を主な目的とし、会員情報管理のための基盤システムの強化を図る。具体的には、現行の会員管理システムに存在しない会員限定コンテンツを提供するための認証機能、会員の活動履歴を管理する機能（論文発表、委員会、研究会活動など）などの構築を行う。

特別費一覧

(1)40 周年記念企画	7,200,000
AI 事典および AI マップのコンテンツ強化と無償公開	5,500,000
共同通信社共催のコンペティション企画	1,700,000
(2)会員コミュニケーション高度化・拡大	34,095,000
人工知能学会ウェブサイトのリブランディングと刷新	9,005,000
コンテンツ提供の質向上を目指した体制構築	4,090,000
ビジネス層向けプレミアムセミナーの企画・立案	4,000,000
会員情報管理のための基盤システムの強化	17,000,000
特別費全体合計	41,295,000

第6号議案

収支予算書(収支)

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会

一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[1,000]	[1,000]	[0]
基本財産利息収入	1,000	1,000	0
特定資産運用収入	[300]	[300]	[0]
特定資産利息収入	300	300	0
入会金収入	[1,100,000]	[900,000]	[200,000]
正会員入会金収入	800,000	700,000	100,000
学生会員入会金収入	300,000	200,000	100,000
会費収入	[77,700,000]	[75,220,000]	[2,480,000]
正会員年会費収入	47,000,000	45,000,000	2,000,000
学生会員年会費収入	3,200,000	2,720,000	480,000
賛助会員年会費収入	26,400,000	26,400,000	0
特殊購読会員年会費収入	900,000	900,000	0
永年会員年会費収入	200,000	200,000	0
事業収入	[122,066,120]	[105,816,280]	[16,249,840]
論文掲載・会誌別刷料	6,400,000	5,400,000	1,000,000
会誌印税	400,000	400,000	0
事典印税	0	140,000	△ 140,000
デジタル事典印税	140,000	140,000	0
全国大会収入	105,987,200	86,808,700	19,178,500
国際WS収入	753,720	538,560	215,160
研究会登録料他	1,831,200	3,709,000	△ 1,877,800
セミナー参加費	1,480,000	1,800,000	△ 320,000
会誌等頒布代	1,830,000	1,830,000	0
出版物印税	10,000	10,000	0
AIシンポジウム	3,234,000	5,040,020	△ 1,806,020
雑収入	[6,561,500]	[6,561,500]	[0]
会誌カタログ同封	850,000	850,000	0
会誌広告料	5,400,000	5,400,000	0
受取利息収入	1,500	1,500	0
コピーライト	260,000	260,000	0
その他	50,000	50,000	0
事業活動収入計	207,428,920	188,499,080	18,929,840
2. 事業活動支出			
事業費支出	[222,047,390]	[162,213,233]	[59,834,157]
会誌印刷費支出	20,300,000	18,400,000	1,900,000
論文掲載・会誌別刷印刷費支出	180,000	150,000	30,000
会誌執筆謝礼支出	320,000	240,000	80,000
会誌郵送費等発行諸経費支出	7,550,000	6,388,000	1,162,000
会誌論文査読支出	650,000	650,000	0
全国大会開催費支出	94,986,190	82,248,281	12,737,909
国際WS開催費支出	596,210	1,401,210	△ 805,000

収支予算書(収支)

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
AIシンポジウム	3,851,000	5,129,460	△ 1,278,460
給料・手当支出	19,185,348	11,924,052	7,261,296
法定福利費支出	625,452	1,151,550	△ 526,098
セミナー開催費支出	3,585,000	4,950,000	△ 1,365,000
企画動画配信	3,080,000	6,000,000	△ 2,920,000
企画コンベンション	2,928,480	0	2,928,480
研究会開催費支出	5,076,496	4,388,271	688,225
広報活動費支出	5,278,214	3,342,409	1,935,805
標準化委員会活動支出	200,000	200,000	0
NGC編集諸経費	3,000,000	3,000,000	0
倫理委員会活動支出	200,000	330,000	△ 130,000
出版委員会活動支出	0	2,000,000	△ 2,000,000
A I マップ関連支出	300,000	5,700,000	△ 5,400,000
多様性・包摂	570,000	550,000	20,000
ジュニア委員会	6,140,000	0	6,140,000
表彰費支出	200,000	200,000	0
活性化活動支出	50,000	800,000	△ 750,000
2025年度特別費	41,295,000	0	41,295,000
国際活動費支出	0	1,200,000	△ 1,200,000
消費税支出	1,900,000	1,800,000	100,000
法人税支出	0	70,000	△ 70,000
管理費支出	[23,218,121]	[22,725,015]	[493,106]
家賃支出	2,222,352	2,407,548	△ 185,196
共益費支出	193,248	193,248	0
光熱費支出	230,000	230,000	0
リース・保守・修理支出	1,012,860	1,012,860	0
消耗什器備品費支出	100,000	100,000	0
会議費支出	265,100	265,100	0
総会費用支出	300,000	300,000	0
旅費交通費支出	30,000	30,000	0
通信費支出	1,567,376	2,312,620	△ 745,244
印刷費支出	1,260,000	1,420,000	△ 160,000
消耗品支出	238,036	287,536	△ 49,500
給料・手当支出	5,074,092	5,852,268	△ 778,176
支払報酬料	167,000	167,000	0
法定福利費支出	756,910	888,434	△ 131,524
資料購入費支出	76,000	68,800	7,200
諸会費支出	107,071	107,071	0
OA維持費支出	400,000	400,000	0
福利厚生費支出	30,000	20,000	10,000
会費引落経費支出	170,000	170,000	0
支払手数料支出	1,700,000	150,000	1,550,000
租税公課	20,000	20,000	0

収支予算書(収支)

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
雑費支出	87,500	87,500	0
外為手数料支出	50,000	50,000	0
公認会計士費用支出	550,000	550,000	0
事務所整備費用支出	300,000	300,000	0
会員管理委託費用支出	6,310,576	5,335,030	975,546
事業活動支出計	245,265,511	184,938,248	60,327,263
事業活動収支差額	△ 37,836,591	3,560,832	△ 41,397,423
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 37,836,591	3,560,832	△ 41,397,423
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	△ 37,836,591	3,560,832	△ 41,397,423

2025 年度新任役員候補者

全員：非常勤

役職名	氏 名	所 属
理 事	板井 光輝	(株) 日立システムズ
理 事	岩崎 弘利	(株) デンソーアイティールボラトリ
理 事	大西 一貫	(株) 博報堂テクノロジーズ
理 事	大向 一輝	東京大学
理 事	岡 瑞起	千葉工業大学
理 事	刑部 好弘	(株) 日立製作所
理 事	小野 智弘	(株) KDDI 総合研究所
理 事	木村 大毅	日本アイ・ビー・エム (株)
理 事	清田 陽司	麗澤大学
理 事	小塚 和紀	パナソニックホールディングス (株)
理 事	櫻井 祐子	名古屋工業大学
理 事	清水 仁	西日本電信電話 (株)
理 事	高野 雅典	(株) サイバーエージェント
理 事	竹内 孝	京都大学
理 事	鳥海 不二夫	東京大学
理 事	原 聡	電気通信大学
理 事	土方 嘉徳	兵庫県立大学
理 事	森永 聡	日本電気 (株)
理 事	吉田 香	九州工業大学
監 事	森田 千絵	(株) 東芝

(理事は五十音順，敬称略)

2025 年度留任役員

全員：非常勤

役職名	氏 名	所 属
会 長	栗原 聡	慶應義塾大学
副会長	本村 陽一	産業技術総合研究所
理 事	荒井 ひろみ	理化学研究所
理 事	石角 友愛	パロアルトインサイト
理 事	市瀬 龍太郎	東京科学大学
理 事	稲谷 龍彦	京都大学
理 事	江渡 浩一郎	産業技術総合研究所
理 事	大澤 博隆	慶應義塾大学
理 事	岸本 章宏	エヌビディア (同)
理 事	倉島 健	日本電信電話 (株)
理 事	倉橋 節也	筑波大学
理 事	黒川 茂莉	(株) KDDI 総合研究所

理 事	小町 守	一橋大学
理 事	坂地 泰紀	北海道大学
理 事	谷口 晋平	(株)博報堂／(株)博報堂 DY メディアパートナーズ
理 事	中臺 一博	東京科学大学
理 事	中野 有紀子	成蹊大学
理 事	山田 健太郎	(株) 本田技術研究所
理 事	三宅 陽一郎	(株) スクウェア・エニックス
理 事	渡邊 勇	(一般) 電力中央研究所
監 事	立堀 道昭	日本アイ・ビー・エム (株)

(理事は五十音順，敬称略)

2024 年度末退任役員

全員：非常勤

役職名	氏 名	所 属
副会長	小野 智弘	(株) KDDI 総合研究所
理 事	井崎 武士	エヌビディア (同)
理 事	大西 正輝	産業技術総合研究所
理 事	岡田 雅司	パナソニックホールディングス (株)
理 事	清田 陽司	麗澤大学／(株) FiveVai
理 事	櫻井 祐子	名古屋工業大学
理 事	佐藤 敏紀	ソフトバンク (株)
理 事	鈴木 豊太郎	東京大学
理 事	砂川 英一	(株) 東芝
理 事	諏訪 正樹	オムロン (株)／オムロンサイニックエックス (株)
理 事	高野 雅典	(株) サイバーエージェント
理 事	寺本 やえみ	(株) 日立製作所
理 事	馬場 雪乃	東京大学
理 事	松井 藤五郎	中部大学
理 事	矢田 勝俊	関西大学
理 事	谷中 瞳	東京大学
監 事	吉岡 健	富士フイルム (株)

(理事は五十音順，敬称略)

2025-2026年度代議員

氏 名	所 属	氏 名	所 属
相澤 彰子	国立情報学研究所	角 康之	はこだて未来大学
赤石 美奈	法政大学	諏訪 正樹	オムロン サイニックエックス
浅原 彰規	株式会社日立製作所	高木 友博	明治大学
荒井 幸代	千葉大学	高玉 圭樹	東京大学
荒井 ひろみ	理化学研究所	高野 雅典	株式会社サイバーエージェント
荒牧 英治	奈良先端科学技術大学院大学	高間 康史	東京都立大学
井崎 武士	エヌビディア合同会社	高屋 英知	東北大学病院
和泉 潔	東京大学	竹内 勇剛	静岡大学
市瀬 龍太郎	東京科学大学	武田 英明	国立情報学研究所
稲谷 龍彦	京都大学大学院法学研究科	立堀 道昭	IBM
猪口 明博	関西学院大学	谷口 恭弘	ヤマハロボティクスホールディングス株式会社
岩田 具治	NTT	谷口 晋平	株式会社博報堂
上田 晴康	富士通ゼネラル	津本 周作	島根大学
浦本 直彦	花王株式会社	寺本 やえみ	株式会社日立製作所
大川 剛直	神戸大学	鳥海 不二夫	東京大学
大熊 智子	旭化成	長尾 和彦	釧路工業高等専門学校
大澤 博隆	慶應義塾大学	長尾 大道	東京大学
太田 唯子	富士通株式会社	中小路 久美代	公立はこだて未来大学
大谷 紀子	東京都市大学	中臺 一博	東京科学大学
大西 正輝	産業技術総合研究所	中津川 実	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
大原 剛三	青山学院大学	中野 有紀子	成蹊大学
大向 一輝	東京大学	西原 陽子	立命館大学
岡崎 直観	東京科学大学	西村 拓一	北陸先端科学技術大学院大学
岡田 雅司	パナソニックホールディングス株式会社	西本 聡	兵庫医科大学
奥村 紀之	武庫川女子大学	新田 恒雄	豊橋技術科学大学
小野 哲雄	北海道大学	沼尾 正行	京都橘大学
小野 智弘	株式会社KDDI総合研究所	野村 俊之	NEC
折原 良平	キオクシア株式会社	橋田 浩一	理化学研究所
柏原 昭博	電気通信大学	服部 宏充	立命館大学
鹿島 久嗣	京都大学	馬場 雪乃	東京大学
片上 大輔	東京工芸大学	早矢仕 晃章	東京大学
桂田 浩一	東京理科大学	林 兵馬	神戸大学附属中等教育学校
岸本 章宏	エヌビディア合同会社	東中 竜一郎	名古屋大学
來村 徳信	立命館大学	土方 嘉徳	兵庫県立大学
清田 陽司	麗澤大学	平嶋 宗	広島大学
工藤 康生	室蘭工業大学	平田 耕一	九州工業大学
倉島 健	日本電信電話株式会社	福井 健一	関西大学
倉橋 節也	筑波大学	福田 直樹	静岡大学
栗原 聡	慶應義塾大学	坊農 真弓	国立情報学研究所
黒川 茂莉	株式会社KDDI総合研究所	牧田 光晴	LINEヤフー株式会社
古崎 晃司	大阪電気通信大学	松村 真宏	大阪大学
越仲 孝文	横浜市立大学	三宅 陽一郎	スクウェア・エニックス
小林 哲則	早稲田大学	村田 剛志	東京科学大学
小林 一郎	お茶の水女子大学	村田 博士	一般財団法人電力中央研究所
小林 一樹	信州大学	本村 陽一	産業技術総合研究所
小町 守	一橋大学	森川 幸治	株式会社LIFESCAPES
坂地 泰紀	北海道大学	森田 武史	青山学院大学
坂本 真樹	電気通信大学	森山 甲一	名古屋工業大学
佐久間 淳	東京科学大学	矢入 郁子	上智大学
櫻井 祐子	名古屋工業大学	矢田 勝俊	関西大学
佐藤 理史	名古屋大学	谷中 瞳	東京大学
佐藤 敏紀	ソフトバンク株式会社	山内 康晋	Toshiba Software India Pvt. Ltd.
篠原 歩	東北大学	山田 健太郎	株式会社本田技術研究所
新保 仁	千葉工業大学	山本 章博	京都大学
鈴木 英之進	九州大学	吉岡 健	富士フイルム株式会社
鈴木 豊太郎	東京大学	吉田 香	九州工業大学
砂川 英一	株式会社 東芝	RAFAL RZEPKA	北海道大学
砂山 渡	関西大学	渡邊 勇	一般財団法人電力中央研究所